臺灣總督府
中央研究所

農業部彙報

第四十九號

臺灣に於ける第一期作栽培水稻より稻イモチ病抵抗性品種の選擇

臺灣總督府中央研究所

凡そ作物病害防除の要訣は抵抗性品種の選擇栽培にあり稻イモチ病は稻病害中被害最も大にして且甚しく減收を來しつゝあるは周知の事實にして現時之に對する抵抗性品種の選擇は緊急を要する一事項たり

本彙報は技手澤田兼吉、技手黑澤英一及助手末田平七が大正十年以降六箇年に亙り臺灣に於て最も被害多き第一期作に栽培せらるゝ内地種及臺灣種に就き選擇したる稻イモチ病抵抗性品種の調査成績にして本島稻作上裨益する所少からざるを信じ茲に印刷に附す

昭和二年一月

臺灣總督府中央研究所農業部長
農學博士　大島金太郎

臺灣總督府中央研究所 農業部彙報 第四十九號

臺灣に於ける第一期作栽培水稻より稻イモチ病抵抗性品種の選擇

目次

一 緒言 …… 一

二 調査方法 …… 三

三 稻イモチ病抵抗性品種の選擇 …… 四

(一) 臺北に栽培せられたる內地種 …… 五

(二) 臺北に栽培せられたる臺灣種第一期作品種 …… 一八

(三) 臺中に栽培せられたる臺灣種第一期作品種 …… 五三

(四) 臺南州に栽培せられたる臺灣種第一期作品種 …… 六二

(五) 高雄州に栽培せられたる臺灣種第一期作品種 …… 六五

(六) 屛東に栽培せられたる臺灣種第一期作品種 …… 七二

四 總括 …… 七六

臺灣に於ける第一期作栽培水稻より稻イモチ病抵抗性品種の選擇

技手　澤田兼吉
技手　黑澤英一
助手　末田平七

一　緒言

稻イモチ病は稻作上被害最も多き病害にして、世界各國の稻栽培地に普く瀰蔓し、我國に於ても毎に此發生を見る所なり。而して日本內地に於ける平年の損失額は參千萬圓に達すと稱せらる。又大發生をなして地方的に大被害を與ふること稀なりとせず。明治二十四年及同二十八年奥羽地方に、同三十二年山陰、北陸、奥羽、四國の諸地方に、同三十五年北陸地方に、又大正十二年に山陰、山陽地方に大發生せる如き卽ち是なり。大正十二年に於ては山陰山陽地方に亘り被害面積實に一萬町步に達し、四、五割の減收を來せり。其發生の都度、罹災地方農民の窮地に陷る者甚だ多し。此災害は農民にとりては常食物を奪取せらるゝを最も苦痛とする所なるも、國家としては內國の食糧不足の現況に於て特に憂慮すべき問題なりとす。

臺灣に於ても近來內地種の栽培速進し內國食糧問題解決の一助たらんとするの秋、大正十五年第一期作に於て被害面積五萬五千甲に達し、數割の減收を來したるは實に寒心に堪へざる所なり。

此病害は主として窒素肥料の多用と天候不良との助勢により大發生をなすものなるが故に、特に此點に注意を要すべきものなり。其防除の方法としては不可抗力なる天候を除き、窒素質肥料の過用を避けて肥料成分の配合に注意すること、病原菌の防除をなすこと等は其主なる條件なるも、就中最も緊要なるは抵抗性品種を栽培するにあり。

通例現在栽培しつゝある品種に就き多收を企つる時は必ず多肥をなすべし。臺灣に於ても當年栽培せらるゝ品種は稍々感受性なる中村種を主としたるに不拘、之が增收を得んとして多肥せるに、不幸不良なる天候に遭遇し烈しき被害を蒙りたるものなり。斯の如きは其基礎を固むることなくして望外の望を企てたる結果にして、抵抗性なるを確めたる後、初めて多肥による多收を望むべきものなり。即ち抵抗性品種の栽培をなす場合に於ては、假令不良なる天候に遭遇するとも又多肥をなすとも、全く稻イモチ病に對する憂慮なく所望の收穫を擧げ得るものにして、稻作をなす農民としては最も策を得たるものと謂ふべし。

小官等往年臺灣に於ける稻イモチ病の發生比較的多きに鑑み、之が防除方法として第一に採るべき抵抗性品種の選擇をなさんが為、大正十年以降各年被害多き第一期作に栽培さるべき品種に就き被害調査を行ひ、大正十五年に至りて大約各品種の特性を知るを得たり。依て罹災の當年之を公にし、當事者の參考に資し、將來稻イモチ病の大發生を永久に絕無たらしめんことを希ふものなり。

二　調査方法

臺灣に於て稻イモチ病の被害多きは第一期作にして、第二期作に於ては被害比較的少し。是れ第二期作は施肥少きと、天候良好なるとに因るものなり。故に第一期作に對して特に防除に就き考慮すべきは當然の歸結なり。從て本調査に於ても先づ第一期作に栽培せらるべき品種に就て行へり。

稻の品種によりて苗の時代に稻イモチ病に罹り易く、出穗後に於て罹り難きものあり。又之と反對の性質を有するものあり、又出穗後に於ても穗頸の弱きものあり、又節の弱きものあり、又兩者共に弱きものあり、又强きものありて一定せず。故に其抵抗性を決定せんには、何れの場合に於ても疾病に對し抵抗力强きものならざるべからず。

本病は天候不良、窒素質肥料の多用によりて被害を大ならしむるものなるも、施肥過剩ならざる場合は出穗前に於て罹病烈しきこと少く、若し罹病するとも是等は天候の囘復によりて生育の囘復を來すべき餘裕を有するも出穗後の罹病の多少は直ちに收量に影響を來すものなるを以て、本調査に於ては稻の收量に直接影響を來すべき出穗後、即ち收穫當時の首イモチ及節イモチを主として先づ調査を行ひ、其被害率の少きものを選び、更に苗の時代の强弱を參考として其抵抗性なるを決定せんとせり。

其調査材料は各地共其地方に於ける普通の栽培法によりて栽培せられたるものにして、普通農家栽培のものを排し、品種試驗の如く一圃場に多數の品種が相竝びて栽培されたるものを採用せり。是れ可及的同一狀態にあるものとの條件を充さんが爲なり。

調査の方法は圃場の緣邊より五株を除き、水田の內方部に向つて一列に二〇株を採り、其各株の莖數と、其中の首イモチ及節イモチの被害本數を別々に調査せり。而して其被害率は其測定せし總莖數と首イモチ及節イモチの各罹病本數とにより百分率として算出せり。本來被害率は成る可く多數(一坪位)に就て測定するを至當とすべきも、調査員の少數なると、品種の多數なると、又收穫期に當り短期間に一整に調査を終了せんとせしにより、不止得二〇株に就て調査せり。又首イモチと節イモチとを別々に調査したるは、其品種の特性を知らんが爲なり。

又稻の各品種は其完熟期に早晩あり。是等を一々其完熟期を待ちて調査すること不可能なりしを以て、殆ど大多數が完熟期に達し收穫を始めたる時に行へり。然れども特に遲き晩生種は後廻しとなし、調査期の最後に調査せり。中南部地方の調査は、當該地方に問合はせ、收穫期に迫りたる時を選びたるも、場合によりては多少完熟期に達せざるものありしは不止得結果なりき。

三 稻イモチ病抵抗性品種の選擇

(一) 臺北に栽培せられたる內地種

臺北に於ける內地種に對する調査は、主として當農業部に栽培せられたるものによれり。調査を行ひたるものは二〇一品種にして、其內三七品種は大正十三年より栽培せられたり。抵抗性品種選擇調査は大正十年より開始せるを以て、或品種は六年に亘りて調査したるも、或者は都合により一—二年を缺けるものあり、又大正十三年より栽培せられたる品種は二ヶ年の調査をなせり。

是等品種の栽培地に施用せられたる肥料の分量及其成分量は次の如し。

反當施肥量

基肥	堆肥	三〇〇貫
	大豆粕	一〇貫
	過燐酸石灰	五貫
追肥	人糞尿	一〇〇貫

其成分は

窒素　二、五一五匁

燐酸　一、九六九匁
加里　一、九二八匁

又調査開始時期は各年左の如し

大正十年は　六月廿七日
大正十一年は　六月廿六日
大正十二年は　六月廿二日
大正十三年は　六月二十日
大正十四年は　六月二十日

又各年出穂後一箇月間の氣象は左表の如し

年次	期間	平均氣温	降水量	降水日數	雲量	日照時	蒸發量
大正十年	自五月二十九日 至六月二十七日	二六・四	二八四・五	一八	六・六	一〇九・一	五・四
同十一年	自五月二十八日 至六月二十六日	二五・八	三〇六・九	一八	八・〇	六一・三	三・九
同十二年	自五月二十四日 至六月二十二日	二五・五	四三四・六	一三	五・七	一五六・〇	五・五
同十三年	自五月二十二日 至六月二十日	二五・〇	二一六・三	三	八・四	五四・三	三・二
同十四年	自五月二十二日 至六月二十日	二七・六	五一七・五	三	六・四	九七・二	三・七
同十五年	自六月三日 至七月二日	二七・五	二三九・〇	二〇	八・〇	一三三・九	四・六

左表品種の配列は圃場に於て作付せられたる順序によれり。又數字は被害百分率なり。

第一表　臺北に於ける內地種の稻イモチ病被害率

	品種名	取寄先	大正十年 首イモチ	大正十年 節イモチ	大正十年 被害莖	大正十一年 首イモチ	大正十一年 節イモチ	大正十一年 被害莖	大正十二年 首イモチ	大正十二年 節イモチ	大正十二年 被害莖	大正十三年 首イモチ	大正十三年 節イモチ	大正十三年 被害莖	大正十四年 首イモチ	大正十四年 節イモチ	大正十四年 被害莖	平均 首イモチ	平均 節イモチ	平均 被害莖
一	中村	九州支場	二五・三	—	二五・三	一三・八	五・一	二五・四	三・一	二・八	四・五	〇・四	一・一	一・三	一・三	一七・四	一八・一	一〇・六	六・六	一四・九
二	佐賀、萬作	福岡	五・一	—	五・一	八・三	一・七	九・一	二・三	五・九	七・〇	〇・五	二・三	二・五	〇・〇	四・五	四・五	三・三	三・六	五・六
三	白藤	鹿兒島	三・三	—	三・三	六・一	一・三	六・八	三・〇	四・七	六・三	一・〇	一・九	二・四	〇・七	〇・〇	〇・七	二・八	二・〇	三・九
四	都	九州支場	五・二	—	五・二	五・九	二・三	七・三	一・一	一・一	一・七	一・四	二・三	三・〇	〇・〇	一・四	一・四	二・七	一・八	三・七
五	巾着	同	三・三	—	三・三	一〇・〇	一・三	一〇・七	四・三	七・四	九・五	〇・〇	二・四	二・四	〇・〇	一・三	一・三	三・五	三・一	五・四
六	五反穂	岐阜	一四・〇	—	一四・〇	六・一	一・六	六・九	五・四	三・二	七・〇	—	—	—	二・三	一・五	三・〇	六・九	二・一	七・七
七	器良好	和歌山	二〇・三	—	二〇・三	七・〇	〇・三	七・一	一〇・〇	二・七	一二・四	一・六	〇・五	一・九	一三・〇	二・三	一四・三	一〇・四	一・四	一二・〇
八	大分神力	同	六・七	—	六・七	七・一	七・五	一一・一	〇・五	〇・〇	〇・五	一・七	二・七	三・六	二・六	〇・八	三・〇	三・七	二・八	五・〇
九	器艮好	三重	二五・三	—	二五・三	一五・九	〇・三	一六・〇	—	—	—	一・〇	〇・〇	一・〇	一・四	〇・〇	一・四	一〇・九	〇・二	一〇・九
一〇	薩摩	鹿兒島	二一・八	—	二一・八	七・八	一三・八	一七・七	—	—	—	三・三	一六・九	一八・〇	二・七	一・三	三・四	八・六	一〇・七	一五・三
一一	五斗夜食	九州支場	三八・六	—	三八・六	一三・七	一・八	一三・六	一〇・八	五・六	一三・六	一・二	二・六	三・三	八・二	二〇・六	二四・七	一八・三	七・七	一三・七
一二	神力	同	二六・三	—	二六・三	九・六	七・六	一三・四	—	—	—	〇・〇	一五・八	一五・八	二・二	七・二	八・三	九・五	一〇・三	一五・九

一三	香川神力	香川	二〇・三	—	二〇・三	二一・四	一・三	一三・二	六・三	三・五	八・二	—	—	—	二・六	〇・〇	二・六	一〇・二	一・六	一〇・八
一四	薩摩	同	三・三	—	三・三	一四・六	二・六	一五・九	一・八	〇・七	二・三	〇・八	〇・八	一・三	二・八	〇・〇	二・八	八・五	一・〇	八・九
一五	吉備穂	同	五・七	—	五・七	七・八	〇・六	八・二	二・二	一・〇	二・六	四・六	〇・三	四・八	一・二	二・六	三・三	四・三	一・二	四・九
一六	柏原神力	愛知	三五・八	—	三五・八	一六・三	三・三	一七・九	三・九	〇・八	四・三	三・三	〇・四	三・四	一〇・七	一・二	一二・三	一八・〇	一・四	八・五
一七	白紅屋	佐賀	一七・二	—	一七・二	九・二	三・〇	二〇・六	—	—	—	〇・三	二・五	二・七	〇・〇	五・六	五・六	六・六	六・七	一二・三
一八	岡山神力	同	二九・五	—	二九・五	一三・二	〇・五	一三・四	一三・一	一〇・二	二七・三	三・九	〇・五	四・三	一・二	〇・〇	一・二	三・七	二・八	一四・九
一九	難不知	畿內支場	一七・三	—	一七・三	七・三	〇・〇	七・三	三・四	五・五	一六・三	—	—	—	〇・〇	〇・六	〇・六	九・五	二・[illegible]	一〇・三
二〇	幡州	同	一〇・〇	—	一〇・〇	—	—	—	〇・〇	〇・七	〇・七	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	二・五	〇・二	二・七
二一	朝鮮	同	〇・〇	—	〇・〇	一・六	〇・〇	一・六	〇・〇	〇・〇	〇・〇	—	—	—	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・四	〇・〇	〇・四
二二	伊勢錦	同	三六・八	—	三六・八	八・四	二・一	九・五	六・三	五・五	九・〇	〇・六	三・〇	三・三	六・五	一〇・三	一三・六	一一・七	五・二	一四・四
二三	奈良	同	一三・九	—	一三・九	七・五	〇・七	七・九	二・六	一〇・七	三・〇	一・二	二・六	三・三	一・三	八・四	九・〇	五・三	五・六	九・二
二四	改良神力	同	三三・二	—	三三・二	二〇・三	六・八	三三・七	二・八	三・二	四・五	二・二	一五・三	一六・四	二・七	五・三	六・七	一三・三	七・六	一六・九
二五	萬波	同	五・八	—	五・八	六・八	〇・三	七・〇	一・七	〇・八	二・二	—	—	—	—	—	—	四・八	〇・六	五・〇
二六	晩白笹	同	三・六	—	三・六	六・九	〇・六	七・三	二・七	〇・三	二・八	六・一	〇・〇	六・一	三・三	五・五	六・六	六・三	一・六	七・三
二七	龜ノ尾	同	〇・〇	—	〇・〇	九・二	一五・四	二〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	三・二	五・三	六・九	三・八	〇・八	四・三	三・三	五・四	六・二
二八	雄町	山口	二・九	—	二・九	四・九	七・〇	九・五	五・〇	一九・六	三・二	六・六	一・八	七・五	二・七	〇・〇	二・七	四・四	七・一	八・九
二九	大和錦	靜岡	五・八	—	五・八	五・六	〇・六	五・九	六・九	〇・九	七・四	〇・五	〇・〇	〇・五	一・七	〇・〇	一・七	四・一	〇・四	四・三
三〇	白玉	山口	四・三	—	四・三	五・八	四・五	八・一	六・三	一〇・三	一三・五	〇・三	〇・六	〇・八	三・一	九・三	一〇・九	四・〇	六・二	七・五
三一	撰一	—	—	—	—	—	—	—	三・〇	〇・〇	三・〇	〇・五	〇・三	〇・六	三・〇	二・五	四・三	二・三	〇・九	二・六
三二	藤早生	栃木	〇・〇	—	〇・〇	五・四	〇・〇	五・四	〇・三	〇・〇	〇・三	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	一・二	〇・二	一・二
三三	長島選	畿內支場	〇・九	—	〇・九	八・三	〇・〇	八・三	〇・六	〇・〇	〇・六	〇・〇	〇・〇	〇・〇	一・〇	〇・五	一・三	二・三	〇・一	二・三
三四	江戸	九州支場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二・三	九・八	一〇・九	一・五	二・三	三・一	一・九	六・一	七・〇
三五	臺嘉一號	臺北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一六・五	六七・七	七六・〇	一六・五	六七・七	七六・〇

三六	同二號	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一五・三	七六・五	八四・二	一五・三	七六・五	八四・二
三七	臺農一號	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四・四	三八・一	四〇・三	四・四	三八・一	四〇・三
三八	同二號	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	五・八	三六・二	二九・〇	五・八	三六・二	二九・〇
三九	雄町	香川	七・四	—	七・四	〇・七	〇・三	〇・九	一・六	一・九	二・七	一・八	二・三	三・三	〇・〇	一・二	一・二	二・三	一・四	三・二
四〇	薩摩	同	二・八	—	二・八	—	—	—	〇・五	〇・五	〇・八	一・五	〇・〇	一・五	〇・〇	〇・〇	〇・〇	一・二	〇・二	一・三
四一	衣笠早生	高知	四・六	—	四・六	二・六	〇・四	二・八	二・四	〇・〇	二・四	五・八	五・八	八・七	二・七	五・四	六・八	三・六	二・九	五・二
四二	愛國	栃木	〇・三	—	〇・三	三・七	〇・〇	三・七	一・〇	〇・〇	一・〇	一・四	一・〇	一・九	〇・七	〇・〇	〇・七	一・四	〇・三	一・五
四三	荒木	同	〇・五	—	〇・五	六・一	〇・〇	六・一	一・〇	〇・〇	一・〇	七・二	〇・〇	七・二	二・六	〇・五	二・九	三・五	〇・一	三・五
四四	八石	同	三三・八	—	三三・八	八・七	〇・〇	八・七	八・三	二・四	九・五	四・三	三・一	五・九	一三・三	〇・〇	一三・二	一三・三	一・四	一三・八
四五	撰一	同	一・八	—	一・八	三・四	〇・〇	三・四	〇・五	〇・〇	〇・五	三・六	〇・〇	三・六	四・四	二・七	五・八	二・七	〇・七	三・〇
四六	信州早生	同	三・五	—	三・五	三・七	〇・四	三・九	一・九	〇・六	二・三	一・三	一・三	二・〇	一・四	三・六	四・三	四・二	一・五	五・〇
四七	關取	同	六五・三	—	六五・三	一・三	〇・八	一・七	〇・六	〇・〇	〇・六	五・六	〇・〇	五・六	一・九	〇・六	二・二	一四・九	〇・四	一五・一
四八	神國	同	二五・一	—	二五・一	九・二	〇・六	九・五	五・二	〇・〇	五・二	一〇・九	一・八	一二・八	一〇・〇	一七・八	一三・八	一三・二	五・一	一四・九
四九	早生愛國	同	〇・〇	—	〇・〇	三・三	〇・九	三・八	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・六	〇・六	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・七	〇・四	〇・九
五〇	大和錦	愛知	五〇・二	—	五〇・二	九・五	〇・〇	九・五	四・六	〇・〇	四・六	三・四	〇・七	一三・八	一・八	〇・〇	一・八	一五・七	〇・三	一五・八
五一	愛國	同	五・四	—	五・四	一二・二	〇・〇	一二・二	〇・三	〇・〇	〇・三	〇・〇	〇・〇	〇・〇	一・九	〇・〇	一・九	三・八	〇・〇	三・八
五二	神力	同	二三・七	—	二三・七	二・三	〇・〇	二・三	五・二	三・六	七・〇	二・四	〇・〇	二・四	四・〇	〇・〇	四・〇	七・五	〇・九	七・九
五三	相德	同	七・四	—	七・四	一・五	〇・〇	一・五	四・二	〇・八	四・六	一・〇	〇・〇	一・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	二・八	〇・二	二・九
五四	白紅屋	佐賀	二六・四	—	二六・四	七・九	二・二	九・〇	一二・一	三・八	三・〇	二・五	三・三	四・六	八・三	八・二	一三・三	一二・二	四・四	一三・二
五五	日本	同	一九・三	—	一九・三	一四・九	三・九	一六・九	二・七	一・三	三・四	五・八	七・二	一〇・〇	〇・七	一三・一	一三・五	八・七	六・四	一三・六
五六	雄町	同	九・二	—	九・二	二・六	四・〇	五・三	三・八	一・〇	四・三	〇・三	四・三	四・五	—	—	—	四・〇	三・一	五・八
五七	穀良都	長崎	一四・二	—	一四・二	七・八	五・二	一〇・四	五・一	九・九	三・五	四・六	一三・九	一五・三	二・三	一〇・五	一一・七	六・八	九・六	一三・八
五八	第一旭	同	五・九	—	五・九	四・三	五・六	七・八	二・四	七・二	八・四	一・七	三・〇	三・九	〇・六	〇・六	〇・九	三・〇	四・二	五・四

五九	雄町	同	九·〇	—	九·〇	三·一	七·四	九·〇	二·四	一一·三	一三·五	二·八	四·二	五·六	一·三	〇·七	一·七	三·七	五·九	七·六
六〇	神力	同	二六·三	—	二六·三	三·一	〇·二	三·二	七·五	四·六	九·八	三·四	二·三	四·五	一·六	一·六	二·四	八·四	二·三	九·三
六一	三寶	滋賀	四五·九	—	四五·九	四·六	〇·二	四·七	一三·二	一·四	一二·九	七·四	〇·〇	七·四	六·四	〇·五	六·七	一五·三	〇·五	一五·五
六二	出雲早生	同	五〇·八	—	五〇·八	八·六	〇·六	八·九	三·九	〇·三	四·一	一四·九	〇·四	一五·一	四·一	一·五	四·九	一六·五	〇·七	一六·八
六三	高砂	同	二一·九	—	二一·九	〇·四	〇·〇	〇·四	三·三	二·六	四·六	六·〇	〇·〇	六·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	四·三	〇·七	四·六
六四	壽	同	七〇·九	—	七〇·九	九·七	〇·九	一〇·三	一五·八	三·七	一七·七	一·九	〇·八	二·三	一四·九	二·〇	一五·九	一三·六	一·九	一三·四
六五	竹成	鹿兒島	二一·三	—	二一·三	二·三	一·七	三·一	二·三	〇·〇	二·三	四·七	五·三	七·六	〇·六	〇·六	〇·九	四·二	一·九	五·〇
六六	白玉	同	三三·八	—	三三·八	二·三	二·八	三·九	一·九	一·六	二·七	六·三	一·四	七·〇	二·四	一四·〇	一五·二	九·二	五·〇	一三·三
六七	神力	同	二七·三	—	二七·三	一·九	〇·四	二·一	五·七	三·一	七·三	四·〇	〇·三	四·三	二·五	〇·〇	二·五	八·三	一·〇	八·七
六八	鍋島	同	八一·〇	—	八一·〇	七·五	三·六	九·三	四·九	〇·三	五·一	一·九	〇·四	二·一	五·二	六·八	九·四	二〇·一	二·八	二二·四
六九	雄町	同	一九·三	—	一九·三	二·三	四·六	五·八	〇·〇	一·二	一·三	五·四	一·五	六·三	二·一	三·四	四·五	五·八	二·七	七·四
七〇	曲玉	同	一四·三	—	一四·三	二·七	〇·三	二·九	〇·〇	〇·四	〇·四	二·八	〇·〇	二·八	一·三	一·八	二·四	四·二	〇·六	四·六
七一	森早生	兵庫	一三·九	—	一三·九	一·七	〇·〇	一·[illegible]	二·七	〇·三	二·九	一·六	〇·〇	一·六	〇·九	〇·〇	〇·九	四·〇	〇·二	四·〇
七二	渡船	同	六〇·二	—	六〇·二	三·三	四·二	五·九	二·四	三·一	三·五	三·九	一·五	四·七	〇·〇	三·八	三·八	一三·九	二·九	一五·六
七三	福助	同	三九·一	—	三九·一	〇·三	〇·〇	〇·三	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	七·九	〇·〇	七·九
七四	神力	同	四二·六	—	四二·六	二·〇	〇·〇	二·〇	一·二	〇·六	一·四	一·八	〇·三	二·〇	一·九	〇·〇	一·九	九·七	〇·三	九·八
七五	香稻	熊本	一·七	—	一·七	一·五	〇·四	一·七	〇·〇	〇·〇	〇·〇	七·五	〇·〇	七·五	〇·〇	〇·〇	〇·〇	二·二	〇·二	二·三
七六	大和錦	靜岡	一八·二	—	一八·二	一·六	一·〇	二·一	四·八	一·四	五·五	一二·一	一·五	一二·九	〇·〇	一·八	一·八	七·一	一·四	七·九
七七	竹成	同	六〇·三	—	六〇·三	九·九	五·二	一三·五	一·六	一·二	二·三	三·九	〇·〇	三·九	〇·〇	〇·〇	〇·〇	一五·一	一·六	一五·八
七八	目利	同	三五·七	—	三五·七	一·〇	〇·五	一·三	一·五	〇·八	一·九	八·三	〇·〇	八·三	二·三	〇·〇	二·三	九·八	〇·三	九·九
七九	碇穗	同	三〇·八	—	三〇·八	三·一	〇·八	二·五	〇·〇	〇·七	〇·七	二·六	〇·三	二·八	〇·〇	一·二	一·二	七·一	〇·八	七·六
八〇	更科	同	三三·四	—	三三·四	六·〇	三·七	七·九	一·四	一·七	二·四	一七·三	一二·四	一三·四	一·九	四·九	五·九	一二·八	五·七	一四·四
八一	八ツ倉	同	二九·九	—	二九·九	二·九	〇·四	三·一	二·三	〇·三	二·三	二·七	〇·三	二·九	一·七	〇·〇	一·七	七·九	〇·三	八·〇
八二	穀良都	同	一三·三	—	一三·三	二·六	〇·〇	二·六	一·八	〇·五	二·二	一·四	〇·〇	一·四	七·七	〇·〇	七·七	五·三	〇·二	五·五
八三	雄町	熊本	二〇·〇	—	二〇·〇	八·六	五·九	一一·六	二·五	四·四	五·七	一〇·七	一〇·三	一五·八	〇·〇	一·四	一·四	八·四	五·五	一〇·九
八四	神力	同	一三·九	—	一三·九	三·一	〇·〇	三·一	一·四	〇·六	一·七	六·二	一·〇	六·六	四·八	〇·〇	四·八	七·七	〇·四	七·八
八五	小田代穗	青森	六八·八	—	六八·八	五一·六	九·〇	五六·六	二·四	一·〇	二·九	一·三	一·三	一·八	九·四	二·五	一六·三	二六·七	五·七	二九·三
八六	日の出選	岡山	九·五	—	九·五	一·九	一·六	二·七	一·三	〇·〇	一·三	四·三	〇·五	四·六	一·二	〇·五	一·四	三·六	〇·七	三·九
八七	雄町	同	一四·九	—	一四·九	三·九	二·六	五·三	二·一	二·五	三·六	九·〇	〇·九	九·五	〇·〇	〇·七	〇·七	六·〇	一·七	六·八
八八	二皮種	畿內支場	二·三	—	二·三	三四·一	〇·〇	三四·一	一·〇	〇·〇	一·〇	〇·九	〇·〇	〇·九	一·三	〇·〇	一·三	七·九	〇·〇	七·九
八九	選立	同	一三·四	—	一三·四	一·六	〇·三	一·八	〇·七	〇·三	〇·九	六·一	〇·〇	六·一	〇·六	〇·〇	〇·六	六·三	〇·三	六·四
九〇	道海	同	一一·三	—	一一·三	四·七	〇·七	五·二	三·三	三·〇	四·八	一四·七	一·〇	一五·三	〇·〇	〇·〇	〇·〇	六·八	一·三	七·三
九一	青撰	同	〇·〇	—	〇·〇	五·一	〇·七	五·五	〇·三	〇·三	〇·五	〇·三	〇·五	〇·七	二·〇	〇·五	二·三	一·五	〇·五	一·八
九二	白玉	同	二六·七	—	二六·七	〇·三	〇·〇	〇·三	四·五	二·九	六·五	一·六	〇·〇	一·六	八·二	二·〇	九·一	八·三	一·三	八·八
九三	山北坊主	同	一三·四	—	一三·四	二·一	六·三	一四·三	一·八	九·七	一〇·六	二·二	一·六	二·九	二·五	六·七	八·〇	七·八	六·一	一一·四
九四	穀良都	同	三四·二	—	三四·二	一〇·六	八·三	一四·八	三·九	二·七	五·三	二五·三	二三·九	三一·八	〇·〇	三·一	三·一	一四·八	九·〇	一九·六
九五	都	同	一七·九	—	一七·九	四·一	三·四	五·八	〇·七	一·七	二·一	一七·三	七·四	二〇·九	〇·〇	一·三	一·三	八·〇	三·五	九·六
九六	吉備	同	二四·八	—	二四·八	四·四	一·三	五·一	三·〇	〇·〇	三·〇	一二·五	二·七	一三·九	一·二	七·四	八·〇	九·〇	二·九	九·三
九七	鈴成	同	八·四	—	八·四	一·五	〇·八	一·九	二·八	一·三	三·四	〇·四	〇·〇	〇·四	〇·五	〇·〇	〇·五	二·七	〇·五	二·九
九八	多平撰	同	六一·七	—	六一·七	一〇·九	一·四	二·六	三·〇	〇·六	三·六	一·五	〇·六	一·八	七·一	〇·五	七·四	一六·八	〇·八	一七·三
九九	溜リ穗	同	二九·三	—	二九·三	七·一	一〇·三	三·九	二·三	一·六	三·一	一九·三	二〇·三	三〇·〇	一·三	三·八	四·五	二一·八	九·〇	一六·二
一〇〇	山田穗	同	三·二	—	三·二	五·四	二·七	六·八	〇·三	三·一	三·三	一四·六	一六·〇	二三·三	〇·〇	五·三	五·三	四·七	六·八	八·四
一〇一	日本	同	四五·四	—	四五·四	四·六	〇·三	四·八	一二·九	一·八	一三·八	七·三	〇·六	七·六	八·一	二·〇	九·一	一五·五	一·三	一五·九
一〇二	山田穗	同	四·四	—	四·四	三·六	〇·七	四·〇	一·七	二·一	三·〇	〇·〇	一·三	一·三	〇·七	二·七	三·一	二·一	一·七	三·二
一〇三	奈良穗	同	〇·三	—	〇·三	二·七	〇·〇	二·七	一·四	一·六	二·三	一·九	〇·〇	一·九	一·二	一·七	二·三	一·五	〇·八	一·九
一〇四	日の出選	同	四·〇	—	四·〇	一七·七	一·〇	一八·三	一·六	〇·五	一·九	三·〇	一·三	二三·六	〇·〇	七·二	七·二	八·九	二·五	一〇·六

一〇五	亀治	同	二·四	—	二·四	四·三	〇·〇	四·三	一·二	〇·四	一·三	一八·九	〇·〇	一八·九	〇·六	〇·〇	〇·六	五·五	〇·一	五·五
一〇六	大関	同	二七·一	—	二七·一	九·五	〇·三	九·七	五·五	〇·〇	五·五	一五·五	一三·〇	三三·〇	〇·〇	九·三	九·三	一一·五	五·六	一四·七
一〇七	茂リ穂	同	一七·二	—	一七·二	五·三	一·八	六·三	四·九	八·四	一〇·九	四五·〇	一三·六	五一·八	—	—	—	一八·二	七·九	二一·五
一〇八	群益	同	一·七	—	一·七	五·〇	〇·〇	五·〇	〇·七	〇·〇	〇·七	一五·七	一·三	一六·四	〇·〇	〇·〇	〇·〇	四·六	〇·三	四·八
一〇九	強力	同	七·六	—	七·六	〇·七	〇·〇	〇·七	三·四	一·七	四·三	二八·一	一五·七	三六·〇	〇·〇	〇·七	〇·七	八·〇	四·五	九·九
一一〇	福山	同	四八·一	—	四八·一	六·三	一·三	六·九	五·五	二·〇	六·五	三四·三	三三·九	四五·七	二·六	〇·七	三·〇	一九·三	六·七	三〇·〇
一一一	小八坊主	同	四〇·七	—	四〇·七	四·七	一·三	五·四	四·三	〇·〇	四·三	二七·九	三·四	二九·六	四·五	一·二	五·二	一六·四	一·五	一七·〇
一一二	一本早生	同	五一·二	—	五一·二	四·一	一·三	四·八	六·七	三·〇	八·三	一六·九	一二·四	三三·六	一〇·八	四·五	一三·一	一七·九	五·一	二〇·〇
一一三	関取	同	六四·三	—	六四·三	二·三	〇·〇	二·三	九·五	〇·八	九·九	四·八	〇·〇	四·八	一三·四	〇·〇	一三·四	一八·六	〇·三	一八·七
一一四	竹成	同	六一·二	—	六一·二	二·三	〇·〇	二·三	八·三	二·五	九·五	八·一	〇·〇	八·一	一·一	一·一	一·七	一六·三	〇·九	一六·五
一一五	石白	同	四四·二	—	四四·二	二·三	〇·二	二·三	三·九	〇·七	四·三	一·〇	〇·〇	一·〇	三·〇	三·六	四·六	一〇·七	一·一	一二·三
一一六	曲玉	同	二五·二	—	二五·二	〇·五	〇·〇	〇·五	一·〇	〇·三	一·一	一·九	〇·〇	一·九	一·四	一·〇	一·九	六·〇	〇·三	六·一
一一七	三把	同	三·四	—	三·四	一·〇	〇·〇	一·〇	二·二	〇·四	二·四	一四·四	三·八	一六·三	—	—	—	七·五	一·四	八·〇
一一八	吉川穂	同	三四·五	—	三四·五	三·一	〇·〇	三·一	二·五	〇·五	二·八	八·八	〇·六	九·一	〇·〇	〇·四	〇·四	九·八	〇·四	一〇·〇
一一九	五個早生	同	二一·三	—	二一·三	七·七	〇·四	七·九	四·七	〇·二	四·八	一七·〇	〇·五	一七·三	〇·九	一·三	一·八	一〇·三	〇·六	一〇·六
一二〇	新関取	同	五·四	—	五·四	八·三	〇·二	八·四	六·七	〇·〇	六·七	一三·七	〇·三	一三·九	〇·六	三·二	三·五	六·九	〇·九	七·六
一二一	晩白笹	同	一〇·二	—	一〇·二	一·三	〇·九	一·七	一·四	〇·三	一·六	一三·八	一·八	一三·七	二·二	二·八	三·九	五·六	一·五	六·三
一二二	八左衛門	同	七·九	—	七·九	二·二	〇·〇	二·二	二·五	〇·〇	二·五	五·四	〇·〇	五·四	一·五	〇·五	一·八	三·九	〇·一	三·九
一二三	順賀一本	同	八·六	—	八·六	八·六	一·三	九·三	〇·四	一·一	一·三	一五·三	三·二	一六·九	〇·六	三·三	三·五	六·七	二·二	七·九
一二四	荒木	同	一五·九	—	一五·九	一三·一	二·三	一三·三	二·二	一·九	三·三	一三·二	一·〇	一三·七	一·三	三·九	四·六	八·七	二·三	九·九
一二五	玉錦	同	〇·〇	—	〇·〇	一三·一	〇·六	一三·四	一·三	〇·〇	一·三	一八·〇	〇·五	一八·三	〇·〇	一·八	一·八	六·三	〇·七	六·八
一二六	亀の尾	同	四四·三	—	四四·三	九·八	二·六	一二·一	四·九	五·三	七·八	—	—	—	—	—	—	一九·七	四·〇	二一·一
一二七	信金	同	一四·二	—	一四·二	四·九	〇·〇	四·九	三·三	〇·〇	三·三	—	—	—	一·一	一一·〇	一二·六	五·九	三·七	八·五

一二八	〆張	同	七一·五	—	七一·五	五·二	〇·二	五·三	九·八	一·九	一〇·八	三·九	〇·〇	三·九	一·四	〇·〇	一·四	一八·三	〇·五	一八·六
一二九	愛國	同	六五·一	—	六五·一	三·七	〇·〇	三·七	三·四	二·三	一三·五	二一·三	〇·八	二二·七	四·八	〇·〇	四·八	二五·三	〇·八	二五·六
一三〇	豐前穂	同	一三·六	—	一三·六	六·一	〇·四	六·三	〇·八	〇·八	一·二	—	—	—	—	—	—	六·八	〇·六	七·〇
一三一	神力	同	四一·二	—	四一·二	二·三	〇·〇	二·三	二·〇	〇·〇	二·〇	一·〇	〇·〇	一·〇	二·六	〇·〇	二·六	九·八	〇·〇	九·八
一三二	早生神力	同	三三·二	—	三三·二	六·三	一·五	七·〇	三·四	〇·〇	三·四	一三·七	三·〇	一五·二	二·五	四·九	六·二	二一·八	二·四	二三·〇
一三三	大橋本	同	八一·九	—	八一·九	三·三	〇·八	三·七	一·三	一·八	三·三	三·四	〇·〇	三·四	二·一	〇·〇	二·一	一三·四	〇·七	一三·七
一三四	萬大	同	四四·九	—	四四·九	三·八	一·六	四·六	二·二	〇·〇	二·二	一〇·七	五·四	一三·四	〇·七	三·三	三·七	一三·四	二·六	一三·七
一三五	相德	同	七一·二	—	七一·二	一〇·九	〇·五	二·二	三·三	〇·〇	三·三	二四·〇	〇·〇	二四·〇	一二·七	〇·〇	一二·七	二六·〇	〇·一	二六·〇
一三六	愛國	同	一三·七	—	一三·七	六·四	〇·六	六·七	一·二	〇·〇	一·二	五·三	一·〇	五·八	一·三	〇·〇	一·三	五·六	〇·四	五·七
一三七	神力糯	同	五〇·五	—	五〇·五	六·七	一·二	七·三	一〇·九	六·六	一四·二	一四·八	〇·〇	一四·八	三·七	五·三	七·二	一七·三	三·三	一八·八
一三八	金時糯	同	五一·六	—	五一·六	二·〇	七·五	一四·八	一六·五	三·六	二三·三	七·八	一·二	八·四	五·六	一三·一	一五·九	一八·五	八·九	二三·八
一三九	赤糯	同	五七·四	—	五七·四	一七·六	二·七	一九·〇	三·三	七·七	一六·三	二〇·七	〇·〇	二〇·七	五·八	一二·六	一四·五	三三·八	五·五	二五·六
一四〇	同	同	四四·一	—	四四·一	七·七	〇·三	七·九	三·九	一·二	四·五	一七·九	一·四	一八·六	〇·六	五·二	五·五	一四·八	二·〇	一六·一
一四一	ゲチ糯	同	六三·九	—	六三·九	五·九	〇·六	六·二	六·五	一·六	七·三	一五·四	一·八	一六·三	二·五	一·〇	三·〇	一八·八	一·三	一九·三
一四二	一本草糯	同	七四·七	—	七四·七	一〇·一	〇·二	一〇·三	一九·四	二·〇	二〇·四	五·三	〇·〇	五·三	三·三	一六·七	一八·三	二三·五	四·八	二五·八
一四三	鬼糯	同	七一·二	—	七一·二	五·九	〇·〇	五·九	五·九	〇·三	六·一	九·六	〇·〇	九·六	五·四	五·四	八·一	一九·六	一·四	二〇·三
一四四	赤糯	同	三六·三	—	三六·三	二·三	〇·〇	二·三	〇·九	〇·七	一·三	〇·三	〇·〇	〇·三	〇·〇	〇·五	〇·五	七·九	〇·三	八·一
一四五	篠原糯	同	二七·四	—	二七·四	三·一	三·九	一四·一	〇·四	〇·八	一·〇	〇·五	七·一	七·四	一·二	一三·三	一三·九	八·三	六·〇	一三·六
一四六	芝氣糯	同	六四·七	—	六四·七	一五·四	七·七	一九·三	二·四	〇·〇	二·四	〇·六	〇·九	一·二	三·四	一·七	四·三	一七·三	二·六	一八·四
一四七	銀糯	同	〇·二	—	〇·二	七·一	〇·二	七·三	一·七	〇·〇	一·七	二·六	〇·〇	二·六	〇·〇	〇·〇	〇·〇	二·三	〇·一	二·四
一四八	早生糯	同	六三·三	—	六三·三	二四·八	二·二	二五·九	四二·四	四·〇	四四·四	二一·四	一六·二	二九·五	六·〇	一四·八	一七·八	三一·四	九·三	三六·〇
一四九	茂リ糯	同	五·九	—	五·九	二六·三	〇·二	二六·四	四·九	〇·〇	四·九	一·七	九·七	一〇·六	二·一	八·三	九·四	八·二	四·六	一二·四
一五〇	神力糯	同	七〇·八	—	七〇·八	一·二	〇·〇	一·二	四·一	〇·〇	四·一	三·三	〇·〇	三·三	四·六	二·一	五·七	一六·八	〇·五	一七·〇

一五一	白糯	同	九三・〇	—	九三・〇	一〇・九	八・六	一五・三	四・九	二・三	六・二	五・〇	二七・三	二九・七	三三・三	五〇・〇	五六・六	二五・四	三・〇	四〇・二
一五二	矢澤糯	同	九五・〇	—	九五・〇	一五・一	九・九	二〇・一	六・七	一・六	七・五	八・四	一三・三	一七・五	〇・〇	一・四	一・四	二五・〇	六・六	二八・三
一五三	金作糯	同	七〇・八	—	七〇・八	一三・八	四・九	一六・三	二・三	一・八	三・〇	一五・一	一六・一	三三・七	一・三	一六・四	一七・一	二〇・六	九・八	二六・三
一五四	木下糯	同	〇・〇	—	〇・〇	二六・七	二・三	二七・九	一・五	〇・四	一・七	一・〇	六・〇	六・五	六・三	三七・一	四〇・三	七・一	一二・五	五・三
一五五	高尾糯	同	三・二	—	三・二	六・九	三・七	八・八	二・六	一・四	三・三	七・三	〇・〇	七・三	一・八	一・八	二・七	四・四	一・七	五・一
一五六	神力糯	同	六・三	—	六・三	三・二	〇・九	三・七	四・二	〇・九	四・七	一・五	〇・〇	一・五	六・〇	〇・四	六・二	四・二	〇・六	四・五
一五七	江川糯	同	二八・九	—	二八・九	一七・〇	一〇・三	一三・二	一三・五	三・八	一五・四	一五・三	五・六	八・一	三・六	三・六	五・四	一五・七	五・八	一八・〇
一五八	記念糯	同	〇・〇	—	〇・〇	一・三	一・一	一・九	〇・六	〇・〇	〇・六	〇・四	〇・〇	〇・四	二・七	二・一	三・八	一・〇	〇・八	一・三
一五九	河西糯	同	六〇・九	—	六〇・九	二〇・五	二・四	二・七	三・五	〇・六	三・八	七・六	五・六	一〇・四	二・一	七・三	八・三	八・九	四・〇	三・〇
一六〇	ヒデリウスノ一	大島	一五・六	—	一五・六	一三・〇	三・一	一三・六	二・八	二・八	四・二	一七・四	五四・六	六三・三	一・八	九・六	一〇・五	九・九	一七・五	二二・四
一六一	モチウスノ一	同	八・四	—	八・四	三・八	七・六	九・五	〇・九	〇・〇	〇・九	一三・一	三・七	二九・三	二・一	五・〇	六・一	五・七	八・八	二〇・八
一六二	マーノマイ	與那國	一七・一	—	一七・一	五・九	九・九	二・九	三・〇	〇・九	三・五	二五・七	五一・三	六四・三	三・五	二・一	四・六	一〇・〇	一六・一	二〇・五
一六三	ハヤシゴ一	同	七・一	—	七・一	四・二	〇・〇	四・二	〇・八	〇・〇	〇・八	三三・〇	二六・七	三八・三	一・八	八・三	九・一	七・四	八・七	一二・九
一六四	白毛愛國	北海道	—	—	—	—	—	—	—	—	—	六・〇	五・一	八・六	〇・〇	〇・六	〇・六	三・〇	二・九	四・六
一六五	紅毛愛國	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	六・五	三・三	八・一	一・三	〇・〇	一・三	三・九	一・六	四・七
一六六	新日本	新潟	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一〇・五	六・六	一三・八	一・〇	〇・〇	一・〇	五・八	三・三	七・四
一六七	新高（高田早生）	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三一・六	六・六	三四・九	三・〇	一・七	三・九	一七・三	四・二	一九・四
一六八	石白一號	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇・八	〇・五	一・二	八・八	〇・四	九・〇	四・八	〇・五	五・一
一六九	新愛國	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇・三	〇・七	〇・九	〇・五	〇・〇	〇・五	〇・四	〇・四	〇・七
一七〇	早坊主一號	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	九・〇	一・九	一〇・〇	六・二	二・〇	七・二	七・六	二・〇	八・六
一七一	米光	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	五・五	三・七	七・四	一七・三	一・二	一七・八	二一・四	二・四	三・六
一七二	鶴千代	栃木	—	—	—	—	—	—	—	—	—	九・九	一四・九	一九・九	〇・〇	九・六	九・六	五・〇	一三・三	一四・八
一七三	寶玉	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四・〇	二・四	五・二	三四・三	一〇・五	三九・五	一九・一	六・五	三・四

一七四	撰一	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇・四	一・八	二・〇	〇・五	四・九	五・三	〇・五	三・四	三・六
一七五	三河錦三號	愛知	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一四・五	〇・八	一四・九	一・一	〇・〇	一・二	七・八	〇・四	八・〇
一七六	器良好三號	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	六・〇	〇・〇	六・〇	四・九	〇・〇	四・九	五・五	〇・〇	五・五
一七七	都一號	山口	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇・九	二・七	三・二	三・四	二・〇	四・四	二・二	二・四	三・八
一七八	白玉一號	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一・四	六・二	六・九	三・〇	一一・四	一三・九	二・二	八・八	九・九
一七九	辨慶二號	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇・九	三・二	三・七	二・〇	〇・七	二・三	一・五	二・〇	三・〇
一八〇	日の出選三號	岡山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一・五	〇・〇	一・五	一・〇	〇・五	一・三	一・三	〇・三	一・四
一八一	龜治二號	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二・〇	〇・五	二・三	〇・六	〇・〇	〇・六	一・三	〇・三	一・五
一八二	吉備穗二號	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇・四	一・一	一・三	一・七	一・一	二・三	一・二	一・二	一・八
一八三	山中	宮崎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一三・三	四・三	一四・五	二・一	一〇・三	一一・三	七・三	七・三	一三・九
一八四	石割	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一七・四	一三・一	二四・〇	六・六	一六・〇	一九・三	一三・〇	一四・六	二三・七
一八五	山北坊主	熊本	—	—	—	—	—	—	—	—	—	五・九	〇・〇	五・九	一・三	〇・六	一・五	三・六	〇・三	三・七
一八六	福神	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三・七	〇・〇	三・七	〇・〇	〇・〇	〇・〇	一・九	〇・〇	一・九
一八七	早穗增	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一・八	一〇・〇	一〇・九	二・〇	三・一	一三・一	一・九	一一・二	三・〇
一八八	常豐	茨城	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇
一八九	關取	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四・〇	一・〇	四・五	二・五	〇・〇	二・五	三・三	〇・五	三・五
一九〇	晚白笹	佐賀	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一・九	〇・〇	一・九	五・五	〇・〇	五・五	三・七	〇・〇	三・七
一九一	喜神力	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇・六	〇・〇	〇・六	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・三	〇・〇	〇・三
一九二	白紅屋	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三三・九	五・三	三六・六	七・九	六・四	一二・一	二〇・九	五・九	三三・九
一九三	豐國	宮城	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一・二	一・七	二・三	九・五	三・六	一二・三	五・三	二・七	六・八
一九四	龜の尾	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四・七	二・三	五・九	一・二	四・一	四・七	三・〇	三・二	五・三
一九五	東郷二號	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇・五	〇・〇	〇・五	四・〇	〇・〇	四・〇	二・三	〇・〇	二・三
一九六	白河白稻	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇・〇	〇・〇	〇・〇	五・三	〇・〇	五・三	二・七	〇・〇	二・七

一九七	九州七號	九州支場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二・三	〇・〇	二・三	—	—	—	二・三	〇・〇	二・三
一九八	同八號	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二・一	〇・〇	二・一	—	—	—	二・一	〇・〇	二・一
一九九	同九號	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二・五	〇・〇	二・五	—	—	—	二・五	〇・〇	二・五
二〇〇	同二十一號	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇・六	〇・〇	〇・六	—	—	—	〇・六	〇・〇	〇・六
二〇一	同三號	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三・九	〇・〇	三・九	—	—	—	三・九	〇・〇	三・九

以上調査したる結果を被害率の少きものより配列すれば左表の如し。

第二表　臺北に於ける內地種の稻イモチ病被害率による品種の配列

	品種名	取寄先	調査年數	平均被害率	最多被害率	最少被害率	大正十一年紫雲英施用區 首イモチ	大正十一年紫雲英施用區 節イモチ	大正十一年紫雲英施用區 莖被害	大正十五年 首イモチ	大正十五年 節イモチ	大正十五年 莖被害	大正十一年苗イモチ	大正十二年苗イモチ	大正十五年葉イモチ	同年穗揃期
一八八	常豊	茨城	二	〇・〇	〇・〇	〇・〇	—	—	—	七・九	三・三	九・五				＋
一九一	喜神力	佐賀	二	〇・三	〇・六	〇・〇	—	—	—	一六・八	一・四	一七・五				＋＋
二一	朝鮮	畿內支場	四	〇・四	一・六	〇・〇	—	—	—	一三・九	〇・四	一四・一 葉イモチ		＋	＋	＋
二〇〇	九州二十二號	九州支場	一	〇・六	—	—	—	—	—	—	—	—				＋＋
一六九	新愛國	新潟	二	〇・七	〇・五	〇・九	—	—	—	三・八	一・九	二四・八				＋＋
四九	早生愛國	栃木	五	〇・九	三・八	〇・〇	—	—	—	二六・五	一八・九	三六・〇	＋	＋	＋	＋
三二	藤早生	同	五	一・一	五・四	〇・〇	〇・五	〇・〇	〇・五	一八・七	六・五	三三・〇	〇		＋	＋
四〇	薩摩	香川	四	一・三	二・八	〇・〇	—	—	—	三・七	二・〇	三三・七	＋	＋		
一五八	記念糯	畿內支場	五	一・三	三・八	〇・〇	—	—	—	二八・三	一・五	二九・〇	＋	＋＋	＋	
一八〇	日の出選三號	岡山	二	一・四	一・五	一・三	—	—	—	三・八	八・五	二六・二				＋＋
一八一	龜治二號	同	二	一・五	二・三	〇・六	—	—	—	五・四	三・〇	六・九				＋
四二	愛國	栃木	五	一・五	三・七	〇・三	—	—	—	四七・九	七・〇	五一・四	＋	＋	＋	＋＋
一八二	吉備穗二號	岡山	二	一・八	二・三	一・三	—	—	—	三六・〇	三・二	五七・六				＋＋＋
九一	青撰	畿內支場	五	一・八	五・五	〇・〇	—	—	—	三三・二	二・八	五四・六 葉イモチ	＋	＋＋＋	＋	＋＋
一〇三	奈良穗	同	五	一・九	二・七	〇・三	—	—	—	三〇・二	四・三	三三・三	＋	＋＋	＋	＋＋
一八六	福神	熊本	二	一・九	三・七	〇・〇	—	—	—	四三・七	四・六	四六・〇				
一九八	九州八號	九州支場	一	二・一	—	—	—	—	—	—	—	—				
七五	香稻	熊本	五	二・三	七・五	〇・〇	—	—	—	五・三	二・七	六・七	＋	＋	〇	〇
三三	長島選	畿內支場	五	二・三	八・三	〇・〇	一・九	〇・〇	一・九	三三・三	四・三	三五・四			＋	＋＋
一九五	東鄉二號	宮城	二	二・三	四・〇	〇・五	—	—	—	二一・六	一・六	三・四				＋
一九七	九州七號	九州支場	一	二・三	—	—	—	—	—	—	—	—				
一四七	銀糯	畿內支場	五	二・四	七・三	〇・〇	—	—	—	—	—	—	＋＋	＋＋＋	〇	
一九九	九州九號	九州支場	一	二・五	—	—	—	—	—	—	—	—				
三一	撰一	—	三	二・六	四・三	〇・六	—	—	—	五三・二	八・三	五六・三			＋	＋
二〇	幡州	畿內支場	四	二・七	一〇・〇	〇・〇	—	—	—	〇・四	〇・五	〇・七		＋	＋	＋
一九六	白河白稻	宮城	二	二・七	五・三	〇・〇	—	—	—	—	—	—				＋＋
五三	相德	愛知	五	二・九	七・四	〇・〇	—	—	—	三九・〇	二・七	四〇・四	＋	＋＋	＋	
九七	鈴成	畿內支場	五	二・九	八・四	〇・五	—	—	—	四七・二	〇・〇	四七・二 葉イモチ	＋	＋＋＋	＋＋＋	
一七九	辨慶二號	山口	二	三・〇	三・七	二・三	—	—	—	—	—	—				
四五	撰一	栃木	五	三・〇	五・八	〇・五	—	—	—	—	—	—	〇	＋	＋	＋
三九	雄町	香川	五	三・一	七・四	〇・九	—	—	—	七六・四	一八・四	八七・六	＋	＋＋＋	＋	＋＋＋
一〇二	山田穗	畿內支場	五	三・二	四・四	一・三	—	—	—	—	—	—	＋＋	＋＋	＋	＋＋
一八九	關取	茨城	二	三・五	四・五	二・五	—	—	—	—	—	—				＋＋

四三	荒木	栃木	五	三·五	七·二	〇·五	—	—	—	—	—	—	+	+	+	+
一七一	撰一	同	二	三·六	五·二	二·〇	—	—	—	—	—	—				++
一九〇	晩白笹	佐賀	二	三·七	五·五	一·九	—	—	—	—	—	—				+
一八五	山ヂ坊主	熊本	二	三·七	五·九	一·五	—	—	—	—	—	—				++
四	都	九州支場	五	三·七	七·三	一·四	一八·八	三·九	四二·三	—	—	—	+	++	+	+++
一七七	都一號	山口	二	三·八	四·四	三·二	—	—	—	—	—	—				++
五一	愛國	愛知	五	三·八	一一·二	〇·〇	—	—	—	—	—	—	○	+++	+	+
一二二	八左衞門	畿內支場	五	三·九	七·九	一·八	—	—	—	—	—	—	++	+	+	++
三	白藤	鹿兒島	五	三·九	六·八	〇·七	三·〇	一二·三	一七·六	四六·五	一七·六	五五·三	++	++	+	+++
八六	日の出選	岡山	五	三·九	九·五	一·二	—	—	—	—	—	—	+	+	+	
七一	森早生	兵庫	五	四·〇	一二·九	〇·九	—	—	—	三二·二	二·五	三三·五	+	+++	+	+++
二九	大和錦	靜岡	五	四·三	七·四	〇·五	二七·五	一·〇	二六·〇	—	—	—	+		+	++
一五六	神力糯	畿內支場	五	四·五	六·三	一·五	—	—	—	—	—	—	+++	+	+	
一六四	白毛愛國	北海道	二	四·六	八·六	〇·六	—	—	—	—	—	—				+
六三	高砂	滋賀	五	四·六	一一·九	〇·〇	—	—	—	—	—	—	++	○	++	
七〇	曲玉	鹿兒島	五	四·六	一四·三	〇·四	—	—	—	五〇·〇	〇·五	五〇·三	+	+	+	+++
一六五	紅毛愛國	北海道	二	四·七	八·一	一·三	—	—	—	—	—	—				+
一〇八	群益	畿內支場	五	四·八	一六·四	〇·〇	—	—	—	—	—	—	+	+++	+	++
一五	吉備穗	香川	五	四·九	八·一	二·六	一八·一	七·四	三二·八	—	—	—		+	++	
八	大分神力	和歌山	五	五·〇	一一·一	〇·五	一四·五	一五·〇	三三·三	—	—	—	++	+	+	++
四六	信州早生	栃木	五	五·〇	一二·五	二·〇	—	—	—	—	—	—	+	+	+	++
六五	竹成	鹿兒島	五	五·〇	一一·三	〇·九	—	—	—	—	—	—	++	++	+	
二五	萬波	畿內支場	三	五·〇	七·〇	二·一	二四·三	一三·六	三二·一	—	—	—	++	+		
四一	衣笠早生	高知	五	五·二	八·七	二·四	—	—	—	—	—	—	+	+	+	+++
一五五	高尾糯	畿內支場	五	五·二	八·八	二·七	—	—	—	—	—	—	+++	○		
一六八	石白一號	新潟	二	五·二	九·〇	一·二	—	—	—	—	—	—				++
一九四	龜の尾	宮城	二	五·三	四·七	五·九	—	—	—	—	—	—				+
五八	第一旭	長崎	五	五·四	八·四	〇·九	—	—	—	—	—	—	++	+++	+	+++
五	巾着	九州支場	五	五·四	一〇·七	一·三	二〇·四	二七·〇	三七·三	—	—	—	+	+++	+	+++
八二	穀良都	靜岡	五	五·四	一二·三	一·四	—	—	—	—	—	—	+	+	+	+++
一七六	器良好二號	愛知	二	五·五	六·〇	四·九	—	—	—	—	—	—				+++
一〇五	龜治	畿內支場	五	五·五	一八·九	〇·六	—	—	—	—	—	—	+	+	○	+
二	佐賀萬作	福岡	五	五·六	九·一	二·五	一三·三	三·一	二六·八	五八·〇	三五·六	七〇·八	++	+++	+	+++
一三六	愛國	畿內支場	五	五·七	一二·七	一·二	—	—	—	—	—	—	+	+	+	+
五六	雄町	佐賀	四	五·八	九·二	四·三	—	—	—	—	—	—	++	+	+	+++
一一六	曲玉	畿內支場	五	六·二	二五·二	〇·五	—	—	—	三三·三	九·五	二七·〇	+	+	+	++
一二一	晩白笹	同	五	六·三	一二·七	一·六	—	—	—	—	—	—	+	+	+	++
二七	龜の尾	同	五	六·三	二〇·〇	〇·〇	〇·八	〇·〇	〇·八	五七·一	二七·五	七〇·九	+		+	+++
八九	選立	同	二	六·四	一三·四	〇·六	—	—	—	六九·四	〇·〇	(穗イモチ)六九·四	+	+	+	
一九三	豐國	宮城	二	六·八	一一·三	二·三	—	—	—	—	—	—				○
八七	雄町	岡山	五	六·八	一四·九	〇·七	—	—	—	—	—	—	++	++	+	++
一二五	玉錦	畿內支場	五	六·八	一八·三	〇·〇	—	—	—	—	—	—	+	+++	+	+
三四	江戸	九州支場	二	七·〇	一〇·九	三·一	—	—	—	七四·一	二七·〇	八七·六			++	+++
一三〇	豐前穗	畿內支場	三	七·〇	一三·六	一·三	—	—	—	—	—	—	++	+++		
二六	晩白笹	同	五	七·三	一三·六	二·八	七·七	〇·三	七·八	—	—	—	+++	○	+	++
九〇	道海	同	五	七·三	一五·二	〇·〇	—	—	—	—	—	—	++	++	++	

一六六	新日本	新潟	二	七・四	三・八	一・〇	—	—	—	—	—	—	+	+++	+	+++
六九	雄町	鹿兒島	五	七・四	一九・三	一・三	—	—	—	—	—	—				
三〇	白玉	山口	五	七・五	一三・五	〇・八	二七・七	一九・八	三七・六	三五・九	二六・五	四九・二	+		+	++
五九	雄町	長崎	五	七・六	三・五	一・七	—	—	—	—	—	—	+++	+++		
一二〇	新關取	畿內支場	五	七・六	三・九	三・五	—	—	—	—	—	—	+	+	+	++
七九	碇穗	靜岡	五	七・六	三〇・八	〇・七	—	—	—	六三・八	四・〇	葉イモチ 六五・八	+	++	+	+++
六	五反穗	岐阜	四	七・七	一四・〇	三・〇	二七・九	三・七	三四・八	三三・二	三・九	六〇・二	++	+++	+	+++
八四	神力	熊本	五	七・八	三・九	一・七	—	—	—	—	—	—	+	+	+	+++
一二三	須賀一本	畿內支場	五	七・九	一六・九	一・三	—	—	—	—	—	—	++	++	+	++
七六	大和錦	靜岡	五	七・九	一八・二	一・八	—	—	—	—	—	—	+	+	+	+++
五二	神力	愛知	五	七・九	二三・七	二・三	—	—	—	—	—	—	+	+	+	+++
八八	二皮種	畿內支場	五	七・九	三四・一	一・〇	—	—	—	—	—	—	○	+	+	
七三	福助	兵庫	五	七・九	二九・一	〇・〇	—	—	—	五一・四	五・〇	葉イモチ 五三・九	+	+	+	
一七五	三河錦三號	愛知	二	八・〇	一四・九	一・二	—	—	—	—	—	—				++
一一七	三把	畿內支場	四	八・〇	一六・三	一・〇	—	—	—	—	—	—	+	○	+	++
八一	八ツ倉	靜岡	五	八・〇	二九・九	一・七	—	—	—	—	—	—	+	+	++	
一四四	赤糯	畿內支場	五	八・一	三六・三	〇・三	—	—	—	二〇・九	三・四	三・六	++	++	+	
一〇〇	山田穗	同	五	八・四	二三・三	三・二	—	—	—	—	—	—	++	+	+	++
一二七	信金	同	四	八・五	一四・二	三・三	—	—	—	—	—	—	+	+	+	++
一七〇	早坊主一號	新潟	二	八・六	一〇・〇	七・一	—	—	—	—	—	—				++
六七	神力	鹿兒島	五	八・七	二七・二	二・一	—	—	—	—	—	—	+	+++	+	+++
九二	白玉	畿內支場	五	八・八	二六・七	〇・二	—	—	—	—	—	—	+	+	++	+++
二八	雄町	山口	五	八・九	三・一	二・七	二九・二	二九・七	四四・三	八一・三	一四・六	葉イモチ 八八・五	++		+++	+++

一四	薩摩	香川	五	八・九	三・三	一・三	一七・〇	四・八	一九・四	—	—	—	+++	+		
二三	奈良	畿內支場	五	九・二	三・九	三・三	二六・七	一八・九	三六・三	—	—	—	++	++	+	+++
六〇	神力	長崎	五	九・二	二六・三	二・四	—	—	—	—	—	—	+	++	+	+++
九六	吉備	畿內支場	五	九・三	二四・八	三・〇	—	—	—	—	—	—	++	+	+	+++
九五	都	同	五	九・六	二〇・九	一・三	—	—	—	—	—	—	+	++	++	
一三一	神力	同	五	九・八	四一・二	一・〇	—	—	—	三八・八	〇・二	葉イモチ 三八・九	+	+++	+	+++
七四	同	兵庫	五	九・八	四一・六	一・四	—	—	—	三四・三	二・二	三五・四		+	+++	+++
一七八	白玉一號	山口	二	九・九	三・九	六・九	—	—	—	—	—	—				++
一二四	荒木	畿內支場	五	九・九	一五・九	三・三	—	—	—	—	—	—	+	+++	+	++
一〇九	强力	同	五	九・九	三六・〇	〇・七	—	—	—	—	—	—	+	+	+	
七八	目利	靜岡	五	九・九	三三・七	一・三	—	—	—	—	—	—	+	+++	+	+++
一一八	吉川穗	畿內支場	五	一〇・〇	三四・五	〇・四	—	—	—	—	—	—	+	++	++	+++
一一九	雛不知	同	四	一〇・三	一七・三	〇・六	三七・三	六・八	四〇・六	六一・九	六・四	葉イモチ 六八・三	+	++	+++	
一一九	五個早生	同	五	一〇・六	二一・三	一・八	—	—	—	—	—	—	+	+	+++	
一〇四	日の出選	同	五	一〇・六	二一・六	一・九	—	—	—	—	—	—	+	+	+	++
一一三	香川神力	香川	四	一〇・八	二〇・三	二・六	一四・六	五・六	一七・四	—	—	—	+	+	+	+++
一六一	モチウスノー	大島	五	一〇・八	二九・三	〇・九	—	—	—	—	—	—	+++	++	++	
八三	雄町	熊本	五	一〇・九	二〇・〇	一・四	—	—	—	—	—	—	+	++	+	+++
九	器良好	三重	四	一〇・九	二五・三	一・〇	八・四	〇・九	八・九	—	—	—	++	+	+	
七	同	和歌山	五	一一・〇	二〇・三	一・九	三一・二	三・七	三七・五	七五・九	三・四	葉イモチ 七七・四	++	+++	++	++
一七	白紅屋	佐賀	四	一一・三	一七・一	五・六	二一・八	一九・八	三・七	五七・一	一・八	六三・〇	++	++	+	
一二五	石白	畿內支場	五	一一・三	四四・二	一・〇	—	—	—	—	—	—	+	+++	+	++
九三	山北坊主	同	五	一一・四	一四・二	八・〇	—	—	—	—	—	—	+	++	+	+++

一四九	茂リ糯	同	五	一二·四	二六·四	四·九	—	—	—	—	—	—	+	+++	+	
一六三	ハヤツゴ	與那國	五	一二·九	三八·二	〇·八	—	—	—	三三·七	二五·六	四六·五	+	++	++	++
一八七	早穗增	熊本	二	一三·〇	三三·一	一〇·九	—	—	—	—	—	—				
六六	白玉	鹿兒島	五	一三·三	三三·八	二·七	—	—	—	—	—	—	++	++	++	+++
五五	日本	佐賀	五	一三·六	一九·三	三·四	—	—	—	—	—	—	+	+++	+	+++
一四丅	篠原糯	畿內支場	五	一三·六	二七·四	一·〇	—	—	—	—	—	—	+++	+		
一七一	米光	新潟	二	一三·六	一七·八	七·四	—	—	—	—	—	—				
五七	穀良都	長崎	五	一三·八	一五·二	一〇·四	—	—	—	—	—	—	+	+	+	++
一八三	山中	宮崎	二	一三·九	一四·五	一一·三	—	—	—	—	—	—				+++
一三二	早生神力	畿內支場	五	一三·〇	三三·二	三·四	—	—	—	—	—	—	++	+	+	++
五四	白紅屋	佐賀	五	一三·一	二六·四	四·六	—	—	—	—	—	—	+	+	+	+++
一三四	萬大	畿內支場	五	一三·七	四四·九	二·一	—	—	—	—	—	—	++	+++	+	+++
四四	八石	栃木	五	一三·八	三三·八	五·九	—	—	—	—	—	—	+	+	+	
二〇一	九州三號	九州支場	一	一三·九	—	—	—	—	—	—	—	—				+
八〇	更利	靜岡	五	一四·四	三三·四	二·四	—	—	—	—	—	—	++	+++	+++	
二三	伊勢錦	畿內支場	五	一四·四	三六·八	三·三	五五·二	一四·三	六三·四	七五·八	七·二	七九·四	++	+	+	+++
一〇六	大關	同	五	一四·七	二七·一	五·五	—	—	—	—	—	—	+	+	+	+++
一七二	鶴千代	栃木	二	一四·八	一九·九	九·六	—	—	—	六九·三	六·六	藥ノモチ 七三·四				+++
四八	神國	同	五	一四·九	三五·一	五·三	—	—	—	—	—	—	+	○	+	++
一一	中村	九州支場	五	一四·九	三五·四	一·三	七·三	二四·五	二八·一	六九·三	三〇·八	八四·六	++	+	++	+++
一一八	岡山神力	佐賀	五	一四·九	二九·五	一·二	三五·五	七·三	三九·三	五四·六	二·〇	藥ノモチ 五五·六		+	+	+++
四七	關取	栃木	五	一五·一	六五·三	〇·六	—	—	—	—	—	—	+	+	+	+
一〇	薩摩	鹿兒島	四	一五·三	二一·八	三·四	五四·七	三七·二	七三·三	七〇·〇	二一·八	七五·九		+++	++	++

一五四	木下糯	畿內支場	五	一五·三	四〇·三	〇·〇	—	—	—	二五·九	五七·八	七〇·八	+	+	+	
六一	三寶	滋賀	五	一五·五	四五·九	四·七	—	—	—	—	—	—	+	+	++	+++
七二	渡船	兵庫	五	一五·六	六〇·一	三·五	—	—	—	—	—	—	+	+++	++	+++
五〇	大和錦	愛知	五	一五·八	五〇·二	一·八	—	—	—	—	—	—	+	+	+	++
七七	竹成	靜岡	五	一五·八	六〇·三	〇·〇	—	—	—	—	—	—	+	+	+	+++
一二	神力	九州支場	四	一五·九	二六·三	八·三	三·一	三六·五	四七·六	五三·二	三一·五	六九·五	+	○	+	++
一〇一	日本	畿內支場	五	一五·九	四五·四	四·八	—	—	—	—	—	—	++	+	+	+++
九九	溜リ糯	同	五	一六·一	三〇·〇	三·一	—	—	—	七八·三	二六·一	九一·四	++	+	+	+++
一四〇	赤穗	同	五	一六·一	四四·一	四·五	—	—	—	—	—	—	+	+	+	+
一一四	竹成	同	五	一六·五	六一·二	一·七	—	—	—	—	—	—	+	++	+	+++
六二	出雲早生	滋賀	五	一六·八	五〇·八	四·一	—	—	—	—	—	—	+	+	++	+
二四	改良神力	畿內支場	五	一六·九	三三·二	四·五	四四·六	五〇·三	七一·六	六三·〇	三三·五	七四·八		+	+	++
一一一	小八坊主	同	五	一七·〇	四〇·七	四·三	—	—	—	—	—	—	+	++	+	
一五〇	神力糯	同	五	一七·〇	七〇·八	一·三	—	—	—	—	—	—		++	++	
九八	多平撰	同	五	一七·三	六一·七	一·八	—	—	—	—	—	—	+	+++	+	+++
一五七	江川糯	同	五	一八·〇	二八·九	五·四	—	—	—	六〇·八	七·九	六四·八	++	○		
一四六	支氣糯	同	五	一八·四	六四·七	一·三	—	—	—	—	—	—	+++	++	++	
一六	柏原神力	愛知	五	一八·五	五五·八	三·四	四八·六	六·〇	五一·六	—	—	—		++	++	+++
一二八	〆張	畿內支場	五	一八·六	七一·五	一·四	—	—	—	—	—	—	+	+	++	
一一三	關取	同	五	一八·七	六四·三	二·三	—	—	—	—	—	—	+	+++	++	
一三七	神力糯	同	五	一八·八	五〇·五	七·三	—	—	—	—	—	—	+++	+		
一四一	ゲチ糯	同	五	一九·三	六三·九	三·〇	—	—	—	—	—	—		++	++	+++
一六七	新高	新潟	二	一九·四	三四·九	三·九	—	—	—	七三·五	九·三	七七·二				++

九四	穀良都	畿內支場	五	一九·六	三四·三	五·三	｜	｜	｜	五一·二	二一·六	六七·四	＋	＋＋＋	＋	＋＋
一一二	一本早生	同	五	二〇·〇	五一·二	四·八	｜	｜	｜	｜	｜	｜	＋	＋＋＋	＋＋＋	
一四三	鬼糯	同	五	二〇·三	七一·三	五·九	｜	｜	｜	｜	｜	｜		＋＋＋		
一六二	マーノマイ	與那國	五	二〇·五	六四·三	三·五	｜	｜	｜	二一·四	二一·九	三七·四	＋	＋＋	＋＋	
一五九	河西糯	畿內支場	五	二一·〇	六〇·九	三·八	｜	｜	｜	｜	｜	｜	＋	＋		
一二六	龜の尾	同	三	二一·一	四四·三	七·八	｜	｜	｜	｜	｜	｜	＋＋	＋		
六八	鍋島	鹿兒島	五	二一·四	八一·〇	二·一	｜	｜	｜	｜	｜	｜		＋＋＋	＋	
一六〇	ヒデリウスノー	大島	五	二一·四	六三·三	四·三	｜	｜	｜	三六·六	六·七	四〇·〇	＋＋＋	＋	＋＋＋	
一〇七	茂り穗	畿內支場	四	二一·五	五一·八	六·三	｜	｜	｜	六五·七	三六·七	八四·二	＋	＋	＋	
一八四	石割	宮崎	二	二一·七	二四·〇	一九·三	｜	｜	｜	三五·六	二六·六	四八·九				＋＋
一一〇	福山	畿內支場	五	二二·〇	四八·一	三·〇	｜	｜	｜	六九·八	一六·六	七八·二	＋	＋＋	＋＋	
一七三	寶玉	栃木	二	二二·四	三九·五	五·三	｜	｜	｜	七五·四	一二·五	八一·三 葉イモチ				
一一一	五斗夜食	九州支場	五	二二·七	五八·六	三·三	四四·三	三三·七	六一·二	八三·三	一八·七	九二·六 葉イモチ	＋＋	＋＋	＋	＋＋＋
一三三	大橋本	畿內支場	五	二二·七	八一·九	二·一	｜	｜	｜	｜	｜	｜	＋	＋＋	＋＋＋	
一三八	金時糯	同	五	二二·八	五一·六	八·四	｜	｜	｜	｜	｜	｜	＋	＋	＋＋	
六四	壽	滋賀	五	二三·四	七〇·九	二·三	｜	｜	｜	｜	｜	｜	＋	○	＋＋	＋＋＋
一九二	白紅屋	佐賀	二	二三·九	三六·六	一二·一	｜	｜	｜	七五·一	一二·六	八〇·九 葉イモチ				＋＋＋
一三九	赤糯	畿內支場	五	二五·六	五七·四	一四·五	｜	｜	｜	六三·三	一四·四	七〇·四	＋	＋＋	＋	＋＋
一二九	愛國	同	五	二五·六	六五·一	四·八	｜	｜	｜	｜	｜	｜	＋＋	＋＋	＋	＋＋＋
一四二	一本草糯	同	五	二五·八	七四·七	五·三	｜	｜	｜	｜	｜	｜		＋＋＋		
一三五	相德	同	五	二六·〇	七一·二	一二·三	｜	｜	｜	｜	｜	｜	＋	○	＋	＋＋
一五三	金作糯	同	五	二六·二	七〇·八	三·〇	｜	｜	｜	四五·九	一七·三	五四·五	＋＋	＋		
一五二	矢澤糯	同	五	二八·三	九五·〇	一·四	｜	｜	｜	｜	｜	｜		＋		
八五	小田代穗	青森	五	二九·三	六八·八	一·八	｜	｜	｜	五三·五	三一·三	五八·七	＋	＋＋		
一四八	早生糯	畿內支場	五	三六·〇	六三·三	一七·八	｜	｜	｜	八二·九	五·五	八五·七 葉イモチ	＋＋＋	＋		
一三八	臺農二號	臺北	一	三九·〇	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜				
一五一	白糯	畿內支場	五	四〇·一	九二·〇	六·二	｜	｜	｜	一〇〇·〇	一〇〇·〇	一〇〇·〇 葉イモチ		＋＋＋	＋	
一三七	臺農一號	臺北	一	四〇·三	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜				
一三五	臺嘉一號	同	一	七六·〇	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜				
一三六	同二號	同	一	八四·一	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜				

備考

(一) 大正十一年第一期作田紫雲英施用區は其施用せられたる紫雲英の量不明なれども、普通肥料區より遙かに被害大なり。其場所に栽培せられたる品種は當時の優良品種なり。

(二) 大正十五年第一期作の分は反當煙骨一六〇、〇〇〇匁、硫酸安母尼亞一五、五二〇匁、過燐酸石灰一五、六二〇匁を施せり。其三要素量は窒素五、〇〇〇匁、燐酸四、〇〇〇匁、加里五、五六八匁にして、普通量の約二倍に當れり。此場合に於ては抵抗性及感受性と見做したるもの六八品種のみを栽培せり。

(三) 大正十一年及大正十二年苗イモチの調査は普通法による苗代の苗取期に就き調査せるものなり。

(四) 大正十五年第一期作の葉イモチ及穗揃期の調査をなせる水田の施肥量は、反當推肥五〇〇、〇〇〇匁、煙骨一六〇、〇〇〇匁、硫酸安母尼亞一〇、七〇〇匁、過燐酸石灰二〇、〇〇〇匁、にして其三要素量は窒素七、二二七匁、燐酸五、六九八匁、加里一〇、五七四匁にして普通量の約二・八倍强なり。而して穗揃期に於ける欄の缺字の大多數は、烈しく被害を受けたるものなり。

(五) 大正十五年被害率の欄に葉イモチと附記したるものは、目立つ程度に葉イモチの被害ありたるものなり。

第二表上欄に掲げたる平均被害率によりて、大體其抵抗性なるを窺ふに足るべしと雖も、更に下欄の參考材料を念頭に置きて考定するに、左の如きは內地種中、强き抵抗性を有する品種なりと見做し得べし。

播州、常豐、朝鮮、藤早生、香稻、龜治二號、記念糯、

野外調査による抵抗性又は感受性品種は、人工的に病菌を接種したる場合に果して同樣の結果を現はし得るやを確めんとし、左の方法によりて接種試驗を行へり。

當農業部稻栽培地の土壤卽ち埴質壤土を盛りたる「ポット」に左の品種を栽培し、硝子室内に置き、肥料は硫酸安母尼亞、過燐酸石灰、硫酸加里を用ひ反當窒素五、〇〇〇匁、燐酸四、〇〇〇匁、加里一、〇〇〇匁卽ち普通量の二倍量の割合に基肥として施用し、其出穗したる時、其都度直ちに純粹培養によりて得たる新しき分生胞子を滅菌蒸溜水に混じて「スプレー」を以て霧散し、直後「パラフィン」紙二重袋を以て被ひ濕氣を保持せしめ置きたり。從て一「ポット」の植物に對しては十數回宛病菌を撒布せり。稻の成熟期卽ち大正十四年七月十三日に至りて、「パラフィン」紙袋を破りて其被害穗數を調査し、總穗數に對する被害率を求めたり。

其結果左表の如し。

抵抗性と思はる、品種に對する接種試驗成績

番號	品種名	取寄先	總穗數	首イモチ被害穗數	首イモチ被害率	野外にての平均被害率
二一	朝鮮	畿內支場	二〇	〇	〇・〇	〇・四
一五八	記念糯	同	一九	〇	〇・〇	一・三
一二七	龜の尾	同	二四	一	四・二	六・三
四二	愛國	栃木	一七	一	五・九	一・五
一〇三	奈良穗	畿內支場	二四	二	八・三	一・九
三二	藤早生	栃木	二二	二	九・二	一・三
九一	青撰	畿內支場	二八	三	一〇・七	一・八
四九	早生愛國	栃木	一七	二	一一・八	〇・九
二〇	播州	畿內支場	一八	三	一六・七	二・七

感受性と思はる、品種に對する接種試驗成績

番號	品種名	取寄先	總穗數	首イモチ被害穗數	首イモチ被害率	野外にての平均被害率
八五	小田代穗	青森	一八	三	一六・七	二九・三
一四八	早生糯	畿內支場	二四	九	三七・五	三六・〇
一五一	白糯	同	一七	六	三五・三	四〇・一
一一〇	福山	同	二五	八	三二・〇	三三・〇
二二	伊勢錦	同	二一	七	三三・三	一四・四
一六	柏原神力	愛知	二六	七	二六・九	一八・五
一五二	矢澤糯	畿內支場	二六	六	二三・一	二八・三
二四	改良神力	同	一九	四	二一・一	一六・九
一〇	薩摩	鹿兒島	二九	五	一七・三	一五・二

此抵抗性及感受性品種に對する接種試驗の結果は、野外にて調査したる成績と等しく、夫々其抵抗性及感受性なるを示せり。卽ち野外に於て調査したる平均被害率は大體其者の性質を現はすべき相當價なるべきを暗示せり。

（二）臺北に栽培せられたる臺灣種第一期作品種

臺北に於て調査せし臺灣種第一期作品種は、當農業部にて栽培せるものによれり。而して是等は概ね中部以北の品種にして、其總數二六一品種に達せり。然れども第百五十四番以後は臺北、新竹、臺中三州下の限定品種にして、大正十三年以降限定品種保存として栽培せられたるものに係り、調査の都合上、只一箇年調査したるのみなるを以て、之は參考に供する爲登載せり。

此栽培地に施用したる肥料の分量及其成分量は次の如し。

反當施用量

基肥
　堆肥　三〇〇貫
　大豆粕　一〇貫
　過燐酸石灰　五貫
追肥
　人糞尿　一〇〇貫

此成分量は
　窒素　二、五一五匁
　燐酸　一、九六九匁
　加里　一、九二八匁

又此調査開始時期は各年次の如し。

大正十年は　七月九日
大正十一年は　七月九日
大正十二年は　七月二日
大正十三年は　七月九日
大正十四年は　七月十日
大正十五年は　七月十四日

又各年出穗後一箇月間の氣象は左表の如し。

年次	期間	平均氣温	降水量	降水日數	雲量	日照時	蒸發量
大正十年	自六月十日 至七月九日	二七・三	三六六・五	一七	六・〇	一四八・〇	六・五
同十一年	自六月十日 至七月九日	二七・四	二五〇・三	一八	六・七	一〇三・六	四・九
同十二年	自六月三日 至七月二日	二六・〇	四〇八・五	二〇	五・九	一五六・六	五・五

同十三年	自六月十日至七月九日	二六・七	二五二・五	一・九	七・九	一〇八・七	三・三
同十四年	自六月十一日至七月十一日	二九・六	三六・七	一・四	五・七	一四〇・一	四・三
同十五年	自六月十五日至七月十四日	三〇・〇	九七・八	一・四	六・九	一六八・九	五・七

左表品種の配列は圃場に於て作付せられたる順序によれり。又數字は被害百分率なり。

第三表　臺北に於ける第一期作臺灣種の稻イモチ病被害率

	品種名	取寄先	大正十年 首イモチ	大正十年 節イモチ	大正十年 被害莖	大正十一年 首イモチ	大正十一年 節イモチ	大正十一年 被害莖	大正十二年 首イモチ	大正十二年 節イモチ	大正十二年 被害莖	大正十三年 首イモチ	大正十三年 節イモチ	大正十三年 被害莖	大正十四年 首イモチ	大正十四年 節イモチ	大正十四年 被害莖	平均 首イモチ	平均 節イモチ	平均 被害莖
一	高脚花螺	臺北	三五・〇	—	三五・〇	四・七	〇・八	五・二	二六・一	八・三	三〇・三	六・九	九・三	一三・七	四・六	〇・〇	四・六	一五・五	四・六	一七・五
二	短廣花螺	同	三三・四	—	三三・四	二・七	〇・〇	二・七	一・八	一・三	三・五	一〇・三	五・七	一三・一	三・七	〇・九	四・三	一〇・四	二・〇	一二・三
三	白尾蔥	同	九四・三	—	九四・三	三三・一	三・六	三三・九	六一・一	一七・一	六九・七	九・二	二九・八	四三・四	二・七	〇・〇	二・七	三九・七	一二・六	四六・八
四	小烏殼	同	八〇・三	—	八〇・三	三・三	〇・〇	三・三	一四・四	一・三	一五・一	一・五	二・三	三・一	一・九	〇・〇	一・九	二〇・三	〇・九	二〇・七
五	紅皮花螺	同	四一・五	—	四一・五	五・三	一・〇	五・八	一・八	二・三	三・九	八・三	二・八	九・七	三・〇	〇・〇	三・〇	一四・〇	一・五	一四・六
六	低脚仔種	同	三七・六	—	三七・六	五・三	〇・〇	五・三	六八・六	〇・六	六八・九	二九・八	三・四	三六・〇	—	—	—	三五・三	四・三	三七・〇
七	高脚柳州	宜蘭	九〇・六	—	九〇・六	一八・七	一・五	一九・五	七七・四	八・三	八一・五	三五・三	七・六	三八・〇	三六・三	〇・七	三六・六	五一・六	四・五	五三・四
八	麥仔粒	同	八四・三	—	八四・三	九・三	一・六	一〇・一	三八・七	一七・四	四七・四	一三・一	一六・九	二三・五	三二・九	六・六	三五・三	三三・五	一〇・六	三八・二
九	下脚柳州	同	二七・三	—	二七・三	一・五	〇・〇	一・五	六・三	五・三	八・九	一〇・四	七・四	一四・一	一・六	〇・〇	一・六	九・四	三・三	一〇・七
一〇	白殼軟枝	同	一〇・九	—	一〇・九	〇・三	〇・〇	〇・三	一・七	〇・六	二・〇	一・五	四・五	五・三	〇・〇	〇・〇	〇・〇	二・九	一・三	三・七
一一	烏殼軟枝	同	四八・〇	—	四八・〇	五・〇	〇・〇	五・〇	三二・六	七・三	二六・三	七・四	三三・三	二六・〇	一・三	〇・七	一・七	一六・九	七・六	二一・四
一二	尾張	同	八七・〇	—	八七・〇	一八・五	五・三	二一・三	三七・一	七・八	四一・〇	二二・八	五七・八	六八・七	〇・八	二・三	二・七	三三・〇	一八・三	四四・一
一三	烏種	同	七四・二	—	七四・二	六・六	三・五	八・四	四二・四	一九・九	五三・四	七・一	二九・九	三三・五	四・八	三・五	六・六	二七・〇	一四・二	三五・〇
一四	花螺	同	四九・四	—	四九・四	三・六	〇・七	四・〇	二三・六	一・七	一三・五	八・三	三〇・六	三四・八	一・六	〇・八	二・〇	一五・一	八・五	二〇・七
一五	低脚花螺	桃園	五四・三	—	五四・三	一・七	〇・〇	一・七	九・九	三・四	一一・六	—	—	—	—	—	—	三・〇	一・七	三・五
一六	低脚烏殼花螺	同	九五・五	—	九五・五	三五・七	一七・〇	四四・三	五五・五	三三・四	六七・三	一八・一	三〇・三	三九・四	一・五	二・〇	二・八	四一・三	一八・二	四九・八
一七	花肚	同	五七・二	—	五七・二	五・四	一・三	六・〇	一五・三	二・四	一六・五	三・七	一四・〇	一五・九	一・七	〇・九	二・三	一六・七	四・六	一九・六
一八	短廣花螺	同	三八・三	—	三八・三	二・五	一・一	三・一	三三・三	三・九	二四・二	一〇・四	二八・七	三三・九	一二・一	四・五	一四・四	一七・一	九・六	二三・八
一九	烏殼花螺	同	六〇・六	—	六〇・六	四・九	〇・四	五・一	九・八	一・三	一〇・五	六・三	八・三	一二・三	〇・〇	〇・〇	〇・〇	一六・三	二・五	一七・五
二〇	硬尾	同	九三・〇	—	九三・〇	三五・三	一四・七	四二・七	七二・四	二八・七	九一・八	三・五	四八・三	五四・六	五・三	二・一	六・四	四三・七	二六・〇	五七・七
二一	白米粉	同	五七・四	—	五七・四	三・六	二・五	四・九	一三・三	四・一	一四・四	九・三	七・六	一三・一	一・五	〇・七	一・九	一六・八	三・七	一八・三
二二	大冇清油	同	六九・七	—	六九・七	五・六	〇・四	五・八	二六・五	四・五	二八・八	九・四	三・八	一七・五	二・三	〇・八	二・七	三三・七	四・六	二四・九
二三	高脚烏尖	同	六六・七	—	六六・七	三・八	〇・九	四・三	三〇・八	一六・四	三九・〇	三・九	〇・六	四・二	〇・〇	〇・〇	〇・〇	二一・〇	四・五	二三・八
二四	白殼花螺	同	五四・五	—	五四・五	三・五	〇・八	三・九	九・〇	二・六	一〇・三	四・五	八・一	一〇・四	二・三	〇・〇	二・三	一四・八	二・九	一六・三
二五	清油	同	八五・二	—	八五・二	一六・七	四・九	一九・三	四八・一	二四・六	六〇・四	—	—	—	五・三	五・三	七・八	三八・八	一一・六	四三・[illegible]
二六	低脚烏尖	同	四四・五	—	四四・五	三・九	〇・五	四・三	一四・五	八・三	一八・七	三・七	一・六	四・五	〇・〇	〇・〇	〇・〇	一三・三	二・六	一四・四
二七	火燒烏粘	新竹	一〇〇・〇	—	一〇〇・〇	五二・〇	一九・九	六二・〇	七八・四	四七・〇	一〇〇・〇	三・四	三一・九	二六・一	一五・八	五・八	一八・七	五一・七	一三・七	六一・八
二八	正烏粘	同	四四・五	—	四四・五	七・〇	〇・九	七・五	三三・七	八・三	二七・九	六・八	一〇・七	一四・一	〇・五	〇・〇	〇・五	一六・五	五・〇	一八・九
二九	紅脚烏粘	同	九六・三	—	九六・三	四四・九	一〇・九	五〇・四	五九・五	二・九	七〇・五	一六・六	二四・六	三二・九	四・一	〇・七	四・五	四四・三	一四・五	五〇・九
三〇	正清油	同	六五・五	—	六五・五	二九・〇	一・八	二九・九	一四・六	一・八	一五・五	九・八	六・六	一三・一	四・三	二・三	五・四	二四・六	三・一	二五・九
三一	青脚花螺	同	九三・四	—	九三・四	四〇・四	五・五	四三・三	六一・六	三・七	六八・五	四・七	一八・一	二〇・五	一・四	〇・七	一・八	四〇・三	九・五	四五・五
三二	矮脚花螺	同	六二・一	—	六二・一	一〇・六	三・三	一三・三	一六・九	四・四	一九・一	三・三	一・七	四・二	〇・七	〇・〇	〇・七	一八・七	二・四	一九・七
三三	花螺	同	七三・四	—	七三・四	一四・三	四・三	一六・四	三三・四	一〇・一	二七・五	三・五	五・三	七・〇	二・五	〇・〇	二・五	二三・二	四・九	二五・四

三四	半高矮烏粘	新竹	五六·二	—	五六·二	四·一	三·四	五·八	二八·五	一三·二	三五·二	二·〇	三·九	四·九	一·〇	一·〇	一·五	一八·三	五·四	二〇·七
三五	高脚烏粘	同	二四·五	—	二四·五	二·三	〇·八	二·七	六·八	一·三	七·五	一·八	二·三	三·三	〇·〇	〇·〇	〇·〇	七·二	一·二	七·六
三六	黄殼烏殼	同	八二·二	—	八二·二	七·三	一·七	八·二	一五·四	二·三	一六·六	四·七	七·四	九·八	一·三	一·三	一·八	三·二	三·三	三·七
三七	軟枝烏粘	同	五三·八	—	五三·八	二·三	一·二	二·九	六·二	五·〇	八·六	六·七	四·六	九·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	三·六	二·七	一四·七
三八	白米鈕種	同	八三·三	—	八三·三	一五·四	四·九	一七·九	一六·三	四·八	一八·六	八·四	二〇·三	一四·四	一·三	〇·〇	一·三	二四·九	五·〇	二七·一
三九	白米粉	同	四九·一	—	四九·一	一七·八	六·九	二二·三	九·四	一·三	一〇·二	〇·六	六·四	六·七	一·三	〇·〇	一·六	一五·六	三·八	一七·八
四〇	低脚烏粘	同	五四·九	—	五四·九	七·一	〇·五	七·四	一二·九	四·四	二四·一	三·〇	四·三	五·七	〇·〇	〇·六	〇·〇	一七·四	二·三	一八·四
四一	蟻公包	同	六九·三	—	六九·三	一五·九	四·三	一八·一	一七·八	三·九	一九·二	四·九	〇·八	五·三	〇·〇	〇·〇	〇·七	二·四	二·四	三·五
四二	低脚花螺	同	九二·三	—	九二·三	二六·三	一五·九	三六·三	五七·八	二一·七	六四·三	一四·四	一八·三	三三·五	四·七	七·四	九·八	三九·五	一三·六	三五·二
四三	高脚花螺	同	八九·七	—	八九·七	三四·七	二〇·四	四四·九	八七·三	三三·五	一〇〇·〇	三三·八	二七·六	四七·六	〇·六	一·三	一·五	四九·三	二〇·四	五六·七
四四	矮脚烏粘	同	八五·三	—	八五·三	二七·八	一八·一	三六·九	六八·三	三三·九	八四·八	一七·一	三四·四	四三·〇	—	—	—	四九·六	六·五	六二·五
四五	月桃包	同	六七·二	—	六七·二	四〇·三	三·八	四二·一	一四·五	五·〇	一七·〇	七·九	二〇·三	二四·三	〇·八	〇·八	一·三	二六·一	七·五	三〇·三
四六	五枝齊	同	五二·五	—	五二·五	三三·六	四·〇	三五·六	一三·四	八·三	一六·六	一·四	二·八	三·五	〇·〇	一·三	一·三	二〇·〇	四·一	二二·九
四七	牛紅早	同	一〇〇·〇	—	一〇〇·〇	三〇·五	一五·四	三八·三	八六·三	一四·八	九二·七	二八·三	二·四	二九·五	一三·三	二·七	一三·六	五一·五	八·八	五五·〇
四八	南路早	同	八〇·四	—	八〇·四	六四·五	四·九	六七·〇	五〇·〇	七·七	五三·九	一四·七	一五·四	三三·八	四·三	一·八	五·一	四三·八	七·五	四五·八
四九	白殼耳	同	九〇·五	—	九〇·五	四三·三	一〇·六	四八·六	四七·九	九·六	五二·七	二六·〇	二七·六	四〇·六	四·六	一三·六	一四·九	四二·五	一五·一	四九·五
五〇	下脚烏粘	同	七四·三	—	七四·三	八·七	一·二	九·三	一四·四	一·九	一五·四	二·六	一·八	二七·五	〇·五	〇·〇	〇·五	三·九	三·七	二五·四
五一	下脚花螺	同	九五·〇	—	九五·〇	四三·一	三三·九	三五·一	七七·九	二七·八	九一·八	一九·〇	三五·四	四四·九	三·五	三·五	五·三	四七·七	一三·七	五八·四
五二	烏粘	同	七四·五	—	七四·五	二·四	五·九	一四·四	三九·九	一七·六	四八·七	一三·三	二〇·六	二七·三	〇·五	〇·〇	〇·五	二七·九	二·〇	三三·一
五三	播槌	同	五八·〇	—	五八·〇	一五·六	二·六	一六·九	一二·三	八·七	一五·六	〇·七	五·四	五·八	〇·七	二·〇	二·四	一七·三	四·七	一九·七
五四	白殼花螺	同	八二·六	—	八二·六	二六·四	四·三	二八·五	一三·〇	四·四	一五·二	四·〇	三·四	五·七	二·四	〇·〇	二·四	二五·七	三·〇	二六·九
五五	竹絲朮	臺北	七二·五	—	七二·五	四·三	一·九	五·三	二〇·九	三三·六	三四·一	—	—	—	—	—	—	三三·六	一三·八	三七·三
五六	白朮	同	六七·三	—	六七·三	三三·六	七一·四	八二·七	二四·七	六六·八	八一·二	一三·三	七六·三	八三·四	—	—	—	三·七	七二·三	七八·四
五七	赤殼朮	同	九·三	—	九·三	二·五	〇·三	二·七	三·〇	七·三	一五·六	〇·〇	一·六	一·六	六·九	二〇·三	二三·八	六·二	七·四	一〇·六
五八	日本朮	同	四三·二	—	四三·二	二·七	〇·七	三·一	八·四	四·三	一〇·五	七·四	二五·五	二九·三	—	—	—	一七·七	一〇·二	三三·八
五九	芒花朮	同	七四·〇	—	七四·〇	八·八	四·三	一一·〇	一九·一	一五·〇	二六·六	—	—	—	—	—	—	三四·〇	九·七	三七·二
六〇	紅脚朮	同	五六·八	—	五六·八	一六·七	〇·六	一七·〇	七·六	四·七	一〇·〇	三·四	八·四	一〇·一	三·六	八·八	一七·〇	一九·四	五·六	三三·三
六一	芒花朮	宜蘭	三三·九	—	三三·九	四·四	一·六	五·三	三·三	一七·五	三三·六	二·五	七·六	八·九	三·五	一六·九	一八·七	一一·三	一〇·九	一八·一
六二	東脚朮	同	三九·七	—	三九·七	三·〇	二·一	四·二	一五·八	二〇·六	二八·五	一·〇	八·九	九·四	—	—	—	一四·九	一〇·五	二〇·五
六三	白殼朮	桃園	六三·〇	—	六三·〇	—	—	—	一五·七	四·九	五三·八	四·八	四〇·四	四二·八	—	—	—	二七·八	四二·七	五二·九
六四	芒花朮	同	九〇·〇	—	九〇·〇	三·三	一四·三	三〇·四	一三·七	二七·六	三四·五	七·一	一五·六	一九·三	—	—	—	三〇·八	一九·二	四一·〇
六五	紅殼朮	同	七一·二	—	七一·二	一九·四	二三·八	三五·八	二四·七	四四·四	五六·八	五·六	一四·六	一七·四	—	—	—	三〇·二	三·九	四二·八
六六	白朮	新竹	五五·七	—	五五·七	一一·〇	四八·一	五三·六	二五·一	七七·三	八九·八	二·九	六二·一	六八·六	九·三	八三·七	八八·三	三三·八	六七·八	七一·二
六七	紅脚朮	同	八九·五	—	八九·五	三一·〇	一四·三	二八·三	四四·一	一四·三	五一·三	一九·一	二〇·九	三〇·五	—	—	—	四三·四	一六·五	四九·九
六八	日本朮	同	二八·三	—	二八·三	五·三	七·一	八·八	六·四	八·七	一一·九	四·四	四·四	六·六	二·七	四·八	六·三	九·四	六·三	一三·四
六九	紅脚朮	同	三〇·九	—	三〇·九	一五·八	四·四	一八·〇	三三·六	六七·九	七九·三	三·五	八·八	一〇·六	—	—	—	一八·二	二七·〇	三四·七
七〇	鈕花朮	同	八二·五	—	八二·五	一八·五	〇·七	一八·九	四二·七	二一·九	四八·七	三·二	五·七	七·三	—	—	—	三六·七	六·一	三九·四
七一	赤殼朮	同	三九·三	—	三九·三	三一·八	二一·八	二七·七	一六·九	六一·四	六九·九	—	—	—	四·八	四六·〇	四八·四	二〇·七	三九·七	四六·三
七二	馬美西朮	同	二九·六	—	二九·六	一·二	〇·〇	一·二	一四·一	一五·六	三·七	—	—	—	〇·〇	一一·四	二一·四	一一·二	九·〇	一六·二
七三	烏殼	臺北	一八·八	—	一八·八	—	—	—	—	—	—	三·五	一一·八	一八·四	一〇·六	一七·五	三三·八	一四·〇	一四·七	二〇·〇
七四	短廣花螺	同	七·二	—	七·二	—	—	—	一四·五	七·一	一八·二	一·三	〇·四	一·五	五·三	二·六	六·六	七·一	三·四	八·四
七五	高脚花螺	同	九·一	—	九·一	—	—	—	—	—	—	一一·二	三·三	三·八	四·六	二九·一	三一·四	八·三	一六·二	一七·八
七六	低脚花螺	同	一一·三	—	一一·三	—	—	—	二七·三	八·四	三一·四	三·七	〇·〇	三·七	二·七	三·六	五·〇	一一·二	四·〇	二三·九
七七	短脚花螺	基隆	八·七	—	八·七	—	—	—	—	—	—	三·一	〇·五	三·四	一·三	〇·〇	一·三	四·四	〇·三	四·五
七八	柳州	同	五·七	—	五·七	—	—	—	二八·六	二七·〇	四三·二	五·七	四·一	七·八	二·〇	一·五	二·八	一〇·五	一〇·九	一四·六
七九	高脚花螺	同	一四·〇	—	一四·〇	—	—	—	—	—	—	〇·〇	〇·四	〇·四	一·七	〇·九	二·三	五·二	〇·七	五·五

八〇	清油	同	七·三	—	七·三	—	—	—	—	—	—	八·一	七·四	一一·八	五·六	一·九	一四·七	七·〇	九·七	一一·二
八一	清流	宜蘭	七·六	—	七·六	—	—	—	八七·七	五五·二	100·0	九·三	二二·一	一六·八	二三·七	一五·一	三一·三	三一·一	二七·五	三八·九
八二	烏殼柳州	同	七·一	—	七·一	—	—	—	—	—	—	三·九	一三·一	二八·五	二二·四	五·八	二四·三	一六·八	九·五	二〇·〇
八三	烏種	同	一〇·〇	—	一〇·〇	—	—	—	八八·〇	七七·六	100·0	一一·八	八·九	一六·三	一〇·二	三·七	一七·八	三〇·〇	三三·一	三六·〇
八四	烏殼軟枝	同	一〇·九	—	一〇·九	—	—	—	—	—	—	七·四	六·七	一〇·八	三·四	九·五	一一·二	七·三	八·一	一一·〇
八五	尾張	同	二六·七	—	二六·七	—	—	—	八八·三	七四·〇	100·0	三四·〇	二五·〇	四六·五	—	—	—	四九·七	四九·五	五七·七
八六	軟枝	同	六·八	—	六·八	—	—	—	—	—	—	四·九	三·四	六·六	四·八	六·八	九·二	五·五	五·一	七·五
八七	烏殼	深坑	八·三	—	八·三	—	—	—	七九·一	三·七	八六·〇	三一·六	七·六	三五·四	一〇·六	〇·六	一〇·九	三三·四	七·三	三五·一
八八	竹絲	同	一·四	—	一·四	—	—	—	—	—	—	一·五	〇·〇	一·五	〇·五	〇·〇	〇·五	一·一	〇·〇	一·二
八九	低脚烏殼	同	三·三	—	三·三	—	—	—	四一·九	〇·〇	四一·九	二三·〇	〇·五	二三·三	二·二	〇·〇	二·二	一七·六	〇·三	一七·七
九〇	同	桃園	四·四	—	四·四	—	—	—	八七·七	一·四	八八·四	五一·四	四·六	五三·七	四·一	〇·五	四·四	三六·九	二·二	三七·七
九一	烏殼	同	六·四	—	六·四	—	—	—	九四·七	四六·九	100·0	四八·五	三六·八	六六·九	三·七	一·六	四·五	三八·三	二八·四	四四·五
九二	硬尾	同	三三·九	—	三三·九	—	—	—	九八·〇	七一·七	100·0	六六·三	四四·五	八八·六	三五·五	六·六	二八·八	五三·四	四〇·七	六〇·三
九三	花螺	同	三一·二	—	三一·二	—	—	—	九六·九	五六·九	100·0	—	—	—	—	—	—	六四·一	五六·九	六五·六
九四	花肚	同	八·九	—	八·九	—	—	—	—	—	—	三·五	二·三	四·七	八·六	〇·八	九·〇	七·〇	一·六	七·五
九五	清油	新竹	四·七	—	四·七	—	—	—	—	—	—	八·〇	四·九	一〇·五	八·〇	二·二	九·一	六·九	三·六	八·一
九六	低脚烏尖	同	三·四	—	三·四	—	—	—	—	—	—	六六·一	一七·一	七四·七	五·九	〇·〇	五·九	二五·一	八·一	二八·〇
九七	火燒烏粘	同	一·八	—	一·八	—	—	—	—	—	—	六四·九	四八·九	八九·四	一·四	〇·〇	一·四	三三·七	二四·五	三〇·九
九八	清油	臺東	八·八	—	八·八	—	—	—	八九·〇	三二·八	100·0	四六·五	二八·五	六〇·八	一八·九	四·一	二一·〇	四〇·八	二八·五	四七·七
九九	清流	同	七·五	—	七·五	—	—	—	—	—	—	四〇·六	四八·六	六八·九	八·一	一〇·七	一四·八	一八·八	二九·七	三〇·九
一〇〇	柳州	同	一·九	—	一·九	—	—	—	六二·一	三〇·二	七七·三	六二·八	三三·〇	七九·三	一一·六	五·四	一四·三	三四·六	三三·八	四三·二
一〇一	銀粘	桃園	—	—	—	—	—	—	七五·六	四六·二	九八·七	二三·三	二七·二	三八·四	二五·三	二〇·四	三五·五	四一·二	三一·三	五七·五
一〇二	紅谷	同	—	—	—	—	—	—	八〇·〇	五〇·六	100·0	一一·〇	一六·七	三三·三	九·九	一七·六	三三·六	三三·六	二八·三	四八·三

一〇三	大葉粘	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四·五	五·三	七·五	〇·七	八·三	八·六	二·六	六·七	八·一
一〇四	白秈	臺北	—	—	—	—	—	—	四四·三	五四·〇	七六·三	三·九	五四·一	六五·六	四一·二	四六·三	六六·八	三六·一	五二·四	六九·五
一〇五	日本秈	同	—	—	—	—	—	—	二·六	四·四	五·七	一·〇	七·八	八·三	—	—	—	一·八	六·二	七·〇
一〇六	竹絲秈	同	—	—	—	—	—	—	三五·八	二五·五	四八·六	〇·九	一八·〇	一八·五	三·一	四·六	六·三	一三·三	一六·〇	二四·四
一〇七	芒花秈	同	—	—	—	—	—	—	二三·七	一三·九	二九·七	二·三	七·八	九·〇	六·〇	八·二	一一·二	一〇·三	九·九	一六·六
一〇八	東脚秈	宜蘭	—	—	—	—	—	—	一五·一	九·〇	一九·六	〇·〇	八·一	八·一	四·六	九·三	一二·五	六·六	八·八	一三·二
一〇九	芒花秈	同	—	—	—	—	—	—	三·六	二·七	五·〇	三·八	一·九	四·八	〇·七	五·三	五·六	二·七	三·三	五·一
一一〇	白殼舊秈	桃園	—	—	—	—	—	—	一四·二	三八·七	四三·八	五·四	一五·六	一八·三	三五·四	五三·九	七一·六	一八·三	三六·一	四三·二
一一一	芒花秈	同	—	—	—	—	—	—	二八·〇	二七·一	四一·六	一五·一	一〇·一	二〇·三	二·七	二·七	四·一	一五·三	一三·三	二三·〇
一一二	金包銀	同	—	—	—	—	—	—	〇·三	〇·〇	〇·三	〇·八	一·六	二·〇	二·三	〇·〇	二·三	一·二	〇·五	一·五
一一三	竹絲秈	同	—	—	—	—	—	—	二六·五	一四·〇	三三·五	五·五	三·九	七·五	三·二	七·五	一六·〇	一四·七	八·五	一九·〇
一一四	芒花秈	新竹	—	—	—	—	—	—	三三·七	三·二	四二·六	四·三	三·九	一六·〇	九·九	九·三	一四·六	三·三	一八·二	二四·四
一一五	日本秈	桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	五·五	〇·九	六·〇	一·四	〇·七	一·八	三·五	〇·八	三·九
一一六	赤殼秈	竹東	—	—	—	—	—	—	一三·五	三·六	二九·四	二·四	二五·三	三〇·九	二〇·七	四二·〇	五二·四	一五·二	三九·九	三七·六
一一七	紅脚秈	通霄	—	—	—	—	—	—	二三·五	七·四	二七·三	八·一	一三·四	二七·五	一二·〇	一九·三	二四·七	一四·二	一六·七	二六·五
一一八	白秈	新竹	—	—	—	—	—	—	二二·一	三·七	二三·三	一·四	二·三	二·九	六·二	六·七	九·八	九·五	一〇·二	一五·〇
一一九	鈕花秈	苗栗	—	—	—	—	—	—	一一·二	九·二	一五·八	七·六	二五·六	二九·四	—	—	—	九·四	一七·四	三三·六
一二〇	雙冬秈	豐原	—	—	—	—	—	—	二三·八	三六·七	四八·六	五·四	八·五	一二·三	五·八	三·二	一六·〇	一二·七	一九·四	二五·三
一二一	紅脚秈	同	—	—	—	—	—	—	一三·七	三〇·八	二七·七	四·〇	一九·八	二三·八	一二·四	四七·三	五三·〇	九·七	三二·六	三七·五
一二二	竹絲秈	大甲	—	—	—	—	—	—	三四·七	二八·九	四九·二	一·九	三·八	四·八	七·三	七·九	一二·六	一四·六	一三·五	二一·五
一二三	正頭鵞蛋秈	鹿港	—	—	—	—	—	—	一九·九	二四·七	三四·七	〇·〇	一·六	一·六	五·五	一三·七	一六·三	八·五	一三·三	一七·五
一二四	芒花秈	同	—	—	—	—	—	—	一三·六	一七·四	二四·二	〇·八	六·三	六·七	二·九	五·九	七·四	五·八	九·九	一三·八
一二五	改良秈	南投	—	—	—	—	—	—	一三·三	二·七	一三·七	二·五	二·五	三·八	三·三	七·〇	八·六	六·〇	四·一	八·七

一二六	十八瓦朮	同	—	—	—	—	—	—	一·二	二·九	三·五	〇·〇	三·二	三·一	二·〇	〇·七	二·四	一·二	二·三	三·〇
一二七	風趨朮	同	—	—	—	—	—	—	二〇·四	二〇·七	三〇·九	一七·六	三三·八	三一·六	—	—	—	一九·〇	二二·八	三一·三
一二八	鷺卵朮	同	—	—	—	—	—	—	〇·四	〇·〇	〇·四	〇·〇	〇·〇	〇·〇	二·一	六·四	七·五	〇·八	二·一	二·六
一二九	芒花朮	嘉義	—	—	—	—	—	—	三·七	三·四	五·四	〇·八	三·〇	三·四	五·五	一二·七	一五·五	三·三	六·四	八·一
一三〇	鷺卵朮	同	—	—	—	—	—	—	一·八	〇·〇	一·八	—	—	—	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·九	〇·〇	〇·九
一三一	烏鼠牙朮	西螺	—	—	—	—	—	—	一六·八	三〇·〇	三〇·四	—	—	—	三·八	一〇·四	一二·三	一〇·三	一六·二	二一·四
一三二	白朮	屏東	—	—	—	—	—	—	二五·一	一五·六	三三·九	一·五	五·四	六·三	三·九	六·三	八·三	一〇·二	九·一	一五·八
一三三	大朮	臺東	—	—	—	—	—	—	一七·一	一八·一	二六·七	七·九	二八·九	三三·九	六·二	六三·三	六六·四	一〇·四	三六·八	四三·〇
一三四	白殼朮	同	—	—	—	—	—	—	五·三	一·五	六·一	一·四	一六·三	一六·九	六·二	九·〇	二二·一	四·三	八·九	一一·七
一三五	紅殼朮	桃園	—	—	—	—	—	—	八·三	三·六	一〇·一	一七·九	五一·三	六〇·三	五·九	三九·六	四二·六	一〇·七	三一·五	三七·七
一三六	紅脚朮	同	—	—	—	—	—	—	三二·二	三三·七	二七·六	一·七	六·七	七·六	七·二	五四·五	五八·一	一〇·〇	二四·六	三一·一
一三七	棕蓑朮	臺南	—	—	—	—	—	—	一八·七	九·三	二三·四	二·六	三·三	四·五	三·一	二九·八	三五·九	一·二	一四·一	二二·三
一三八	店空朮	同	—	—	—	—	—	—	一〇·五	六·七	一三·九	七·三	四·六	九·五	五·三	二〇·三	三三·九	七·七	一〇·五	一五·四
一三九	紅脚朮	桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四一·〇	六五·一	八五·六	七·七	二六·三	三〇·一	二四·四	四五·七	五七·九
一四〇	落忍	臺中	七八·四	—	七八·四	九·七	〇·四	九·九	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四四·一	〇·四	四四·三
一四一	下脚烏尖	同	四八·三	—	四八·三	二·八	〇·〇	二·八	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二五·六	〇·〇	二五·六
一四二	半天仔	同	一·〇	—	一·〇	〇·九	〇·三	一·一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一·〇	〇·三	一·二
一四三	白米粉	同	四三·四	—	四三·四	四五·八	一·二	四六·四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四四·六	一·二	四四·九
一四四	青心仔	同	二五·八	—	二五·八	〇·三	〇·〇	〇·三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一三·二	〇·〇	一三·一
一四五	白殼耳	同	九〇·〇	—	九〇·〇	二九·〇	一九·三	三八·六	—	—	—	—	—	—	—	—	—	五九·五	一九·三	六四·三
一四六	白殼舊	同	一九·三	—	一九·三	二〇·一	〇·六	二〇·四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一九·七	〇·六	一九·八
一四七	紅脚大花	同	五九·六	—	五九·六	二·三	〇·〇	二·三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三〇·九	〇·〇	三〇·九
一四八	早大花	同	八九·一	—	八九·一	一六·四	三·五	一八·三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	五三·八	三·五	五三·七

一四九	高脚花螺	同	四六·七	—	四六·七	四·六	〇·〇	四·六	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二五·七	〇·〇	二五·七
一五〇	清油	同	七九·五	—	七九·五	一三·〇	〇·三	一三·三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四五·八	〇·三	四五·九
一五一	五脚齊	同	五四·〇	—	五四·〇	二五·四	一·八	二六·三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三九·七	一·八	四〇·二
一五二	紅脚赤殼大花	同	七一·一	—	七一·一	二·五	〇·三	二·七	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三六·八	〇·三	三六·九
一五三	紅脚朮	同	九六·四	—	九六·四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	九六·四	—	九六·四
一五四	白尾蔥	臺北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一六·七	一·二	一七·三	—	—	—	一六·七	一·二	一七·三
一五五	白朮	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	五·一	一五·九	一八·五	—	—	—	五·一	一五·九	一八·五
一五六	大烏殼	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二六·四	二一·八	三七·三	—	—	—	二六·四	二一·八	三七·三
一五七	中烏殼	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	六·四	四·三	八·六	—	—	—	六·四	四·三	八·六
一五八	小烏殼	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三三·〇	四五·一	六一·六	—	—	—	三三·〇	四五·一	六一·六
一五九	白殼軟枝	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一四·〇	三七·六	四四·六	—	—	—	一四·〇	三七·六	四四·六
一六〇	硬尾花螺	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一八·三	二六·八	三六·〇	—	—	—	一八·三	二六·八	三六·〇
一六一	白殼軟枝	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三一·四	三〇·三	四六·五	—	—	—	三一·四	三〇·三	四六·五
一六二	高脚花螺	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	七·九	〇·〇	七·九	—	—	—	七·九	〇·〇	七·九
一六三	低脚花螺	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二·三	一·二	二·八	—	—	—	二·三	一·二	二·八
一六四	花螺	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	八·六	〇·〇	八·六	—	—	—	八·六	〇·〇	八·六
一六五	低脚烏殼	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二一·〇	一〇·五	二六·三	—	—	—	二一·〇	一〇·五	二六·三
一六六	下脚柳州	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二一·八	五·一	二四·四	—	—	—	二一·八	五·一	二四·四
一六七	麥仔粒	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一四·九	六·六	一八·三	—	—	—	一四·九	六·六	一八·三
一六八	高脚柳州	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一七·九	三·八	一九·八	—	—	—	一七·九	三·八	一九·八
一六九	烏種	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一五·三	三·五	一七·一	—	—	—	一五·三	三·五	一七·一
一七〇	尾張	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一四·五	四·八	一六·九	—	—	—	一四·五	四·八	一六·九
一七一	東脚朮	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一·二	二·三	二·九	—	—	—	一·二	二·三	二·九

一七二	芒花朮	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二·三	一·一	二·八	—	—	—	二·三	一·一	二·八
一七三	竹絲朮	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一·一	一·一	一·七	—	—	—	一·一	一·一	一·七
一七四	日本朮	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二四·四	一三·三	三一·〇	—	—	—	二四·四	一三·三	三一·〇
一七五	下脚烏占	新竹	—	—	—	—	—	—	—	—	—	五三·八	一七·九	六三·八	—	—	—	五三·八	一七·九	六三·八
一七六	花肚	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一一·五	〇·〇	一一·五	—	—	—	一一·五	〇·〇	一一·五
一七七	花螺	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一〇·五	一·三	一一·一	—	—	—	一〇·五	一·三	一一·一
一七八	白殼花螺	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	六·〇	三·六	七·八	—	—	—	六·〇	三·六	七·八
一七九	烏殼花螺	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一八·四	六·六	二一·七	—	—	—	一八·四	六·六	二一·七
一八〇	清油	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四·八	一·三	五·四	—	—	—	四·八	一·三	五·四
一八一	硬尾	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二〇·八	三九·六	五〇·〇	—	—	—	二〇·八	三九·六	五〇·〇
一八二	白米鈕	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	五·九	一·三	六·五	—	—	—	五·九	一·三	六·五
一八三	白米粉	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇·〇	四·八	四·八	—	—	—	〇·〇	四·八	四·八
一八四	半高矮烏粘	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一四·七	六·四	一七·九	—	—	—	一四·七	六·四	一七·九
一八五	高脚烏粘	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	九·七	五·三	三·四	—	—	—	九·七	五·三	三·四
一八六	正烏粘	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二·七	一·八	三·五	—	—	—	二·七	一·八	三·五
一八七	火燒烏粘	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	五〇·〇	三〇·八	六五·四	—	—	—	五〇·〇	三〇·八	六五·四
一八八	紅脚烏粘	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二四·四	四·七	二六·八	—	—	—	二四·四	四·七	二六·八
一八九	黄殼烏粘	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一四·〇	八·四	一八·三	—	—	—	一四·〇	八·四	一八·三
一九〇	青脚清油	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三三·〇	一四·七	四〇·四	—	—	—	三三·〇	一四·七	四〇·四
一九一	正清油	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	六·〇	一·五	六·八	—	—	—	六·〇	一·五	六·八
一九二	紅殼朮	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	八·七	二·九	二六·三	—	—	—	八·七	二·九	二六·三
一九三	白殼朮	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一五·九	七二·〇	八〇·〇	—	—	—	一五·九	七二·〇	八〇·〇
一九四	日本朮	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	八·〇	〇·〇	八·〇	—	—	—	八·〇	〇·〇	八·〇

一九五	芒花朮	新竹	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇·〇	一·二	一·二	—	—	—	〇·〇	一·二	一·二
一九六	白米粉	東勢	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一·七	一·三	二·三	—	—	—	一·七	一·三	二·三
一九七	清油	大甲	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一·三	一·三	一·八	—	—	—	一·三	一·三	一·八
一九八	柳州	彰化	—	—	—	—	—	—	—	—	—	五·三	〇·〇	五·三	—	—	—	五·三	〇·〇	五·三
一九九	同	大屯	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四·八	一·九	五·八	—	—	—	四·八	一·九	五·八
二〇〇	同	臺中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	七·六	〇·八	八·〇	—	—	—	七·六	〇·八	八·〇
二〇一	朮仔舊	大屯	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二·三	〇·〇	二·三	—	—	—	二·三	〇·〇	二·三
二〇二	同	臺中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三·八	〇·九	四·三	—	—	—	三·八	〇·九	四·三
二〇三	低脚烏殼	竹山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四·〇	一·六	四·八	—	—	—	四·〇	一·六	四·八
二〇四	同	南投	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三·四	二·六	四·七	—	—	—	三·四	二·六	四·七
二〇五	柳州	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四·〇	一·三	四·七	—	—	—	四·〇	一·三	四·七
二〇六	烏尖	北斗	—	—	—	—	—	—	—	—	—	五·九	一·六	六·七	—	—	—	五·九	一·六	六·七
二〇七	大花	南投	—	—	—	—	—	—	—	—	—	七·八	一四·一	一八·〇	—	—	—	七·八	一四·一	一八·〇
二〇八	早大花	員林	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一八·五	四·六	二〇·八	—	—	—	一八·五	四·六	二〇·八
二〇九	同	北斗	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一五·一	一二·三	一二·三	—	—	—	一五·一	一二·三	一二·三
二一〇	白殼	大屯	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一·二	〇·〇	一·二	—	—	—	一·二	〇·〇	一·二
二一一	烏殼仔	北斗	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一六·五	六·四	一九·七	—	—	—	一六·五	六·四	一九·七
二一二	烏尖	大屯	—	—	—	—	—	—	—	—	—	七·三	〇·〇	七·三	—	—	—	七·三	〇·〇	七·三
二一三	同	大甲	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一〇·三	六·八	一三·七	—	—	—	一〇·三	六·八	一三·七
二一四	白殼舊	員林	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三·〇	一三·四	二八·七	—	—	—	三·〇	一三·四	二八·七
二一五	同	彰化	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一四·八	一〇·三	一九·九	—	—	—	一四·八	一〇·三	一九·九
二一六	白殼仔	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二四·二	二·〇	二五·二	—	—	—	二四·二	二·〇	二五·二
二一七	白殼	大甲	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一一·六	一二·六	一八·四	—	—	—	一一·六	一二·六	一八·四

二一八	烏殼	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一九・八	三・六	二六・一	—	—	—	一九・八	三・六	二六・一
二一九	烏殼仔	彰化	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一六・三	五・七	一九・二	—	—	—	一六・三	五・七	一九・二
二二〇	同	員林	—	—	—	—	—	—	—	—	—	六・九	二・六	八・二	—	—	—	六・九	二・六	八・二
二二一	白殼蕃	北斗	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一五・四	九・〇	一九・九	—	—	—	一五・四	九・〇	一九・九
二二二	低脚烏殼	新高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一二・〇	五・八	一三・九	—	—	—	一二・〇	五・八	一三・九
二二三	白殼耳	大甲	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一八・五	一四・八	二五・九	—	—	—	一八・五	一四・八	二五・九
二二四	鷺卵占	南投	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇・〇	〇・〇	〇・〇	—	—	—	〇・〇	〇・〇	〇・〇
二二五	同	新高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二・三	〇・〇	二・三	—	—	—	二・三	〇・〇	二・三
二二六	同	能高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇・〇	二・三	二・三	—	—	—	〇・〇	二・三	二・三
二二七	半天仔	彰化	—	—	—	—	—	—	—	—	—	六・三	〇・〇	六・三	—	—	—	六・三	〇・〇	六・三
二二八	同	員林	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇・〇	〇・〇	〇・〇	—	—	—	〇・〇	〇・〇	〇・〇
二二九	白米粉	大甲	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇・〇	〇・〇	〇・〇	—	—	—	〇・〇	〇・〇	〇・〇
二三〇	低脚烏尖	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	九・五	〇・〇	九・五	—	—	—	九・五	〇・〇	九・五
二三一	同	豐原	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三・七	〇・〇	三・七	—	—	—	三・七	〇・〇	三・七
二三二	同	東勢	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二・一	一・六	二・九	—	—	—	二・一	一・六	二・九
二三三	下脚烏尖	臺中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	五・六	〇・〇	五・六	—	—	—	五・六	〇・〇	五・六
二三四	菁心仔	北斗	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一・三	〇・〇	一・三	—	—	—	一・三	〇・〇	一・三
二三五	自生	東勢	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇・〇	〇・〇	〇・〇	—	—	—	〇・〇	〇・〇	〇・〇
二三六	低脚花螺	員林	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二・四	〇・八	二・八	—	—	—	二・四	〇・八	二・八
二三七	高脚花螺	北斗	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四・三	〇・〇	四・三	—	—	—	四・三	〇・〇	四・三
二三八	琉球	新高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三・〇	一・〇	三・五	—	—	—	三・〇	一・〇	三・五
二三九	早種	竹山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三・五	一・三	四・一	—	—	—	三・五	一・三	四・一
二四〇	大烏	能高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一・一	〇・〇	一・一	—	—	—	一・一	〇・〇	一・一

二四一	二花	新高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三・三	〇・〇	三・三	—	—	—	三・三	〇・〇	三・三
二四二	花螺	豐原	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三・一	三・一	四・七	—	—	—	三・一	三・一	四・七
二四三	同	能高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四・七	二・三	五・九	—	—	—	四・七	二・三	五・九
二四四	白米耳	北斗	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一四・〇	三・五	一五・八	—	—	—	一四・〇	三・五	一五・八
二四五	白葉烏殼	南投	—	—	—	—	—	—	—	—	—	八・九	一・六	九・七	—	—	—	八・九	一・六	九・七
二四六	烏殼清油	東勢	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二・三	〇・〇	二・三	—	—	—	二・三	〇・〇	二・三
二四七	朮仔變	能高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇・〇	〇・〇	〇・〇	—	—	—	〇・〇	〇・〇	〇・〇
二四八	矮仔種	大屯	—	—	—	—	—	—	—	—	—	六・六	〇・〇	六・六	—	—	—	六・六	〇・〇	六・六
二四九	金精	竹山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇・九	〇・〇	〇・九	—	—	—	〇・九	〇・〇	〇・九
二五〇	雙冬朮	東勢	—	—	—	—	—	—	—	—	—	五・五	一・九	六・六	—	—	—	五・五	一・九	六・六
二五一	紅脚朮	大甲	—	—	—	—	—	—	—	—	—	八・四	七・三	一二・一	—	—	—	八・四	七・三	一二・一
二五二	同	彰化	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一三・〇	一六・三	二三・八	—	—	—	一三・〇	一六・三	二三・八
二五三	芒花朮	員林	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三・九	一・三	四・六	—	—	—	三・九	一・三	四・六
二五四	同	大甲	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四・〇	〇・八	四・四	—	—	—	四・〇	〇・八	四・四
二五五	同	豐原	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二・六	一・七	三・五	—	—	—	二・六	一・七	三・五
二五六	同	大屯	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一・八	〇・九	二・三	—	—	—	一・八	〇・九	二・三
二五七	同	臺中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一・八	〇・九	二・三	—	—	—	一・八	〇・九	二・三
二五八	紅脚朮	北斗	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一〇・五	一二・四	一六・七	—	—	—	一〇・五	一二・四	一六・七
二五九	鷺卵朮	大甲	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇・〇	〇・〇	〇・〇	—	—	—	〇・〇	〇・〇	〇・〇
二六〇	鷺卵朮	北斗	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇・〇	〇・〇	〇・〇	—	—	—	〇・〇	〇・〇	〇・〇
二六一	竹絲朮	大甲	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三・三	〇・〇	三・三	—	—	—	三・三	〇・〇	三・三

以上調査したる結果を其被害率の少きものより順次に配列すれば左表の如し。但一箇年調査したるものは

之を別表として揭げたり。

次表の參考として大正十五年第一期作、卽ち近年中最も被害多かりし年の被害率及大正十一年、大正十二年及大正十三年に於ける苗イモチの被害程度を添へたり。

大正十五年第一期作の施肥分量及其成分量は左の如し。

反當施用量

燐骨　八〇、〇〇〇匁
硫酸安母尼亞　七、七六〇匁
過燐酸石灰　七、八一〇匁

其成分量は

窒素　五、〇〇〇匁
燐酸　四、〇〇〇匁
加里　五、五六八匁

又苗代は取扱施肥等常法によれるものにして、其被害程度は苗取期に調査せり。

第四表　臺北に於ける第一期作臺灣種の稻イモチ病被害率による品種の配列

番號	品種名	取寄先	調査年數	平均被害率	最多被害率	最少被害率	大正十五年 首イモチ	大正十五年 節イモチ	大正十五年 被害莖	苗イモチ 大正十一年	苗イモチ 大正十二年	苗イモチ 大正十三年
一三〇	鷺卵朮	嘉義	二	〇・九	一・八	〇・〇	五六・二	二八・五	七〇・四			
一四二	半天仔	臺中	二	一・二	一・二	一・〇	—	—	—	+	+	
八八	竹絲	深坑	三	一・二	一・五	〇・五	四・三	二・三	五・四		+	+
一一二	金包銀	桃園	三	一・五	二・三	〇・三	一・八	〇・九	二・三			
一二八	鷺卵朮	南投	三	二・六	七・五	〇・〇	二四・四	一〇・五	二九・七			
一二六	十八瓦朮	同	三	三・〇	三・五	二・四	四四・三	二七・三	五七・九			
一一〇	白殼軟枝	宜蘭	五	三・七	一〇・九	〇・〇	一・二	〇・六	一・四		+	+
一一五	日本朮	桃園	二	三・九	六・〇	一・八	一五・七	一・四	一六・四			
七七	短脚花螺	基隆	三	四・五	八・七	一・三	—	—	一〇〇・〇（葉イモチ）		++	+
一〇九	芒花朮	宜蘭	三	五・一	五・六	四・八	五七・三	二・三	六八・〇			
七九	高脚花螺	基隆	三	五・五	一四・〇	〇・四	五・七	二・九	七・三		+	+
一〇五	日本朮	臺北	二	七・〇	八・三	五・七	—	—	—			
九四	花肚	桃園	三	七・五	九・〇	四・七	一四・九	八・〇	一八・九		○	+
八六	軟枝	宜蘭	三	七・五	九・二	六・六	六四・三	二・三	六五・六		+	+++
三五	高脚烏粘	新竹	五	七・六	二四・五	〇・〇	四・〇	二・五	五・三	+	++	+
一〇三	大葉粘	—	二	八・一	八・六	七・五	四四・七	九・〇	四九・二			○
九五	清油	新竹	三	八・一	一〇・五	四・七	—	—	—		+	+
一二九	芒花朮	嘉義	三	八・一	一五・五	三・四	三・七	三六・三	四二・七			
七四	短廣花螺	臺北	四	八・四	一八・一	一・五	二八・三	二一・八	三四・二		+	+
一二五	改良朮	南投	三	八・七	一三・七	三・八	—	—	—			

一五七	赤殼朮	臺北	五	一〇·六	三三·八	一·六	—	—	—	+++	○	
九九	下腳柳州	宜蘭	五	一〇·七	二七·二	一·五	—	—	一〇〇·〇 葉イモチ	+	+	+
八四	烏殼軟枝	同	三	一一·〇	二一·二	一〇·八	—	—	—		+++	++
八〇	清油	基隆	三	一一·三	一四·七	七·三	—	—	—		+	+
二	短廣花螺	臺北	五	一一·三	三三·四	二·七	—	—	—	+	+	+
一三四	白殼朮	臺東	三	一一·七	一六·九	六·一	—	—	—			
六八	旧本朮	新竹	五	一二·四	二八·三	六·三	—	—	—	++		
一二四	芒花朮	鹿港	三	一二·八	二四·三	六·七	—	—	—			
七六	低腳花螺	臺北	四	一二·九	三一·四	三·七	—	—	—		+	+
一〇八	東腳朮	宜蘭	三	一三·一	一九·六	八·一	—	—	—			
一四四	青心仔	臺中	二	一三·一	二五·八	〇·三	—	—	—	+	+	
二六	低腳烏尖	桃園	五	一四·四	四四·五	〇·〇	—	—	—	+	+	+
五	紅皮花螺	臺北	五	一四·六	四一·五	三·〇	三三·〇	四·三	三五·二	○		+
七八	柳州	基隆	四	一四·六	四二·一	二·八	—	—	—		+	+
三七	軟枝烏粘	新竹	五	一四·七	五二·八	〇·〇	三六·〇	二·七	三七·四	+	+	+
一一八	白朮	同	三	一五·〇	三三·三	二·九	—	—	—			
一三八	店空朮	臺南	三	一五·四	三一·九	九·五	—	—	—			
一三二	白朮	屏東	三	一五·八	三一·九	六·三	—	—	—			
七二	馬尾西朮	新竹	四	一六·二	二九·六	一·二	—	—	—	+		
二四	白殼花螺	桃園	五	一六·三	五四·五	二·三	一八·三	〇·八	一八·七	+	+	+
一〇七	芒花朮	臺北	三	一六·六	二九·七	九·〇	—	—	—			
一二三	正頭鵞蛋朮	鹿港	三	一七·五	三四·七	一·六	—	—	—			
一	高腳花螺	臺北	五	一七·五	三五·〇	四·六	—	—	—	+	+	+

一九	烏殼花螺	桃園	五	一七·五	六〇·六	〇·〇	四三·〇	一〇·三	四八·一	+	+	+
八九	低腳烏殼	深坑	四	一七·七	四一·九	二·二	—	—	—	+	++	+
七五	高腳花螺	臺北	三	一七·八	三一·四	九·一	—	—	—	+++	++	+++
三九	白米粉	新竹	五	一七·八	四九·一	一·六	—	—	—	+	+	+
六一	芒花朮	宜蘭	五	一八·一	三三·九	五·二	—	—	—			
二一	白米粉	桃園	五	一八·三	五七·四	一·九	一六·三	一·七	一七·一	+	+	+
四〇	低腳烏粘	新竹	五	一八·四	五四·九	〇·〇	—	—	—	+	++	+
二八	正烏粘	同	五	一八·九	四四·五	〇·五	—	—	—	+	+	+
一一三	竹絲朮	桃園	三	一九·〇	三三·五	七·五	—	—	—			
一七	花肚	同	五	一九·六	五七·二	二·二	—	—	—	+	+	+
三二	矮腳花螺	新竹	五	一九·七	六二·一	〇·七	一三·七	一四·九	二一·八	+	+	+
五三	播槌	同	五	一九·七	五八·〇	二·四	—	—	—	+	+	++
一四六	白殼舊	臺中	二	一九·八	二〇·四	一九·二	—	—	—	+	++	
七三	烏殼	臺北	三	二〇·〇	三三·八	一八·四	—	—	—		+	+
八二	烏殼柳州	宜蘭	三	二〇·〇	二八·五	七·一	—	—	—		+	++
六二	東腳朮	同	四	二〇·五	三九·七	四·一	—	—	—	+		
一四	花螺	同	五	二〇·七	四九·四	二·〇	—	—	—	○	+	+
三四	半高矮烏粘	新竹	五	二〇·七	五六·一	一·五	—	—	—	+	++	+
四	小烏殼	臺北	五	二〇·七	八〇·二	一·九	八·〇	二·一	九·一	+	+++	+
一三七	棕蓑朮	臺南	三	二一·三	三五·九	四·五	三〇·一	二·五	三五·九			
一三一	烏鼠牙朮	西螺	二	二一·四	三〇·四	一三·三	—	—	—			
一一	烏殼軟枝	宜蘭	五	二一·四	四八·〇	一·七	—	—	—	+	+	+
一二二	竹絲朮	大甲	三	二一·五	四九·二	四·八	—	—	—			

四六	五枝齊	新竹	五	二二·九	五二·五	一·三	—	—	—	+	+	+
一一一	芒花朮	桃園	三	二三·〇	四一·六	四·一	—	—	—			
六〇	紅脚朮	臺北	五	二三·二	五六·八	一〇·〇	—	—	—	+		
一五	低脚花螺	桃園	三	二三·五	五四·三	一·七	—	—	—	+	+	+
四一	蟻公包	新竹	五	二三·五	六九·三	〇·七	—	—	—	+	+	++
一一九	鉦花朮	苗栗	二	二三·六	二九·四	一五·八	—	—	—			
一八	短廣花螺	桃園	五	二三·八	三八·三	三·一	—	—	—	+	+	+
二三	高脚烏尖	同	五	二三·八	六六·七	〇·〇	—	—	—	+	++	+
三六	黃殼烏殼	新竹	五	二三·七	八二·一	一·八	—	—	—	++	+	++
五八	日本朮	臺北	四	二三·八	四三·三	一〇·五	—	—	—	+++	+	
一一四	芒花朮	新竹	三	二四·四	四二·六	一四·六	—	—	—			
一〇六	竹絲朮	臺北	三	二四·四	四八·六	六·三	—	—	—			
二二	大冇清油	桃園	五	二四·六	六九·七	二·七	—	—	—	○	+	+
一二〇	双冬朮	豐原	三	二五·三	四八·六	一二·二	—	—	—			
三三	花螺	新竹	五	二五·四	七三·四	二·五	—	—	—	+	+	+
五〇	下脚烏粘	同	五	二五·四	七四·三	〇·五	—	—	—	+++	++	+
一四一	下脚烏尖	臺中	二	二五·六	四八·三	二·八	—	—	—	+++	+++	
一四九	高脚花螺	同	二	二五·七	四六·七	四·六	—	—	—	++	+	
三〇	正清油	新竹	五	二五·九	六五·五	五·四	—	—	—	+	+	+
一一七	紅脚朮	通霄	三	二六·五	二七·五	二四·七	—	—	—			
五四	白殼花螺	新竹	五	二六·九	八二·六	二·四	—	—	—	+	○	+
三八	白米鈕種	同	五	二七·一	八三·二	一·三	—	—	—	++	++	+
九六	低脚烏尖	同	三	二八·〇	七四·七	三·四	—	—	—		+	+

四五	月桃包	新竹	五	三〇·三	六七·三	一·二	—	—	—	++	+	+
九九	清流	臺東	三	三〇·九	六八·九	七·五	—	—	—		++	+
一四七	紅脚大花	臺中	二	三〇·九	五九·六	二·三	—	—	—	++	++	
九七	火燒烏粘	新竹	三	三〇·九	八九·四	一·四	六八·五	二四·五	八〇·八		+++	+
一三六	紅脚朮	桃園	三	三一·二	五八·一	七·六	三一·四	六六·〇	八二·三			
一二七	風趖朮	南投	二	三一·三	三一·六	三〇·九	—	—	—			
五二	烏粘	新竹	五	三三·一	七四·五	〇·五	—	—	—		+++	+
六九	紅脚朮	同	四	三四·七	七九·二	一〇·六	—	—	—	+	+	
一三	烏種	宜蘭	五	三五·〇	七四·二	六·六	—	—	—	+	+	+
八七	烏殼	深坑	四	三五·一	八六·〇	八·二	七四·五	三四·三	九一·六		++	++
八三	烏種	宜蘭	四	三六·〇	一〇〇·〇	一〇·〇	七四·〇	二〇·五	八四·三		+++	++
一五二	紅脚赤殼大花	臺中	二	三六·九	七二·一	二·七	—	—	—	+	+++	
六	低脚仔種	臺北	四	三七·〇	六八·九	五·三	—	—	—	+++	+	+
五九	芒花朮	同	三	三七·二	七四·〇	二·〇	—	—	—	+		
五五	竹絲朮	同	三	三七·三	七三·五	五·三	—	—	—	+++		
一二一	紅脚朮	豐原	三	三七·五	五三·〇	二一·八	—	—	—			
一一六	赤殼朮	竹東	三	三七·六	五三·四	二九·四	—	—	—			
一三五	紅殼朮	桃園	三	三七·七	六〇·三	一〇·一	—	—	—			
九〇	低脚烏殼	同	四	三七·七	八八·四	四·四	五四·一	六·一	五七·二		++	○
八	麥仔粒	宜蘭	五	三八·一	八四·三	一〇·一	—	—	—	+	+	+
八一	清流	同	四	三八·九	一〇〇·〇	七·六	三五·五	二·六	三六·八		+	○
七〇	鈕花朮	新竹	四	三九·四	八三·五	七·三	—	—	—	++	+	
一五一	五脚齊	臺中	二	四〇·三	五四·〇	二六·三	—	—	—	+++	+++	

六四	芒花朮	桃園	四	四一・〇	九〇・〇	一九・二	ー	ー	ー	+		
一三三	大朮	臺東	三	四二・〇	六六・四	三六・七	ー	ー	葉イモチ 一〇〇・〇			
六五	紅殼朮	桃園	四	四二・八	七一・三	一七・四	ー	ー	ー	+	+	
二五	清油	同	四	四三・二	八五・三	七・八	ー	ー	ー	+	+	+
一〇〇	柳州	臺東	四	四三・三	七九・三	一・九	八・〇	二・一	九・一		+++	○
一二	尾張	宜蘭	五	四四・一	八七・〇	二二・七	ー	ー	ー	+	+++	+++
一四〇	落忍	臺中	二	四四・二	七八・四	九・九	ー	ー	ー	++	++	
九一	烏殼	桃園	四	四四・五	一〇〇・〇	四・五	三一・八	一・〇	三三・三		+	+
一四三	白米粉	臺中	二	四四・九	四六・四	四三・四	ー	ー	ー	+	○	
四二	低脚花螺	新竹	五	四五・二	九三・三	九・八	ー	ー	ー		+	+
一一〇	白殼舊朮	桃園	三	四五・三	七一・六	一八・三	六〇・七	六五・一	九五・五			
三一	青脚花螺	新竹	五	四五・五	九三・四	一・八	ー	ー	ー	++	+++	+
四八	南路早	同	五	四五・八	八〇・四	五・一	ー	ー	ー	+	++	+++
一五〇	清油	臺中	二	四五・九	七九・五	二三・三	ー	ー	ー	+	+++	
七一	赤殼朮	新竹	四	四六・三	六九・九	二七・七	ー	ー	葉イモチ 一〇〇・〇	++	+	
三	白尾葱	臺北	五	四六・八	九四・三	一一・七	ー	ー	ー		+	+
九八	清油	臺東	四	四七・七	一〇〇・〇	八・八	六八・三	一・六	六九・一		+++	++
一〇二	紅谷		四	四八・三	一〇〇・〇	三三・三	三三・三	二八・〇	四五・二		+	+
四九	白殼耳	新竹	五	四九・五	九〇・五	一四・九	ー	ー	ー		+	+
一六	低脚烏殼花螺	桃園	五	四九・八	九五・五	二・八	ー	ー	ー	+	++	+
六七	紅脚朮	新竹	四	四九・九	八九・五	二六・三	ー	ー	ー	+		
二九	紅脚烏粘	同	五	五〇・九	九六・三	四・五	六六・七	五・四	六九・四	+	+	+
六三	白殼朮	桃園	三	五二・九	六三・〇	四三・八	ー	ー	ー	++	+	

七	高脚柳州	宜蘭	五	五三・四	九〇・六	一九・五	ー	ー	ー		+	+
一四八	早大花	臺中	二	五三・七	八九・一	一八・三	ー	ー	ー	+	++	
四七	牛紅早	新竹	五	五五・〇	一〇〇・〇	三・六	七四・六	一四・九	八二・二		○	○
四三	高脚花螺	同	五	五六・七	一〇〇・〇	一・五	ー	ー	葉イモチ 一〇〇・〇	+++	+	+
一〇一	銀粘	桃園	三	五七・五	九八・七	三五・五	五二・一	三一・六	六七・九		++	+
二〇	硬尾	同	五	五七・七	九三・〇	六・四	六五・八	三三・四	七八・五		+++	○
八五	尾張	宜蘭	三	五七・七	一〇〇・〇	二六・七	ー	ー	ー		++	+
一三九	紅脚朮	桃園	二	五七・九	八五・六	三〇・一	ー	ー	ー			
五一	下脚花螺	新竹	五	五八・四	九五・〇	五・三	六七・三	二九・八	八二・二		+++	+
九二	硬尾	桃園	四	六〇・三	一〇〇・〇	三三・九	六〇・〇	三三・〇	七一・〇		+	+
二七	火燒烏粘	新竹	五	六二・八	一〇〇・〇	一八・七	六七・九	九・四	七二・六		+	+
四四	矮脚烏粘	同	四	六三・五	八五・三	三六・九	ー	ー	ー		+	+
一四五	白殼耳	臺中	二	六四・三	九〇・〇	二八・六	ー	ー	ー		++	
九三	花螺	桃園	二	六五・六	一〇〇・〇	三・二	ー	ー	ー		+++	
一〇四	白朮	臺北	三	六九・五	七六・二	六五・六	六五・二	七六・〇	一〇〇・〇			
六六	同	新竹	五	七一・二	八九・八	五三・六	ー	ー	葉イモチ 一〇〇・〇	++	+	
五六	同	臺北	四	七八・四	八二・七	六七・二	ー	ー	ー	+++	+	

第五表　北部地方第一期作限定品種の稲イモチ病被害率による品種の配列

番號	品種名	取寄先	平均被害率	番號	品種名	取寄先	平均被害率
二二四	鷲卵占	南投	〇・〇	二二八	半天仔	員林	〇・〇

二二九	白米粉	大甲	〇〇
二三五	自生	東勢	〇〇
二四七	朮仔變	能高	〇〇
二五九	鷺卵朮	大甲	〇〇
二六〇	同	北斗	〇〇
二四九	金精	竹山	〇九
一九五	芒花朮	新竹	一一
二四〇	大烏	能高	一一
二一〇	白殼	大屯	一二
二三四	菁心仔	北斗	一二
一七三	竹絲朮	臺北	一七
一九七	清油	大甲	一八
二〇一	朮仔舊	大屯	二二
二二五	鷺卵占	新高	二二
二二六	同	能高	二二
一九六	白米粉	東勢	二三
二四六	烏殼清油	同	二三
二五六	芒花朮	大屯	二三
二五七	同	臺中	二三
一六三	低脚花螺	臺北	二六
一七二	芒花朮	同	二六
二三六	低脚花螺	員林	二六
一七一	東脚朮	臺北	二九

二三二	低脚烏尖	東勢	二九
二六一	竹絲朮	大甲	三二
二四一	二花	新高	三二
一八六	正烏粘	新竹	三五
二三八	琉球	新高	三五
二五五	芒花朮	豐原	三五
二三一	低脚烏尖	同	三七
二三九	早種	竹山	四一
二三七	高脚花螺	北斗	四三
二〇二	朮仔舊	臺中	四三
二五四	芒花朮	大甲	四四
二五三	同	員林	四六
二四二	花螺	豐原	四七
二〇四	低脚烏殼	南投	四七
二〇五	柳州	同	四七
二〇三	低脚烏殼	竹山	四八
一八三	白米粉	新竹	四八
一九八	柳州	彰化	五三
一八〇	清油	新竹	五四
二三三	下脚烏尖	臺中	五六
一九九	柳州	大屯	五八
二四三	花螺	能高	五九
二二七	半天仔	彰化	六三

一八二	白米鈕	新竹	六五
二四八	矮仔種	大屯	六六
二五〇	双冬朮	東勢	六六
二〇六	烏尖	北斗	六七
一九一	正清油	新竹	六八
二一三	烏尖	大屯	七三
一七八	白殼花螺	新竹	七八
一六二	高脚花螺	臺北	七九
二〇〇	柳州	同	八〇
一九四	日本朮	新竹	八〇
二二〇	烏殼仔	員林	八三
一五七	中烏殼	臺北	八六
一六四	花螺	同	八六
二三〇	低脚烏尖	大甲	九五
二四五	白葉烏殼	南投	九七
一七七	花螺	新竹	一一一
一七六	花肚	同	一一九
二五一	紅脚朮	大甲	一二一
一八五	高脚烏粘	新竹	一二四
二一三	烏尖	大甲	一二七
二二二	低脚烏殼	新高	一二九
二四四	白米耳	北斗	一五八
二五八	紅脚朮	同	一六七

一七〇	尾張	臺北	一六九
一六九	烏種	同	一七二
一五四	白尾葱	同	一七三
一八四	半高矮烏粘	新竹	一七九
二〇七	大花	南投	一八〇
一八九	黃殼烏粘	新竹	一八二
一六七	麥仔粒	臺北	一八三
二一七	白殼	大甲	一八四
一五五	白朮	臺北	一八五
二一九	烏殼仔	彰化	一九二
二一一	同	北斗	一九七
一六八	高脚柳州	臺北	一九八
二一五	白殼舊	彰化	一九九
二三一	白殼舊	北斗	一九九
二〇八	早大花	員林	二〇八
二〇九	同	北斗	二二三
一七九	烏殼花螺	新竹	二二七
二五二	紅脚朮	彰化	二三八
一六六	下脚柳州	臺北	二四四
二一六	白殼仔	彰化	二五三
二三三	白殼耳	大甲	二五九
二一八	烏殼	同	二六一
一六五	低脚烏殼	臺北	二六三

一九二	紅殼朮	新竹	二六·三
一八八	紅脚烏粘	同	三六·八
二一四	白殼舊	員林	二八·七
二七四	日本朮	臺北	三一·〇
一六〇	硬尾花螺	同	三六·〇
一五六	大烏殼	同	三七·三
一九〇	靑脚清油	新竹	四〇·四
一五九	白殼軟枝	臺北	四四·六

一六一	白殼軟枝	同	四六·五
二八一	硬尾	新竹	五〇·〇
二五八	小烏殼	臺北	六一·六
二七五	下脚烏占	新竹	六二·八
一八七	火燒烏粘	同	六五·四
一九三	白殼朮	同	八〇·〇
一五三	紅脚朮	臺中	九六·四

以上の調査により臺北に於ける臺灣種第一期作品種中、最も抵抗性なりと認めらるゝ品種は

半天仔　竹系　金包銀　白殼軟枝

高脚花螺　高脚烏粘　自生　朮仔變　等なり。

爲念臺灣種中、抵抗性及感受性と思考せられたる品種に就き、蓬萊種に對して行ひたる接種試驗と同樣なる方法により「ポット」に栽培及接種し、大正十四年七月十三日調査したるに其被害率は左表の如し。

抵抗性と思はるゝ品種に對する接種試驗成績

番號	品種名	取寄先	總穗數	被害穗數	首イモチ被害率	野外にての平均被害率
二三五	自生	東勢	二六	一	三·八	〇·〇
三三五	高脚烏粘	新竹	二九	二	六·九	七·六
一〇	白殼軟枝	宜蘭	二六	二	七·七	三·七
九	下脚柳州	同	二四	四	一六·七	一〇·七
二	短廣花螺	臺北	一九	五	二六·三	一一·三

感受性と思はるゝ品種に對する接種試驗成績

番號	品種名	取寄先	總穗數	被害穗數	首イモチ被害率	野外にての平均被害率
二〇	硬尾	桃園	一八	一四	七七·八	五七·七
一六	低脚烏殼花螺	同	二八	一三	四六·四	四九·八
五一	下脚花螺	新竹	二六	一一	四二·三	五八·四
四三	高脚花螺	同	二九	一二	四一·四	五六·七
二七	火燒烏粘	同	二六	一〇	三八·五	六一·八
五六	白朮	臺北	三〇	九	三〇·〇	七八·四

以上二表に現はれたる接種試驗成績は、野外にての平均被害率と對照するも、抵抗性なりと思考されたる品種は被害なく、又感受性と思考されたる品種は亦感受性なるを明かに示せり。即ち此野外にての數年間の調査による平均被害率は大體其品種の性質を示せるものなるを窺ふに足るべし。

三、臺中に栽培せたられる臺灣種第一期作品種

臺中に於ける調査は臺中州立農事試驗場にて蒐集せる臺中州下の第一期作品種、主に限定品種及試驗濟品種保存のものにより其調査せしは九六品種なり。

同地圃場に施用せられたる肥料は大正十二年の分と大正十三年及十四年の分とは異なれり。即ち大正十二年第一期作に對する施用量は反當大豆粕二〇貫にして、其成分量は

窒素　一、四一〇匁
燐酸　二六四匁
加里　三一六匁

なり。然れども大正十三年及同十四年に於ては

大豆粕　二五、〇〇〇匁
過燐酸石灰(一五%)　六、〇〇〇匁

を施用せり。其成分量は左の如し。

窒素　一、七六三匁
燐酸　一、八二四匁
加里　三九五匁

各年調査開始期は左の如し。

大正十二年は　六月十五日
大正十三年は　六月廿五日
大正十四年は　七月九日

又各年出穗後一箇月間の氣象は左表の如し。

年次	期間	平均氣温	降水量	降水日數
大正十二年	自五月十六日 至六月十四日	二七・四	一三三・〇	九
同十三年	自五月二十六日 至六月二十四日	二八・五	六三三・三	一九
同十四年	自六月十一日 至七月十一日	二七・五	二〇九・三	一五

左表品種の配列は圃場に於て作付せられたる順序によれり。又數字は被害百分率なり。

第六表　臺中に於ける第一期作臺灣種の稻イモチ病被害率

番號	品種名	取寄先	大正十二年 首イモチ	大正十二年 節イモチ	大正十二年 被害莖	大正十三年 首イモチ	大正十三年 節イモチ	大正十三年 被害莖	大正十四年 首イモチ	大正十四年 節イモチ	大正十四年 被害莖	平均 首イモチ	平均 節イモチ	平均 被害莖
一	朮仔舊	臺中	三・〇	〇・〇	三・〇	三四・二	三七・九	五五・〇	三七・〇	九・六	四一・八	二四・七	一五・八	三三・三
二	柳州	同	九・六	〇・七	一〇・〇	六二・三	三四・四	七九・五	七二・八	一・五	七三・六	四八・三	一二・二	五四・四

三	下脚烏尖	同	〇·三	〇·〇	〇·三	五四·七	〇·三	五四·九	三四·一	〇·〇	三二·一	二九·〇	〇·二	二九·一
四	鷲卵朮	同	〇·〇	〇·〇	〇·〇	一一·三	三·九	一三·三	七·五	〇·〇	七·五	六·三	一·三	六·七
五	芒花朮	同	一·七	一八·五	一九·四	三四·一	五七·三	一四·四	五·七	四·四	七·九	一三·八	二六·七	三三·九
六	朮仔舊	大屯	一·四	二·四	三·一	五六·三	六二·八	九一·〇	—	—	—	二八·九	三六·六	四七·一
七	柳州	同	一·九	二·四	三·四	五二·三	五二·六	七八·七	三八·七	二·三	三九·九	三〇·九	一九·一	四〇·七
八	烏尖	同	七·八	一·五	八·六	五九·七	四七·七	八三·六	六八·八	二·一	七四·五	四五·五	二〇·一	五五·六
九	矮仔	同	〇·〇	〇·〇	〇·〇	六四·三	〇·〇	六四·三	二五·七	〇·〇	二五·七	三〇·〇	〇·〇	三〇·〇
一〇	白殼	同	三·三	〇·七	三·六	四一·八	三四·二	五八·九	五五·三	二五·二	六七·九	三三·四	二〇·〇	四三·五
一一	雷搥	同	九·二	〇·〇	九·二	九·六	二〇·一	二四·九	二〇·六	二·二	三六·二	一三·一	一〇·四	二〇·一
一二	芒花朮	同	〇·〇	七·一	七·一	二四·七	五八·九	七一·三	二〇·〇	一〇·〇	三五·〇	一四·九	二五·三	二四·五
一三	白米粉	豐原	五·六	〇·四	五·八	三三·六	六八·七	四七·〇	—	—	—	一九·一	一四·六	二六·四
一四	烏尖	同	二·六	〇·〇	二·六	六三·八	三七·二	八二·四	二六·五	二·七	二七·九	三一·〇	一三·三	三七·六
一五	清油	同	六·九	一·三	七·六	—	—	—	—	—	—	六·九	一·三	七·六
一六	高脚花螺	同	二·三	〇·〇	二·三	三六·三	四〇·九	五九·〇	二一·七	一四·〇	二八·七	二〇·〇	一八·三	三〇·〇
一七	鷲卵朮	同	〇·〇	〇·〇	〇·〇	一五·九	〇·〇	一五·九	一九·〇	〇·七	一九·四	一一·六	〇·二	一一·八
一八	芒花朮	同	一·〇	九·六	一〇·一	三三·一	六五·七	七六·八	三三·四	二五·二	三六·九	一五·五	三三·五	四一·三
一九	白米粉	東勢	四·五	〇·九	五·〇	三六·四	四八·二	六六·四	—	—	—	二〇·五	二四·六	三五·七
二〇	自生	同	〇·〇	〇·〇	〇·〇	一·九	〇·〇	一·九	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·六	〇·〇	〇·六
二一	低脚烏尖	同	一·九	〇·〇	一·九	四五·九	三九·九	六五·九	—	—	—	一三·九	二〇·〇	一三·九
二二	烏殼清油	同	一·三	〇·〇	一·三	三三·八	七·三	一六·五	一六·八	一·八	一七·七	一〇·三	三·〇	一一·八
二三	双冬朮	同	一·三	二·〇	二·七	二五·四	七八·六	九一·三	三〇·一	二·四	三五·八	一八·九	三〇·七	四三·三
二四	烏殼	大甲	〇·五	七·一	七·四	三八·六	八五·九	一〇〇·〇	二九·一	三·〇	四〇·一	三三·七	三八·三	四九·二
二五	烏尖	同	一·六	二·六	三·四	四八·三	七七·〇	一〇〇·〇	三六·三	一八·八	四五·七	二八·七	三·八	四九·七

二六	白米粉	同	三·九	〇·〇	三·九	二四·四	三·八	二六·三	—	—	—	一四·三	一·九	一五·二
二七	低脚烏殼	同	—	—	—	八二·五	〇·〇	八二·五	一七·〇	〇·〇	一七·〇	四九·八	〇·〇	四九·八
二八	清油	同	一八·七	〇·〇	一八·七	四二·八	三九·七	六二·七	六一·二	九·七	六六·〇	四〇·九	一六·五	四九·一
二九	白殼	同	三·四	三·九	一四·四	三八·二	六五·八	八四·九	二四·六	二五·三	三七·六	二五·一	三一·七	四五·六
三〇	白殼耳	同	二九·〇	八·四	三三·二	四六·二	八三·三	一〇〇·〇	二五·三	一七·六	三四·〇	三三·五	三六·四	五五·七
三一	竹絲朮	同	一·九	七·一	八·二	六七·三	六九·三	一〇〇·〇	五一·八	三五·九	六九·八	四〇·三	三七·四	五九·三
三二	紅脚朮	同	二·二	二·三	二·三	六一·四	八九·〇	一〇〇·〇	—	—	—	三六·三	四五·六	五六·一
三三	鷲卵朮	同	—	—	—	三八·一	六·二	四一·三	一〇·三	三·二	二·八	三四·二	四·七	二六·五
三四	芒花朮	同	〇·六	七·〇	七·三	五四·七	六八·六	九六·〇	—	—	—	二七·七	三七·八	五一·七
三五	柳州	彰化	三·六	三·〇	五·一	六八·五	五七·一	九七·一	三三·六	八·二	三六·七	三四·九	三一·七	四六·三
三六	烏殼	同	二·七	四·六	六·〇	五四·八	五九·六	八七·〇	三八·五	六·三	四一·七	三一·〇	三三·五	四四·九
三七	白殼	同	六·〇	四·六	八·三	四四·六	七六·八	九九·一	五三·四	一九·五	六三·三	三四·七	三三·六	五六·九
三八	白殼舊	同	一〇·〇	一·八	一〇·九	五〇·〇	八〇·〇	一〇〇·〇	—	—	—	三〇·〇	四〇·九	五五·五
三九	半天仔	同	七·五	四·六	九·八	三三·五	五〇·四	六七·三	三·四	四·三	六·〇	一四·八	一九·八	二七·七
四〇	紅脚朮	同	三三·九	一九·四	二五·九	—	—	—	—	—	—	三一·九	一九·四	二五·九
四一	烏殼	員林	二·九	四·七	六·三	五九·五	五七·五	八八·三	一六·八	九·〇	二一·三	三六·四	三三·七	三八·六
四二	低脚花螺	同	〇·〇	一·九	一·九	五二·八	五四·七	八一·二	二〇·五	三·四	三一·七	二四·四	二六·三	三八·六
四三	白殼舊	同	三·八	九·二	二·一	五二·六	七五·〇	一〇〇·〇	—	—	—	二八·三	四二·一	五五·六
四四	半天仔	同	〇·九	〇·〇	〇·八	一六·三	七·五	二〇·一	〇·〇	〇·〇	〇·〇	五·七	二·五	七·〇
四五	早大花	同	三·五	一三·八	一五·六	三八·〇	八九·三	一〇〇·〇	三三·九	三三·七	四五·八	二五·一	四二·三	五三·八
四六	紅脚朮	同	五·五	一三·四	一六·二	三七·六	九五·二	一〇〇·〇	—	—	—	二二·六	五四·三	五八·一
四七	早大花	北斗	二一·七	七·五	一五·五	五六·四	九一·二	一〇〇·〇	三五·二	五〇·五	六八·一	三四·四	四九·七	六一·三
四八	青心仔	同	〇·〇	〇·〇	〇·〇	一〇·二	三三·六	二七·七	一·六	一·六	二·四	三·九	八·一	一〇·〇

四九	烏尖	北斗	—	—	—	四三・三	四三・三	六四・八	二八・七	三・七	三五・二	三六・〇	二八・〇	五〇・〇
五〇	高脚花螺	同	—	—	—	三八・三	六一・一	八〇・三	四七・一	二九・七	六三・〇	四三・七	四五・四	七一・二
五一	烏殼	同	七・一	一四・一	一七・七	九〇・〇	九〇・九	一〇〇・〇	—	—	—	四八・六	三二・五	五八・九
五二	烏尖	同	三・八	三・四	一九・八	七〇・〇	七八・三	一〇〇・〇	五一・九	二〇・七	六三・三	四四・九	二七・四	六〇・七
五三	白米粉	同	三・四	七・一	二五・〇	—	七五・〇	七五・〇	一四・三	七・八	一八・二	一七・八	三〇・〇	三九・四
五四	白殼舊	同	二・二	三・五	一三・〇	—	—	—	四七・四	二七・七	六一・三	二九・三	一五・六	三七・三
五五	紅脚朮	同	八・九	二・二	一五・七	—	—	—	—	—	—	八・九	一二・二	一五・七
五六	鵞卵朮	同	—	—	—	四〇・〇	五・九	四三・〇	—	—	—	四〇・〇	五・九	四三・〇
五七	柳州	南投	一・〇	〇・五	一・三	六〇・三	四〇・八	八〇・七	一六・五	一・八	一七・四	二五・九	一四・四	三三・一
五八	大花	同	九・五	七・六	一三・三	三五・六	七三・三	九〇・一	六三・七	七・四	六七・四	三六・三	二九・一	五六・九
五九	低脚烏殼	同	一・三	一・九	二・六	五五・一	四八・一	七九・三	—	—	—	二八・二	二五・〇	四〇・九
六〇	白葉烏殼	同	—	—	—	五七・七	五一・三	八三・三	五五・七	一五・七	六三・六	五六・七	三三・五	七三・五
六一	鵞卵占	同	〇・〇	〇・〇	〇・〇	三・六	七・七	一六・五	—	—	—	六・三	三・九	八・三
六二	花螺	能高	二・八	一九・〇	二四・九	三五・七	六〇・七	七八・六	一八・六	一五・三	二六・三	三・〇	三一・六	四三・二
六三	大烏	同	〇・〇	一・〇	一・〇	三四・八	六一・五	七八・九	〇・〇	〇・〇	〇・〇	二・六	二〇・八	二六・六
六四	朮仔變	同	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇
六五	鵞卵占	同	五・四	一・五	六・三	八・三	二一・四	二五・六	二九・四	一六・八	三七・八	一四・四	三・二	三二・二
六六	鵞卵朮	同	〇・九	〇・〇	〇・九	一九・九	二・三	二一・〇	二四・三	四・四	二六・五	一五・〇	一・三	一六・一
六七	流球	新高	二・九	三・六	五・一	三七・七	五四・七	七三・六	二八・六	九・七	三三・五	三・一	三一・七	二七・四
六八	低脚烏殼	同	三・五	〇・〇	三・五	四五・一	四二・七	六六・五	二九・八	二〇・五	四〇・一	二六・一	二一・二	三六・七
六九	二花	同	一・二	六・八	七・四	五四・七	五四・七	八二・一	—	—	—	二八・〇	三〇・八	四四・八
七〇	鵞卵占	同	〇・〇	〇・〇	〇・〇	三一・八	二三・九	四三・三	—	—	—	一五・九	二一・五	二一・七
七一	鵞卵朮	同	—	—	—	一四・三	一・三	一五・〇	一八・六	〇・八	一九・〇	一六・五	一・一	一七・〇

七二	低脚烏殼	竹山	五・三	二・〇	六・三	四九・七	四八・六	七四・〇	三・〇	七・八	三六・九	二九・三	一九・五	三九・〇
七三	金精	同	〇・八	〇・〇	〇・八	二〇・四	一三・五	二六・七	二六・九	五・六	二九・七	一六・〇	六・〇	一九・一
七四	早進	同	〇・八	〇・八	一・三	一四・七	〇・〇	一四・七	—	—	—	七・八	〇・四	八・〇
七五	鵞卵朮	同	—	—	—	二三・〇	二・〇	一三・〇	一七・二	二・三	一八・三	一四・六	二・一	一五・六
七六	白米粉	臺中	一〇・六	〇・五	一〇・八	—	—	—	—	—	—	一〇・六	〇・三	一〇・八
七七	半高脚烏尖	同	九・四	二七・〇	三一・七	三六・一	二〇・三	四六・三	—	—	—	三・八	二三・七	二九・〇
七八	高脚花螺	同	四・九	九・一	二一・六	二九・二	三六・八	五一・四	—	—	—	一七・〇	三三・〇	三一・五
七九	烏殼耳仔	同	四・二	四・三	六・三	二一・二	四一・三	五一・八	—	—	—	二・七	二三・七	二九・[illegible]
八〇	朮仔舊	同	六・三	六・七	九・九	四五・〇	二六・四	五八・三	—	—	—	二五・七	一六・六	三四・一
八一	柳州	同	一三・一	二七・三	三八・八	四八・七	七〇・八	九五・二	—	—	—	三五・九	四九・〇	六七・〇
八二	半天仔	同	〇・〇	〇・七	〇・七	一〇・〇	〇・七	一〇・四	—	—	—	五・〇	〇・七	五・六
八三	白殼仔	同	五二・三	五八・〇	八四・三	—	—	—	—	—	—	五二・三	五八・〇	八四・二
八四	低脚花螺	同	〇・〇	一・九	一・九	四六・八	六〇・七	八四・二	—	—	—	三・四	三一・三	四三・〇
八五	晩大花	同	二四・九	四二・九	五五・四	四〇・三	六七・四	八七・五	—	—	—	三・六	五五・二	七一・五
八六	早大花	同	二八・二	六七・一	八一・三	—	—	—	—	—	—	二八・二	六七・一	八一・三
八七	五脚齊	同	二九・六	四六・〇	六五・八	—	—	—	—	—	—	三九・六	四六・〇	六五・八
八八	紅脚大花	同	一三・六	三八・三	四四・五	二七・六	四四・七	五八・五	—	—	—	二〇・一	四一・五	五一・五
八九	下脚烏尖	同	四・四	〇・〇	四・四	三四・五	〇・〇	三四・五	—	—	—	一九・五	〇・〇	一九・五
九〇	清酒	同	二四・一	〇・〇	二四・一	—	—	—	—	—	—	二四・一	〇・〇	二四・一
九一	幼粒花螺	同	二八・九	九一・三	一〇〇・〇	三九・六	八五・一	一〇〇・〇	—	—	—	三九・三	八八・二	一〇〇・〇
九二	芒花朮	同	一三・五	二七・五	三九・三	三七・四	三七・四	五六・一	—	—	—	三〇・五	三二・五	四七・七
九三	紅脚赤殼大花	同	二六・〇	二〇・〇	三八・〇	三五・七	五三・四	七〇・三	—	—	—	三一・九	三六・二	五四・三
九四	短廣花螺	臺北	四・八	一・九	五・八	二三・一	二六・四	三八・〇	—	—	—	一四・〇	一四・二	二一・九

九五	神力×白米粉	臺中	〇・六	〇・〇	〇・六	—	—	—	—	〇・六	〇・〇	〇・六
九六	自生	東勢	一・六	〇・〇	一・六	—	—	—	—	一・六	〇・〇	一・六

以上調査したる結果を被害率の少きものより順次に配列すれば左表の如し。

第七表　臺中に於ける第一期作臺灣種の稻イモチ病被害率による品種の配列

番號	品種名	取寄先	調査年數	平均被害率	最多被害率	最少被害率
六四	朮仔變	能高	三	〇・〇	〇・〇	〇・〇
二〇	自生	東勢	三	〇・六	一・九	〇・〇
九五	神力×白米粉	臺中	一	〇・六	—	—
九六	自生	東勢	一	一・六	—	—
八二	半天仔	臺中	二	五・六	一〇・四	〇・七
四	鵞卵朮	同	三	六・七	一三・三	〇・〇
四四	半天仔	員林	三	七・〇	二〇・一	〇・〇
一五	清油	豐原	一	七・六	—	—
七四	早進	竹山	二	八・〇	一四・七	一・三
六一	鵞卵占	南投	二	九・三	一六・五	〇・〇
四八	青心仔	北斗	三	一〇・〇	二七・七	〇・〇
七六	白米粉	臺中	一	一〇・八	—	—
一七	鵞卵朮	豐原	三	一二・八	一九・四	〇・〇
二二	烏殼清油	東勢	三	一二・八	一七・七	一・三
二六	白米粉	大甲	二	一五・一	二六・三	三・九
七五	鵞卵朮	竹山	二	一五・六	一八・三	三・〇
五五	紅脚朮	北斗	一	一五・七	—	—
六六	鵞卵朮	能高	三	一六・一	二六・五	〇・九
七一	鵞卵朮	新高	二	一七・〇	一九・〇	一五・〇
七三	金精	竹山	三	一九・一	二九・七	〇・八
八九	下脚烏尖	臺中	二	一九・五	三四・五	四・四
一一	雷槌	大屯	三	二〇・一	二六・二	九・二
七〇	鵞卵占	新高	二	二一・七	四三・三	〇・〇
九四	短廣花螺	臺北	二	二一・九	三八・〇	五・八
六五	鵞卵占	能高	三	二三・二	三七・八	六・二
九〇	清油	臺中	一	二四・一	—	—
四〇	紅脚朮	彰化	一	二五・九	—	—
一三	白米粉	豐原	二	二六・四	四七・〇	五・八
三三	鵞卵朮	大甲	二	二六・五	四二・三	一二・八
六三	大烏	能高	三	二六・六	七八・九	〇・〇
三九	半天仔	彰化	三	二七・七	六七・三	六・〇
三	下脚烏尖	臺中	三	二九・一	五四・九	〇・三
七九	烏殼耳仔	同	二	二九・一	五一・八	六・三
九	矮仔	大屯	三	三〇・〇	六四・三	〇・〇
一六	高脚花螺	豐原	三	三〇・二	五九・〇	二・三
七八	同	臺中	二	三一・五	五一・四	一二・六
五七	[illegible]州	南投	三	三二・一	八〇・七	一・三
一	朮仔舊	臺中	三	三二・三	五五・〇	三・〇
五	芒花朮	同	三	三二・九	七四・四	七・九
二一	低脚烏尖	東勢	二	三二・九	六五・九	一・九
八〇	朮仔舊	臺中	二	三四・一	五八・二	九・九
一二	芒花朮	大屯	三	三四・五	七一・三	七・一
一九	白米粉	東勢	二	三五・七	六六・四	五・〇
六八	低脚烏殼	新高	三	三六・七	六六・五	三・五
五四	白殼舊	北斗	二	三七・二	六一・三	一三・〇
六七	流球	新高	三	三七・四	七三・六	五・一
一四	烏尖	豐原	三	三七・六	八二・四	二・六
四一	烏殼	員林	三	三八・六	八八・三	六・三
四二	低脚花螺	同	三	三八・六	八一・二	一・九
七二	低脚烏殼	竹山	三	三九・〇	七四・〇	六・二
七七	半高脚烏尖	臺中	二	三九・〇	四六・三	三一・七
五三	白米粉	北斗	三	三九・四	七五・〇	一八・一
七	柳州	大屯	三	四〇・七	七八・七	三・四
五九	低脚烏殼	南投	二	四〇・九	七九・三	二・六
一八	芒花朮	豐原	三	四一・三	七六・八	一〇・一
五六	鵞卵朮	北斗	一	四三・〇	—	—
八四	低脚花螺	臺中	二	四三・〇	八四・一	一・九
六二	花螺	能高	三	四三・二	七八・六	二四・九
二三	雙冬朮	東勢	三	四三・三	九一・三	二・七
一〇	白殼	大屯	三	四三・五	六七・九	三・六
六九	二花	新高	二	四四・八	八二・一	七・四
三六	烏殼	彰化	三	四四・九	八七・〇	六・〇
二九	白殼	大甲	三	四五・六	八四・九	一四・四
三五	柳州	彰化	三	四六・三	九七・一	五・一
六	朮仔舊	大屯	二	四七・一	九一・〇	三・一
九二	芒花朮	臺中	二	四七・七	五六・一	三九・三
二八	清油	大甲	三	四九・一	六六・〇	一八・七
二四	烏殼	同	三	四九・二	一〇〇・〇	七・四
二五	烏殼	同	三	四九・七	一〇〇・〇	三・四
二七	低脚烏殼	同	二	四九・八	八二・五	一七・〇
四九	烏尖	北斗	二	五〇・〇	六四・八	三五・一
八八	紅脚大花	臺中	二	五一・五	五八・五	四四・五
三四	芒花朮	大甲	二	五一・七	九六・〇	七・三
四五	早大花	員林	三	五三・八	一〇〇・〇	一五・六

九三	紅脚赤殼大花	臺中	二	五四・三	七〇・三	三八・〇
一二	柳州	同	三	五四・四	七九・五	一〇・〇
三八	白殼舊	彰化	二	五五・五	一〇〇・〇	一〇・九
八	烏尖	大屯	三	五五・六	八三・六	八・六
四三	白殼舊	員林	二	五五・六	一〇〇・〇	一一・一
三〇	白殼耳	大甲	三	五五・七	一〇〇・〇	一三・二
三二	紅脚朮	同	二	五六・一	一〇〇・〇	一二・二
三七	白殼	彰化	三	五六・九	九九・一	八・三
五八	大花	南投	三	五六・九	九〇・一	一三・三
四六	紅脚朮	員林	二	五八・一	一〇〇・〇	一六・二
五一	烏殼	北斗	二	五八・九	一〇〇・〇	一七・七
三一	竹絲朮	大甲	三	五九・三	一〇〇・〇	八・二
五二	烏尖	北斗	三	六〇・七	一〇〇・〇	一九・八
四七	早大花	同	三	六一・二	一〇〇・〇	一五・五
八七	五脚齊	臺中	一	六五・八	—	—
八一	柳州	同	二	六七・〇	九五・二	三八・八
五〇	高脚花蝶	北斗	二	七一・一	八〇・二	六二・〇
八五	晩大花	臺中	二	七一・五	八七・五	五五・四
六〇	白葉烏殼	南投	二	七三・五	八三・三	六三・六
八六	早大花	臺中	一	八二・二	—	—
八三	白殼仔	同	一	八四・二	—	—
九一	幼粒花蝶	同	二	一〇〇・〇	一〇〇・〇	一〇〇・〇

上表によれば臺中州下の限定品種中、最も抵抗性なりと思考さるゝ品種は左の如し。

朮仔變　自生　牛天仔　鵞卵朮

白米粉　青心仔　烏殼清油

而して是等品種の抵抗性なることは第四及第五表を参照するも亦明かなり。

四、臺南州に栽培せられたる臺灣種第一期作品種

此調査に供したるは臺南州西螺地方に於ける地方試作品種及稲イモチ病試驗田に附屬せしめたる抵抗性品種選擇を行はんとせし品種なり。地方試作田に於ては農會が指定したる當該地方に適する普通量の肥料を施用し、後者には單に青皮豆反當三千斤(四八〇貫)を施用せり。此後者の肥料成分量は左の如し。

窒素　三、〇七二匁

燐酸　四八〇匁

加里　一、三四四匁

又調査開始期は各年左の如し。

大正十二年には　六月二十九日

大正十三年には　六月十六日

又各年出穗後一箇月間の氣象は左の如し。但西螺地方には氣象觀測所なきを以て、其地に隣接せる虎尾大日本製糖會社の觀測せるものによれり。

年次	期間	平均氣温	降水量	降水日數
大正十二年	自五月三十日 至六月二十八日	二六・〇	二六三・九	三
同 十三年	自五月十六日 至六月十四日	二五・六	五〇六・八	三
同 十四年	自六月十五日 至七月十四日	二七・三	三一一・九	二

第八表　西螺地方に於ける第一期作臺灣種の稻イモチ病被害率

番號	品種名	大正十二年 首イモチ	大正十二年 節イモチ	大正十二年 被害莖	大正十二年 首イモチ	大正十二年 節イモチ	大正十二年 被害莖	大正十三年 首イモチ	大正十三年 節イモチ	大正十三年 被害莖	大正十三年 首イモチ	大正十三年 節イモチ	大正十三年 被害莖	平均 首イモチ	平均 節イモチ	平均 被害莖
一	早大花	2.0	53.3	63.7	36.6	82.8	100.0	9.3	43.5	47.3	3.3	1.9	4.3	17.5	44.9	53.5
二	赤殼	26.8	44.6	59.0	41.7	62.9	82.8	49.7	44.2	69.1	10.7	4.8	13.1	33.7	39.1	56.3
三	白脚清流	16.1	8.6	20.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16.1	8.6	20.4
四	烏殼	23.6	13.8	30.5	44.3	83.1	100.0	10.2	16.8	21.9	20.9	20.9	31.4	24.7	33.7	46.0
五	牛天	0.6	1.3	1.6	0.7	13.3	13.6	3.8	8.3	10.3	2.1	2.1	3.3	1.8	6.3	7.3
六	高脚烏占	10.6	6.7	14.0	2.2	18.7	19.8	1.6	3.9	4.7	—	—	—	4.8	9.8	12.8
七	打鐵崙	2.3	3.5	4.7	14.4	33.9	31.2	26.8	1.9	33.8	0.3	0.0	0.3	11.0	9.8	17.3
八	烏殼清油	1.3	0.0	1.3	7.9	5.2	10.5	10.0	2.3	11.2	—	—	—	6.4	2.5	7.7
九	早大花	20.4	25.3	35.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20.4	25.3	35.4
一〇	芒花朮	3.9	27.4	29.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.9	27.4	29.4
一一	烏占	9.7	10.3	15.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9.7	10.3	15.1
一二	烏殼	20.6	26.3	36.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20.6	26.3	36.6
一三	赤殼舊	14.0	41.7	48.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14.0	41.7	48.7

以上調査したる品種中、被害率の少きものより順次に配列すれば左表の如し。

第九表　西螺地方に於ける第一期作臺灣種の稻イモチ病被害率による品種の配列

番號	品種名	調査年數	平均被害率	最高被害率	最少被害率
五	牛天	四	7.3	13.6	1.6
八	烏殼清油	三	7.7	11.2	1.3
六	高脚烏占	三	12.8	19.8	4.7
一一	烏占	一	15.1	—	—
七	打鐵崙	四	17.3	33.8	0.3
三	白脚清流	一	20.4	—	—
一〇	芒花朮	一	29.4	—	—
九	早大花	一	35.4	—	—
一二	烏殼	一	36.6	—	—
四	同	四	46.0	100.0	21.9
一三	赤殼舊	一	48.7	—	—
一	早大花	四	53.5	100.0	4.3
二	赤殼	四	56.3	82.8	13.1

上表によれば當地方に於ける抵抗性品種は半天、烏殼清油等なり。

五、高雄州に栽培せられたる臺灣種第一期作品種

高雄州は曩に選種による系統を州下各地に適するや否やの地方試作を行へり。本調査は其地方試作をなしたる場所に就き行ひたるものにして、他州の場合と異なり、各部の試作田に就き調査したるものを一表として比較せり。從て其地方に於て淘汰せられたる品種は其後再び調査をなす能はざりき。又諸地方に試作されたる或る一系統は一箇年にして數囘調査を餘儀なくせり。各地共其地味及施肥を異にせるを以て自ら其被害

率にも差違を來せしものなるべし。是等試作田に施用せられたる肥料は當該地方の普通量を用ひたり。其反當成分量は大約左表の如し。

	窒素（匁）	燐酸（匁）	加里（匁）
高雄市	一,九〇〇	二,一〇〇	五〇〇
岡山郡	三,一〇〇	四〇〇	八〇〇
鳳山郡	一,四〇〇	四〇〇	一,一〇〇
屏東郡	一,一〇〇	二,〇〇〇	一,〇〇〇
潮州郡	一,四〇〇	三〇〇	四〇〇
東港郡	三,二〇〇	三,〇〇〇	二,四〇〇

其各年調査開始期は左の如し。

大正十二年は　五月二十四日
大正十三年は　五月二十三日
大正十四年は　六月　二日

又各年出穗後一箇月間の氣象は左表の如し。但試作田各地に於て氣象觀測を行はざるを以て、其中心地にある屏東農事試驗場が觀測せるものによれり。

年次	期間	平均氣温	降水量	降水日數
大正十年	自五月六日 至六月四日	二六·七	七五七·五	二〇
同十二年	自四月二十四日 至五月二十三日	二八·〇	一〇·五	九
同十三年	自四月二十三日 至五月二十二日	二九·三	五〇·一	四
同十四年	自五月二日 至五月三十一日	二六·五	三〇·七	一五

第十表　高雄州下に於ける第一期作臺灣種の稻イモチ病被害率

年次	種別	一 白殼清油		二 同一八號	三 同二四號	四 同三四號	五 同三五號	六 同四一號	七 同四三號
大正十二年	首イモチ	四·八	三·六	二·四	〇·〇	—	四·八	一·三	四·二
	節イモチ	二·〇	三·〇	一·七	〇·九	—	一·〇	九·五	一四·七
	被害莖	三·四	五·二	三·三	〇·九	—	五·三	一〇·二	一六·八
大正十二年	首イモチ	一·七	〇·五	—	—	—	五·〇	—	三·六
	節イモチ	八·五	一·四	—	—	—	一〇·〇	—	四·五
	被害莖	九·四	一·七	—	—	—	三·五	—	六·三
大正十三年	首イモチ	一·五	〇·〇	一·五	五·〇	二·七	〇·七	二·二	一·三
	節イモチ	一·二	〇·〇	三·二	〇·〇	六·〇	一·五	六·三	一〇·九
	被害莖	三·二	〇·〇	三·九	五·〇	七·四	一·九	七·三	二·五
大正十三年	首イモチ	〇·〇	—	—	一·七	〇·〇	—	一·〇	〇·九
	節イモチ	〇·九	—	—	〇·七	〇·〇	—	〇·五	一·四
	被害莖	〇·九	—	—	二·二	〇·〇	—	一·三	一·九
大正十五年	首イモチ	一·三	—	三·八	—	—	〇·〇	一·三	四·一
	節イモチ	〇·〇	—	二·五	—	—	〇·〇	〇·〇	〇·〇
	被害莖	一·三	—	五·二	—	—	〇·〇	一·三	四·二
平均	首イモチ		一·七	二·六	二·二	一·四	三·五	一·四	二·八
	節イモチ		三·三	二·四	〇·五	三·〇	四·三	四·一	六·三
	被害莖		四·三	四·一	二·七	三·七	六·六	五·〇	八·一

八 同八六號	九 蟻公包		一〇 蟻公包一五號	一一 同六〇號	一二 楠、仔仙		一三 同一號	一四 同二號	一五 同三號		一六 同四一號	一七 虎皮花		一八 同五號		一九 同一二號	二〇 同七六號	二一 同一三五號		二二 瑯璠	二三 同五號	二四 同七號
—	〇.六	〇.〇四	〇.三	〇.八	三.五	〇.七	〇.一	〇.五	二.六	一.三	〇.七	一.三	二.四	一.三	一.五	二.九	—	四.七	四.七	四.一	三.四	二.三
—	一.三	〇.三	一.三	〇.〇	三.一	二.七	〇.七	〇.五	一八.六	一.三	二.三	二四.三	三.三	一八.五	〇.四	一〇.四	—	三.九	三.七	六.九	八.〇	六.四
—	一.六	〇.三	一.四	〇.八	三八.四	三.二	〇.七	〇.八	一九.九	一.八	二.六	二九.八	四.四	二四.三	一.七	二.九	—	一六.三	六.六	九.〇	九.七	七.六
—	〇.九	—	—	—	一.三	—	一.三	〇.九	〇.三	一.四	〇.七	四.三	—	一.一	—	〇.四	—	六.五	—	三.八	—	五.七
—	二.六	—	—	—	一〇.一	—	〇.三	二.八	二.〇	三.六	〇.三	一五.六	—	三.一	—	〇.四	—	一六.三	—	一.七	—	七.七
—	三.一	—	—	—	一〇.八	—	一.四	三.三	二.三	四.三	〇.八	一七.七	—	三.七	—	〇.六	—	一九.六	—	四.七	—	一〇.六
一.〇	〇.〇	—	〇.三	〇.八	〇.〇	—	〇.三	—	—	—	—	〇.〇	—	一.四	—	一.〇	〇.八	〇.九	—	—	—	—
三.一	〇.〇	—	〇.〇	〇.五	〇.六	—	一.四	—	—	—	—	〇.四	—	三.一	—	一五.三	五.一	三.三	—	—	—	—
二.六	〇.〇	—	〇.三	一.二	〇.六	—	一.六	—	—	—	—	〇.四	—	三.九	—	一五.七	五.五	三.八	—	—	—	—
〇.〇	—	—	〇.〇	—	—	—	—	—	—	—	—	二.三	—	〇.四	—	—	二.八	〇.五	—	—	—	—
〇.〇	—	—	〇.〇	—	—	—	—	—	—	—	—	四.三	—	七.一	—	—	九.一	二.七	—	—	—	—
〇.〇	—	—	〇.〇	—	—	—	—	—	—	—	—	五.五	—	七.三	—	—	一〇.五	三.〇	—	—	—	—
—	〇.〇	—	〇.〇	—	—	—	—	—	—	—	—	〇.〇	〇.〇	〇.〇	—	一.三	—	五.四	—	—	—	—
—	〇.〇	—	〇.〇	—	—	—	—	—	—	—	—	〇.〇	〇.〇	〇.〇	—	二.五	—	〇.〇	—	—	—	—
—	〇.〇	—	〇.〇	—	—	—	—	—	—	—	—	〇.〇	〇.〇	〇.〇	—	三.二	—	五.四	—	—	—	—
〇.五		〇.三	〇.一	〇.八		三.六	〇.五	〇.七		一.四	〇.七		二.九		二.六	一.四	一.八		三.八	四.〇	三.四	
一.一		〇.八	〇.三	〇.三		二.四	〇.八	一.七		六.四	一.三		六.八		八.四	七.一	七.一		六.七	四.三	八.〇	
一.三		一.〇	〇.四	一.〇		一三.三	一.三	二.一		七.一	一.七		八.三		九.八	七.九	八.〇		九.一	六.九	九.七	

	二五 清油	二六 同一八號	二七 同四一號	二八 同四三號	二九 烏粒		三〇 烏粒一號	三一 同二號	三二 同三號	三三 同一〇號	三四 同一五號	三五 烏殼	三六 同一、號	三七 同二號	三八 同三號	三九 同下一號	四〇 同下三號	四一 九十日	四二 同一號	四三 同二號	四四 同三號	四五 大粒清油
五.〇	二.九	二.四	二.〇	八.六	〇.三	一.三	〇.〇	〇.〇	〇.五	一.〇	—	〇.九	—	〇.〇	〇.〇	二.三	〇.〇	四.二	一.四	五.三	七.〇	〇.〇
五.九	九.〇	一五.三	一八.八	二.九	一.三	一.三	一.五	二.二	〇.五	三.二	—	〇.五	—	二.七	〇.五	三.二	〇.五	四.九	四.四	五.三	六.五	〇.〇
八.四	一〇.五	二〇.九	二四.三	二六.三	一.五	一.八	一.五	二.二	〇.八	三.六	—	一.三	—	二.七	〇.五	四.三	〇.五	七.〇	五.一	八.〇	一〇.三	〇.〇
—	—	—	—	—	〇.〇	—	—	—	〇.五	—	—	〇.五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇.四
—	—	—	—	—	一.四	—	—	—	三.一	—	—	〇.〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇.〇
—	—	—	—	—	一.四	—	—	—	三.四	—	—	〇.五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇.四
—	—	—	—	—	〇.〇	—	〇.〇	一.一	—	〇.〇	〇.〇	〇.三	〇.〇	〇.〇	〇.〇	—	—	—	—	—	—	〇.〇
—	—	—	—	—	〇.七	—	〇.三	〇.四	—	三.〇	〇.七	〇.五	〇.〇	〇.〇	〇.〇	—	—	—	—	—	—	〇.〇
—	—	—	—	—	〇.七	—	〇.三	一.三	—	三.〇	〇.七	〇.七	〇.〇	〇.〇	〇.〇	—	—	—	—	—	—	〇.〇
—	—	—	—	—	〇.〇	—	—	〇.〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	〇.三	—	—	〇.四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	〇.三	—	—	〇.四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	〇.〇	—	—	—	〇.三	—	〇.〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	〇.〇	—	—	—	〇.九	—	〇.〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	〇.〇	—	—	—	一.一	—	〇.〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
四.三	二.九	二.四	二.〇	八.六		〇.三	〇.〇	〇.四	〇.四	〇.五	〇.〇	〇.六	〇.〇	〇.〇	〇.〇	二.三	〇.〇	四.二	一.四	五.三	七.〇	〇.一
六.七	九.〇	一五.三	一八.八	二.九		〇.八	〇.九	一.〇	一.五	三.一	〇.四	〇.三	〇.〇	一.四	〇.三	三.二	〇.五	四.九	四.四	五.三	六.五	〇.〇
八.九	一〇.五	二〇.九	二四.三	二六.二		一.〇	〇.九	一.三	一.八	三.三	〇.四	〇.八	〇.〇	一.四	〇.三	四.三	〇.五	七.〇	五.一	八.〇	一〇.三	〇.一

四六	同一號	—	—	—	—	—	—	〇.〇	〇.〇	〇.〇	—	—	—	—	—	—	〇.〇	〇.〇	〇.〇
四七	同二號	—	—	—	—	—	—	〇.〇	〇.五	〇.五	—	—	—	—	—	—	〇.〇	〇.五	〇.五
四八	同三號	—	—	—	—	—	—	〇.〇	〇.〇	〇.二	—	—	—	—	—	—	〇.〇	〇.〇	〇.〇
四九	花螺	一.八	一.八	二.七	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一.八	一.八	二.七
五〇	同一號	〇.〇	一.三	一.三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇.〇	一.三	一.三
五一	同二號	〇.〇	一.九	一.九	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇.〇	一.九	一.九
五二	同三號	〇.〇	一.三	一.三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇.〇	一.三	一.三
五三	烏殼白葉一六號	〇.六	〇.三	〇.八	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇.六	〇.三	〇.八
五四	矮脚清油	一.〇	一.五	三.〇	—	—	—	〇.五	〇.三	〇.六	—	—	—	—	—	—	〇.八	一.四	一.八
五五	烏殼清油	〇.〇	〇.〇	〇.〇	〇.六	一.二	一.四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇.三	〇.六	〇.七
五六	紅脚變	〇.八	二.三	二.七	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇.八	二.三	二.七

以上調査したる結果を被害率の少きものより順次配列すれば左表の如し。

第十一表　高雄州下に於ける第一期作臺灣種の稲イモチ病被害率による品種の配列

番號	品種系統及別	調査回數	平均被害率	最多被害率	最少被害率
三六	烏殼一號	一	〇.〇	—	—
四六	大粒清油一號	一	〇.〇	—	—
四八	同三號	一	〇.〇	—	—
四五	大粒清油	三	〇.一	〇.四	〇.〇
三八	烏殼三號	二	〇.三	〇.五	〇.〇
三四	烏粒一五號	二	〇.四	〇.七	〇.〇
一〇	蟻公包一五號	四	〇.四	一.四	〇.〇
四〇	烏殼下三號	一	〇.五	—	—
四七	大粒清油二號	一	〇.五	—	—
五五	烏殼清油	二	〇.七	一.四	〇.〇
五三	烏殼白葉一六號	一	〇.六	—	—
三五	烏殼	三	〇.八	一.三	〇.五
三〇	烏粒一號	二	〇.九	一.五	〇.三
九	蟻公包	五	一.〇	三.一	〇.〇
二一	同六〇號	二	一.〇	一.二	〇.八
二九	烏粒	六	一.〇	一.八	〇.〇
一三	楠仔仙一號	三	一.三	一.六	〇.七
五〇	花螺一號	一	一.三	—	—
五二	同三號	一	一.三	—	—
八	白殼清油八六號	二	一.三	二.六	〇.〇
三一	烏粒二號	三	一.三	二.一	〇.四
三七	烏殼二號	二	一.四	二.七	〇.〇
一六	楠仔仙四一號	二	一.七	二.六	〇.八
三二	烏粒三號	三	一.八	三.四	〇.八
五四	矮脚清油	二	一.八	三.〇	〇.六
五一	花螺二號	一	一.九	—	—
一四	楠仔仙二號	二	二.二	三.三	〇.八
三	白殼清油二四號	三	二.七	五.〇	〇.九
四九	花螺	一	二.七	—	—
五六	紅脚變	一	二.七	—	—
三三	烏粒一〇號	二	三.三	三.六	三.〇
四	白殼清油三四號	二	三.七	七.四	〇.〇
二	同一八號	三	四.二	五.二	三.三
一	白殼清油	八	四.二	一三.四	〇.〇
三九	烏殼下一號	一	四.三	—	—
六	白殼清油四一號	四	五.〇	一〇.一	一.三
四二	九十日一號	一	五.一	—	—
五	白殼清油三五號	四	六.六	一三.五	〇.〇
二二	瑯璠	二	六.九	九.〇	四.七
四一	九十日	一	七.〇	—	—
一五	楠仔仙三號	四	七.一	一九.九	一.八
一九	虎皮花一二號	四	七.九	一五.七	〇.六
二〇	同七六號	二	八.〇	一〇.五	五.五
四三	九十日二號	一	八.〇	—	—
七	白殼清油四三號	五	八.一	一六.八	一.九
一七	虎皮花	七	八.三	二九.八	〇.〇
二四	瑯璠七號	三	八.九	一〇.六	七.六
二一	虎皮花一三五號	六	九.一	一九.六	三.〇
二三	瑯璠五號	一	九.七	—	—
一八	虎皮花五號	六	九.八	二四.二	〇.〇
四四	九十日三號	一	一〇.三	—	—
二五	清油	一	一〇.五	—	—
一二	楠仔仙	四	一三.二	三八.四	〇.六
二六	清油一八號	一	二〇.九	—	—
二七	同四一號	一	二四.三	—	—
二八	同四三號	一	二六.二	—	—

高雄州下に於ける是等の品種及系統に對し、多肥して稻イモチ病に對する抵抗力を試驗したることなきを以て、果して本表に現はれたる抵抗性品種は其眞價を示せるや自信を有せず。後日の調査に俟たざるべからざるも、此數年間の平均被害率は其傾向を示せるは疑なかるべし。

六、屏東に栽培せられたる臺灣種第一期作品種

高雄州農事試驗場に蒐集栽培せられたる高雄州下の第一期作品種に就て調査せり。此圃場に施されたる肥料は、大正十年には反當

大豆粕　一五、〇〇〇匁
過燐酸石灰　七、〇〇〇匁

にして、其成分量は

窒素　一、〇五八匁
燐酸　一、三二八匁
加里　二三七匁

大正十三年以降の施肥及施用量は

堆肥　二〇〇、〇〇〇匁
過燐酸石灰　七、〇〇〇匁

其成分量は左の如し。

窒素　一、〇〇〇匁
燐酸　一、五三〇匁
加里　一、二〇〇匁

又各年調査開始時期は左の如し。

大正十年は　六月五日
大正十二年は　五月二十四日
大正十三年は　五月二十三日
大正十五年は　六月一日

又各年出穗後の氣象は(七高雄州下の抵抗性品種選擇の條下に掲載したるを以て、茲には之を省略せり。

第十二表　屏東に於ける第一期作臺灣種の稻イモチ病被害率

番號	品種名	大正十年			大正十二年			大正十三年			大正十五年			平均		
		首イモチ	節イモチ	被害莖	首イモチ	節イモチ	被害莖	首イモチ	節イモチ	被害莖	首イモチ	節イモチ	被害莖	首イモチ	節イモチ	被害莖
一	鳥粒	一三・〇	—	一三・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	—	—	—	四・三	〇・〇	四・三

二	九十日	—	—	—	一·七	〇·〇	一·七	一·二	〇·四	一·四	〇·〇	〇·〇	〇·〇	一·〇	〇·一	一·〇
三	朮變	—	—	—	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇
四	白殼芒花朮	—	—	—	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	一·二	一·二	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·四	〇·四
五	密粒	一七·〇	—	一七·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·四	〇·〇	〇·四
六	紅目	—	—	—	〇·九	〇·四	一·二	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·三	〇·一	〇·四
七	白殼清油	一二·〇	—	一二·〇	〇·四	〇·〇	〇·四	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	三·二	〇·〇	三·一
八	白葉	五·〇	—	五·〇	〇·三	〇·六	〇·八	—	—	—	〇·〇	〇·〇	〇·〇	一·八	〇·三	一·九
九	員粒	四五·〇	—	四五·〇	〇·〇	〇·三	〇·三	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	一二·三	〇·一	一二·三
一〇	烏殼	七·〇	—	七·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	一·八	〇·〇	一·八
一一	楠仔仙	一二·〇	—	一二·〇	〇·九	〇·〇	〇·九	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	三·三	〇·〇	三·三
一二	蟻公包	九·〇	—	九·〇	〇·四	〇·〇	〇·四	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	二·四	〇·〇	二·四
一三	大粒清油	—	—	—	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·四	〇·四	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·一	〇·一
一四	花螺	三·〇	—	三·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·八	〇·〇	〇·八
一五	紅腳	二九·〇	—	二九·〇	三·二	〇·八	三·六	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	八·一	〇·三	八·三
一六	瑯璠	一七·〇	—	一七·〇	一·四	〇·〇	一·四	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	四·六	〇·〇	四·六
一七	虎皮花	一八·〇	—	一八·〇	〇·六	〇·〇	〇·六	—	—	—	〇·〇	〇·〇	〇·〇	六·三	〇·〇	六·三
一八	烏腳	二五·〇	—	二五·〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二五·〇	—	二五·〇
一九	烏咬來	一二·〇	—	一二·〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二·〇	—	二·〇
二〇	烏殼清油	八·〇	—	八·〇	—	—	—	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	二·七	〇·〇	二·七
二一	白朮	—	—	—	—	—	—	〇·〇	〇·六	〇·六	—	—	—	〇·〇	〇·六	〇·六
二二	青葉占	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇
二三	白殼	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇
二四	通興	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇	〇·〇

上表に示したる各品種の平均被害率の少きものより順次に配列すれば左表の如し。

第十三表　屏東に於ける第一期作臺灣種の稲イモチ病被害率による品種の配列

番號	品種名	調査年數	平均被害率	最高被害率	最少被害率
三	朮變	三	〇·〇	〇·〇	〇·〇
二二	青葉占	一	〇·〇	—	—
二三	白殼	一	〇·〇	—	—
二四	通興	一	〇·〇	—	—
一三	大粒清油	三	〇·一	〇·四	〇·〇
四	白殼芒花朮	三	〇·四	一·三	〇·〇
五	密粒	四	〇·四	一七·〇	〇·〇
六	紅目	三	〇·四	一·二	〇·〇
二一	白朮	一	〇·六	—	—
一四	花螺	四	〇·八	三·〇	〇·〇
二	九十日	三	一·〇	一·七	〇·〇
一〇	烏殼	四	一·六	七·〇	〇·〇
八	白葉	三	一·九	五·〇	〇·〇
一九	烏咬來	一	二·〇	—	—
一二	蟻公包	四	二·四	九·〇	〇·〇
二〇	烏殼清油	三	二·七	八·〇	〇·〇
七	白殼清油	四	三·一	一二·〇	〇·〇
一一	楠仔仙	四	三·二	一二·〇	〇·〇
一	烏粒	三	四·三	一三·〇	〇·〇
一六	瑯璠	四	四·六	一七·〇	〇·〇
一七	虎皮花	三	六·三	一八·〇	〇·〇
一五	紅腳	四	八·三	二九·〇	〇·〇
九	員粒	四	一二·三	四五·〇	〇·〇
一八	烏殼	一	二五·〇	—	—

屏東に於ける高雄州農事試驗場に栽培せられたる是等品種の生育狀況を見るに、分蘖數少く、葉色劣り稍々肥料の不足を示せる如き狀態にあり。從て稲イモチ病の被害も亦甚だ輕微にして、其相互の優劣を比較すること困難なり。而して多肥をなしたる機會に遭遇せざるを以て、直ちに何れか抵抗性なるや判定し難し。

故に現今上表により被害率の少きものを抵抗性と見るの外なし。只第十一表及第十三表によれば、大粒清油は比較的抵抗性なるもの丶如し。

四　總　括

臺灣に於ける第一期作に栽培せらる丶水稻各品種に對する過去六箇年の調査により、大體各品種の稻イモチ病に對する抵抗力の强弱を知り得たり。

然るに是等平均被害率として示したる數字は、元より確實に其特性を示したりといふべからず。嚴密にいへば、一水田に於ても總て何れの場所も能く地力平均さる丶場合少く、且施肥も全田面總て同樣に施さる丶場合少かるべし。稻イモチ病の發生は營養の多少に關係を有するを以て、何れの場所に栽培するも、如何なる取扱をなすとも、此表に現はれたる被害率を示すものに非ず。即ち此數字は只其傾向を指示せるに止まるものと思考すべし。

又本彙報に於ける總ての調査表の品種を同列のものとして比較すること能はず。是れ各地共其土壤の性質、施肥量、天候等を異にせるを以てなり。

接種試驗の結果に於て證明せらる丶如く、是等品種は殆ど各自相應の比率を示すものと思考せらる丶も、是等品種中には回避性のものありて、他地方に栽培し又肥料、天候等の異なる場合に於ては其現はす順位に差を生ずることなしとせざるべし。故に更に各地方に於て是等抵抗性品種を栽培し、其地方に於ける被害率を調査し、猶ほ更に選擇の上、一般農民に推奬すべきものなり。

是等品種中には白朮、赤殼朮、高脚花螺、大朮、下脚柳州等の如く葉イモチに弱きものあり。又白朮、紅脚朮、臺嘉二號、ヒデリウスノー等の如く特に節イモチに弱きものあり。又下脚烏尖、矮仔種、臺中特二號等の如く草丈短き爲、節は葉鞘外に現はる丶こと稀にして、從て節イモチに侵され難きものあり。又神力、一皮種、愛國、福助、器良好、森早生、相德、短廣花螺等の如く節の强きものあり。而して穗頸の强きものは概して其節も亦强き傾向ありて、是等の殆ど總ては抵抗性品種なり。又喜神力、吉備穗二號、鵞卵朮、短脚花螺等は出穗後に於て比較的抵抗性なるも、葉イモチに比較的弱き性質を有す。

又早生、中生、晩生の品種中、晩生種に抵抗性のもの多しと稱するものあるも、直ちに之を信ずること能はざるもの丶如し。此比較は何れも一定の成熟程度に達したるものに就き調査比較せざるべからず。著者は斯の如き比較すべき調査を未だ遂行せざるも、本調査表より、臺北にて栽培せられたる內地種及第一期作臺灣種に就き數字を求めたるに左表の如し。

內　地　種

	品種數	出穗より調査に至る經過日數	平均被害率（%）
早生種	二〇	三六—三一	九・六
中生種	四〇	三〇—二五	一二・一
晩生種	四〇	二五—一八	一〇・一

臺灣種

	品種數	出穗より調査に至る經過日數	平均被害率（%）
中生種	三〇	三五—三〇	三三・六
晩生種	二〇	二九—一八	二六・六

又臺北地方に於ける內地種及第一期作臺灣種の各年及平年平均被害率を求むれば左の如し。

臺北に於て普通田に普通量の肥料を施し、第一期作に內地種を栽培したる場合に、其各年及平年に於ける平均被害率は幾何程度なるかを第一表より算出するに左表の如し。

內地種各年及平年被害率

年次	調査品種數	首イモチ被害率	節イモチ被害率	被害莖百分率
大正十年	一五七	二六・三	—	二六・三
同十一年	一五五	七・五	二・一	八・七
同十二年	一五四	四・二	二・〇	五・五
同十三年	一八九	七・一	三・九	九・七
同十四年	一九〇	三・一	四・八	七・一
平均		九・六	三・二	一一・五

尚爲念稻イモチ病の大發生せる大正十五年第一期作に、二倍量の施肥をなしたる場合の內地種の平均被害率を掲ぐれば左表の如し。

年次	調査品種數	首イモチ被害率	節イモチ被害率	被害莖百分率
大正十五年	六八	四八・三	一二・八	五四・二

又第一期作臺灣種を內地種と同樣の取扱をなし、同地に栽培したる各年及平均被害率は、第三表より算出するに左の如し。

臺灣種各年及平年平均被害率

年次	調査品種數	首イモチ被害率	節イモチ被害率	被害莖百分率
大正十年	一一四	四九・六	—	四九・六
同十一年	八四	一五・二	五・八	一八・七
同十二年	一二二	三一・〇	一八・五	四〇・三
同十三年	一三八	一〇・八	一一・一	一八・五
同十四年	一二〇	六・一	八・八	一三・〇
平均		二二・五	一一・一	二八・〇

又大正十五年第一期作に此二倍量の肥料を施し臺灣種を栽培したる場合の平均被害率は左表の如し。

年次	調査品種數	首イモチ被害率	節イモチ被害率	被害莖百分率
大正十五年	四二	三五・四	一六・二	四七・八

前出內地種及臺灣種の平均被害率を見るに、臺北に於ける內地種の被害率は同地に於ける臺灣種の被害率より遙かに少し。卽ち臺灣種は內地種より遙かに感受性なるものゝ如きも是れ兩者共に等量の施肥をなしたる場合の比較にして、臺灣種は內地種に比し肥料消化能率低き爲、比較的軟弱となり、蓬萊種は消化能率高き爲、比較的軟化せざりし結果なるべし。內地種に於ても多肥する時は甚しき被害率を示すものなり。

本調査に於て最も抵抗性なりと思考せらるゝ品種は內地種に於て幡州、常豐、朝鮮、藤早生、香稻、龜治二號、記念糯等あり。又臺灣種には朮仔鑾、自生、半天仔等あり。

茲に抵抗性として選出したる內地種の反當收量を見るに、平年八四、五四二匁乃至七三、四六〇匁にして、中村種の收量八六、〇四一匁より劣るも、天候不良なりし大正十五年に普通量の二倍の施肥をなしたる場合は、中村種は罹病して甚しく收量を減し六〇、一五〇匁に止まりしも、抵抗性品種香稻の如きは其二倍量の收穫を得たり。

是等抵抗性品種と中村種とを收量、分蘖數、米粒等に就き比較すれば左表の如し。

抵抗性品種と中村との比較

番號	品種名	籾反當收量（大正十五年）	平均反當籾收量（四箇年平均）	玄米ノ大サ（粍）長サ	幅	厚サ	相乘積	平均分蘖數（五箇年平均）	分蘖數（大正十五年）
七五	香稻	一三四、九五〇匁	七九、八二二匁	五・〇九	三・〇六	二・一六	三三・六四	一〇・七	一五・〇
一八一	龜治二號	一三〇、五四〇	—	五・〇九	三・〇〇	二・〇七	三一・六一	一三・四	一六・七
二一	朝鮮	一二七、六〇〇	八四、五四二	五・二〇	三・〇一	二・〇三	三一・七七	一五・二	二〇・八
一八八	常豐	一二六、二五〇	—	四・六九	二・八七	二・一三	二八・六七	一〇・九	二一・七
三二	藤早生	一〇三、九〇〇	七三、四六〇	四・五八	三・〇五	二・一八	三〇・四五	一五・三	二七・六
二〇	幡州	九九、九六〇	七六、二七八	四・九二	三・〇〇	二・一四	三一・五九	一三・七	一六・〇
一五八	記念糯	九二、六一〇	七九、〇八六	五・〇〇	二・七六	二・〇六	二八・四三	一五・二	二〇・三
一	中村	六〇、一五〇	八六、〇四一	五・三七	三・〇六	二・〇五	三三・六九	一四・三	一九・五

即ち感受性品種は施肥を増すに従て收量を漸減するのみなるも、抵抗性品種に於ては増收を擧げ得ることを明かに證明せり。著者は曩に稻イモチ病の常習的に發生する臺南州西螺地方の肥沃なる土地に對し、抵抗性なる朝鮮を推奬したるに、中村種は反當籾約五〇〇斤（八〇、〇〇〇匁）の收量ありたるに、朝鮮は約七〇〇斤（一一二、〇〇〇匁）の收量を得たりとの農民の言は、前表を明かに裏書せるものなり。

抵抗性品種中其地方に於て收量最も多く、且品質優良なるものを選び、それに適合すべき施肥をなさば、稻の最も恐るべき稻イモチ病に對して何等顧慮するところなく、確實に所望の生産を擧げ得ること火を見るよりも明かなりと信ず。

本調査に當り當農業部種藝科員、臺中州農事試驗場員、臺南州勸業課員及同農事試驗場員、高雄州勸業課員及同農事試驗場員の助力を得たるに對し深厚の謝意を表す。